Pioneer sound.vision.soul

DVDレコーダー

DVR-610H
DVR-515H
DVR-510H

まずはじめに、別冊の『*DVD レコーダー準備ガイド(接続 / 設定編)*』をお読みください。

G-CODE®

DVD ビデオのリージョン番号

DVDプレーヤーとDVDビデオディスクには発売地域ごとにリージョンNo.(地域番号)が設けられています。海外で購入したDVDビデオディスクは、リージョンNo.の違いにより再生できない場合があります。本機のリージョンNo.は「2」です。

再生できるDVDビデオディスクのリージョン表示の例： など

DVDプレーヤーをお持ちのお客様へ

ファイナライズしてから再生してください

本機

例) DV-610H

DVD-R/RW
ディスク※

DVDプレーヤー

例) DV-464

※本機でビデオモード記録したDVD-R/RWディスクをDVDプレーヤーで再生するときは、ファイナライズ(録画終了処理)してください。

インターネットによる登録のお願い

http://www3.pioneer.co.jp/

お買い上げの製品について、上記URL「お客様のページ」でお客様登録をお願いします。

この「お客様のページ」は、お客様とのコミュニケーションを目的としたウェブサイトです。新規登録されたお客様にはID・パスワードを発行させていただき、新製品のカタログや取扱説明書のダウンロード、メールマガジンの購読など各種サービスをご利用いただけます。

RW
COMPATIBLE

取扱説明書

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「DVDレコーダー準備ガイド(接続/設定編)」「取扱説明書」「安全上のご注意」は、「保証書」と一緒に必ず保管してください。

安全上のご注意（絵表示について）

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

警告[異常時の処理]

プラグを抜く

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜く

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜く

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

本機に付属されている取扱説明書の使いかた

『DVDレコーダー準備ガイド(接続／設定編)』(別冊)

付属品の確認、お手持ちの機器(テレビなど)との接続および基本的な設定(セットアップナビ)について説明しています。まずは、こちらをご覧になり本機を使う準備を行ってください。

取扱説明書(本書)

本機の使いかたについて説明しています。本機の準備ができたら本書をご覧になり、いろいろな録画、再生、編集にチャレンジしてください。

この取扱説明書で使われているマークについて

下記のマークはそのディスクで使える機能／操作について説明していることを示しています。

マーク	ディスク
HDD	ハードディスク
DVD-Video	DVDビデオディスク※
DVD-R	DVD-Rディスク
DVD-RW	DVD-RWディスク
DVD-RW(VR)	VRモードで「録画された」「録画する」DVD-RWディスク
DVD-RW(Video)	ビデオモードで「録画された」「録画する」DVD-RWディスク
Video CD	ビデオCD、ビデオCDフォーマットが記録されているCD-R/RW
CD(R/RW)	音楽用CD、音楽トラックが記録されているCD-R/RW
WMA/MP3	WMAまたはMP3ファイルが記録されているCD-R/RW

※ファイナライズ済のDVD-R/RW(ビデオモード)はDVDビデオと同じ操作になります。

内蔵ハードディスク(HDD)についてのご注意

本機に内蔵されているハードディスク(以下「HDD」)は非常に精密な機器です。使用状況によっては録画内容が損なわれることがありますので、下記の内容にご注意ください。

大切な映像はHDDに記録したままにせず、DVD-R/RWにダビングして保存しておくことをおすすめします。

大切な録画について

内蔵HDDが故障すると、HDDの録画内容が損なわれることがあります。大切な映像はHDDに記録したままにせず、DVD-R/RWにダビングして保存しておくことをおすすめします。何らかの不具合で損なわれた録画内容の補償、およびそれに附随する損害に対して当社は一切の責任を負いかねます。

設置や使用するときの注意

▼ 衝撃や振動を与えないでください。特に本機が動作中はご注意ください。
▼ 振動する場所や不安定な場所に置かないでください。
▼ 水平以外の置きかたをしないでください。
▼ 本機の冷却ファンや通風孔をふさがないでください。
▼ 温度や湿度が高い場所で使用しないでください。また、急激に温度が変化する場所でも使用しないでください。
急激に温度が変化する場所に設置すると本機内部に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま使用するとHDDに傷が付き、故障の原因となります。『*結露について*』(**P.161**)も合わせてご覧ください。
▼ 電源がオンのときに電源コードをコンセントから抜いたり、設置している場所のブレーカーを落としたりしないでください。
▼ 電源がオンのとき、または電源をオフにした直後は本機を移動しないでください。移動するときは、下記の手順で行ってください。
① 電源をオフにする。
(**電源⏻ボタン**を押して、本体表示窓の[POWER OFF]表示が消えたことを確認する。)
② 電源コードをコンセントから抜く。
③ 2分以上経過してから本機を移動する。

停電などが起こったときは

本機の動作中に停電などが起こると、内蔵HDDの録画内容が損なわれることがあります。

ハードディスクについて

▼ HDDは非常に精密な機器で、使用する場所の環境や使用状況が過酷な場合、数年で寿命となることがあります。
▼ 寿命が近くなると、部分的あるいは全体的に「再生映像が一時停止を繰り返す」または「ブロックノイズ(部分的にモザイク状の映像)や映像の乱れが発生する」などといった症状が頻繁に発生するようになります。また、このような前兆なしに寿命となることもあります。
▼ 寿命になると記録してあった映像すべてが再生できなくなる恐れがあります。寿命で故障となった場合はHDD交換(有償)が必要です。

もくじ

編集

ダビング

設定

別冊: DVD レコーダー準備ガイド(接続 / 設定編)

もくじ

こんなことができます

大容量 HDD へどんどん録画

大容量 HDD 搭載で「長時間録画」を実現

160GBで最長約204時間※1(DVR-610H)、120GBで最長約153時間※1(DVR-515H)、80GBで最長約102時間※1(DVR-510H)録画を実現。1ヶ月先まで最大32番組予約可能ですから、長期の外出もOKです。録りたい番組が一日に集中しても、思いのままに長時間録画を楽しむことができます。

※1 *EPモード時(他の録画モード時の録画時間については『録画モードと録画時間について』(**P.17**)をご覧ください。)*

便利な「同時録画再生」(P.50)

たとえば録画しながら以前録った別のタイトルを再生できる「同時録画再生」機能。この機能を使えば、毎週録画している連続ドラマを録画中に、先週録画した内容をみることができ便利です。

便利な「追いかけ再生」(P.49)

録画中に番組の最初から再生が可能な「追いかけ再生」。この機能を使えば、録画終了を待たずに、再生を楽しめ時間を有効に使えます。

DVD へ多彩な高速ダビング

HDDから素早くDVD-R/RWへ簡単「ワンタッチダビング」(P.87)

HDDを再生中にリモコンの「ワンタッチダビング」ボタンを押すだけで、その番組の冒頭から最後までを、簡単にDVD-R/RWディスクへ高速ダビングすることができます。

1時間番組を約2.5分で「高速ダビング」(P.85)

DVD-RWディスクへの約2倍速〜約12倍速※2、DVD-Rディスクへの約4倍速〜約24倍速※2ダビングを実現。画質の劣化なしで、EP(約6時間)モード記録なら1時間番組を約2.5分※3でDVD-Rディスクにダビングが可能です。

※2 *DVD-R Ver.2.0/4x(1〜4倍速記録対応)･DVD-RW Ver.1.1/2x(1〜2倍速記録対応)に準拠したディスクを使用した場合。*

※3 *ダビング時間の目安です。条件によりもう少し時間がかかる場合があります。*

ダビングリストの編集(P.102)

オリジナルのタイトルに手を加えずにCMカットなどの編集をしてダビングします。また、複数のタイトルをまとめてダビングするときにも便利です。

録りためたHDD映像を、編集してお気に入りのシーンだけDVDディスクにダビングする際には、フレーム単位(1/30秒)での編集ができる「フレーム編集」機能が便利です。「ビデオモード」へのダビングができ、しかも「VRモード」へは高速ダビングも可能です。

ディスクバックアップ(P.99-100)

ファイナライズ済のDVD-R/RW(ビデオモード)のディスク内容をまるごと他のDVDにダビングすることができます。DVDからHDDに高速で一時的に保存してから他のDVDに高速でダビングします。

DVDならではの高画質記録・互換性を実現するDVD機能

ビデオモードなら他のDVDプレーヤーでも再生可能

ビデオモードで録画したディスクは、ファイナライズすることで、現在市販されているDVDプレーヤーやDVDビデオに対応したパソコンで再生※4できます。

※4 *DVD-R/RWへのビデオモード(ビデオフォーマット)による録画は2000年にDVDフォーラムで承認された新しい規格であり、この規格への対応はDVD再生機メーカー各社の任意です。そのため、DVDプレーヤーやDVD-ROMドライブによってはDVD-R/RWを再生しないモデルがあります。*

DVDの美しさを堪能できる高画質・高音質機能

大切な映像をより美しくダビングできる「ピクチャークリエーション」(画質調整機能)(P.137)

再生時の本格的な画質調整はもちろん、録画時においても、輝度信号や色信号を最適な画質に調整することができます。たとえば画質の劣化したビデオテープをダビングするときなどに、お好みのより美しい画質に調整してDVDディスクに保存できます。

プログレッシブ出力を備えた高品位映像システム

本機は、プログレッシブスキャン（順次走査）での映像出力ができます。コンポーネント映像入力、またはD映像入力のあるプログレッシブ対応テレビに接続すると、従来のテレビ方式であるインターレーススキャン(飛び越し走査)よりも、2倍の情報量のきめ細かな映像を再生できます。

高品位なデジタルダビングが可能なDV入出力端子(i.LINK)を装備(DVR-610Hのみ)

DVテープからDVD-R/RWへのダビングだけでなく、双方向のダビングができます。リモコンを使用し、DV方式デジタルビデオカメラ(一部製品を除く)の再生、停止などのコントロールが可能です。
デジタルビデオカメラとの接続については**P.110**をご覧ください。

カンタン録画

予約は1ヶ月先まで最大32番組(P.19-27)

予約画面で日時やチャンネルを設定するのが通常のタイマー予約録画。Gコード予約なら番組欄の数字(Gコードプログラム番号※5)を入力するだけの手間いらずです。
また、かんたん予約なら録画の開始時刻と終了時刻を設定するだけで手軽に予約することができます。

※5 *Gコードは、ジェムスター社の登録商標です。*
Gコードシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

マニュアルモード録画(P.127)

FINE、SP、LPまたはEPの他に、録画したい時間に最適な画質を32段階で選べるマニュアルモードを用意しています。

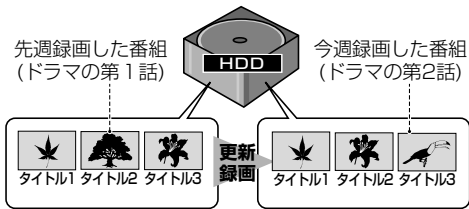
ディスクの空き容量に合わせて、自動的に録画レベルを設定する「ジャスト録画」(P.129)

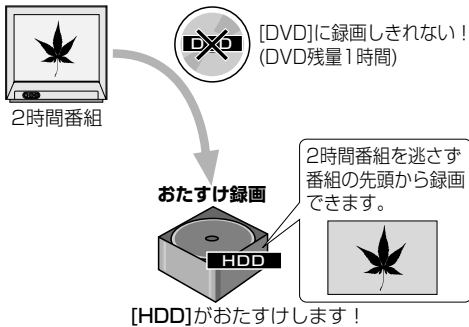
録画先がDVDのときのみ働く機能です。
ディスクの残量と予約録画の時間を照らし合わせて、容量が足りない場合、自動的に録画レベルを算定し、最適なレベルで録画します。この機能を使えば、留守録も安心です。
お買い上げ時は「オフ」に設定されています。

BSデジタル放送やCSデジタル放送の予約録画も簡単にできる「オートスタート録画」(P.28)

この機能をオンにしておくと、BSデジタルチューナーやCSデジタルチューナーなどで設定した録画予約に連動し、自動的に録画を開始します。

更新録画(P.26)

ある1つの番組を毎日/毎週繰り返してHDDに録画するときに、前日/先週に録画した番組を消去して録画します。

おたすけ録画(P.26)

この機能は録画先を[DVD]に設定しているときのみ働きます。予約した番組をディスクに録画しきれないときに自動で録画先を[HDD]に変更します。

カンタン再生

映画館さながらの迫力ある音声(P.125)

ドルビーデジタルやDTS対応のAVアンプなどにつなぐと、立体感にあふれた迫力あるサラウンド音声を楽しむことができます。

ディスクナビ(P.14)

録画したタイトルを再生・編集するならディスクナビ。各タイトルごとに映像の一部が一覧表示されます。目的のタイトルを一目で見つけて、簡単に再生・編集することができます。

いろいろなディスクに再生対応(P.32)

本機で録画したDVD-R/RWディスクはもちろん、市販のDVDビデオ、ビデオCD、音楽用CDも再生することができます。また、音楽トラック、ビデオCDフォーマットが記録されているCD-R/RWやWMA、MP3、JPEGファイルが記録されているCD-R/RWを再生することができます。

カンタン編集

「ディスクナビ」画面でタイトル単位・チャプター単位の編集が可能(P.63-83)

「ディスクナビ」画面を見ながら、タイトル単位での消去やタイトル名の変更、チャプター単位での消去などの基本的な編集が、簡単にできます。

便利な携帯電話方式で漢字を使ってお好みのタイトル名が入力可能(P.70-73)

携帯電話でおなじみの文書入力方式を採用。リモコンのボタンを使用して漢字/かな/カナや英数字・記号などの入力が可能です。お好みのオリジナルタイトルを簡単につけることができます。

チャプターマーク(P.63)

指定した場面にチャプターマーク（区切り）を付けます。チャプタースキップ機能で見たい場面が探しやすくなります。

楽しさを満喫する簡単・便利機能

基本設定が簡単にできる「セットアップナビ」を採用
『DVDレコーダー準備ガイド接続／設定編』(**P.23-27**)

初めて電源を入れると、自動的に「セットアップナビ」が立ち上がり、手順に従って項目を設定するだけで、基本設定が簡単にできます。

高音質リニアPCM記録を実現

FINEまたはMN32において、音声を圧縮しないリニアPCM(48kHz、16bit)記録が可能で、クオリティの高い音質を楽しむことができます。また、その他の録画モード時の音声記録には、ドルビーデジタルを採用。高性能DDCE(Dolby Digital Consumer Encoder)を搭載し、高音質での記録を可能にしています。

ディスクをセットしなくてもディスク内容と残量の確認ができる「ディスク一覧機能」(P.144)

ディスクをセットしなくても過去に読み込んだディスク内容と残量の確認が可能です。読み込んだディスクが一覧で表示されるので、空いているディスクを探すのに便利です。ディスク内容は、最大30枚まで記録可能です。

設定内容の変更が防止できる「チャイルドロック機能」(P.143)

チャイルドロックを設定すると本体前面部およびリモコンのボタン操作ができなくなります。

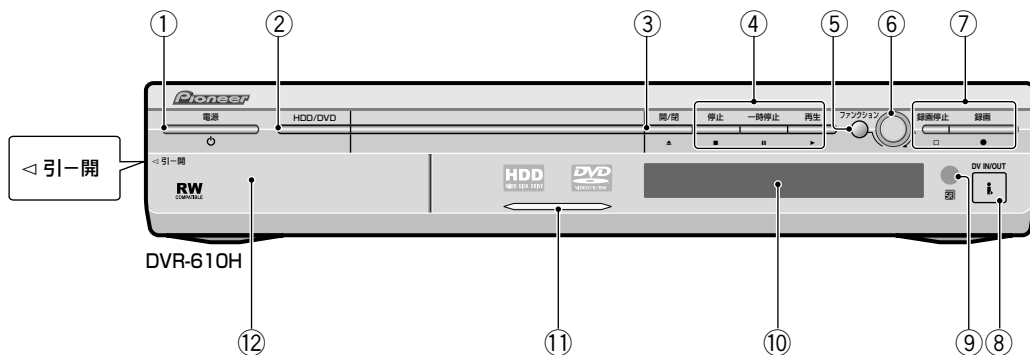
本機のリモコンでお使いのテレビの操作ができる「テレビコントロール」
『DVDレコーダー準備ガイド接続／設定編』(**P.28**)

お使いのテレビのメーカーコードを設定するだけで、本機のリモコンでお使いのテレビの操作が可能です。

複数のパイオニア製DVDレコーダーを使い分けることができる「リモコンモード」(P.116)

本体とリモコンを対応させて、他のDVDレコーダーの誤動作を防止します。たとえば、リモコンモードを[2]に設定して本体を操作したいときは、リモコンのモードも[2]に設定する必要があります。それ以外のリモコンでは操作できませんのでご注意ください。

各部のなまえとはたらき

本体前面部

①電源⏻ボタン(**P.143, 158**)
『*DVD レコーダー準備ガイド(接続 / 設定編)*』(**P.23**)

②HDD/DVD ボタン(**P.16**)
『*DVD レコーダー準備ガイド(接続 / 設定編)*』(**P.33**)

③開 / 閉 ▲ ボタン
『*DVD レコーダー準備ガイド(接続 / 設定編)*』(**P.33**)

④停止 ■ ボタン(**P.33, 51**)

一時停止 ❚❚ ボタン(**P.33, 51**)

再生 ▶ ボタン(**P.33, 51**)

⑤ファンクションボタン(**P.16, 28, 37, 39, 40, 42, 53**)

⑥スマートジョグ(**P.16, 37, 39, 40, 42, 53**)
ファンクションボタンを押すたびにスマートジョグの操作が下記のように切り換わります。

停止中

チャンネル(P.16)→録画モード(P.16)→サーチ(P.41, 53)

再生中

早送り/早戻し※(P.37) → コマ送り/戻し(P.39)
サーチ(P.41, 53)

※ *再生一時停止中はスロー再生になります。*

⑦録画停止 □ ボタン(**P.17, 27**)

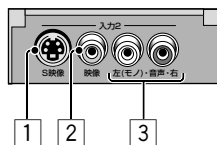
録画 ● ボタン(**P.16, 18, 27-29**)

⑧DV 入出力端子(DVR-610H のみ)(**P.110**)
デジタルビデオカメラの DV 端子と接続します。

⑨リモコン受光部

⑩表示窓(**P.11**)

⑪HDD が選択されているときに青色に点灯します。

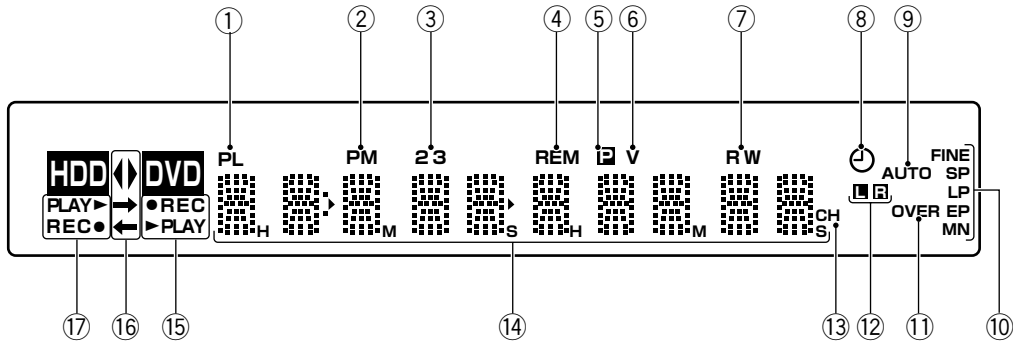
⑫前面入力端子
[◁ 引ー開]を手前に引いてドアを開けます。
接続のしかたについては『*DVD レコーダー準備ガイド(接続 / 設定編)*』(**P.21**)をご覧ください。

1 入力 2/S 映像端子

2 入力 2/ 映像端子

3 入力 2/ 音声左(モノ)・右端子
外部機器の音声出力端子と接続します。左(モノ)端子はモノラル音声出力端子の付いている機器と接続することができます。

MEMO **メモ**

▼ 本体背面部の各部の名前とはたらきについては『*DVD レコーダー準備ガイド(接続 / 設定編)*』(**P.4**)をご覧ください。

本体表示窓

①**PL**(P.77-82)
プレイリストが選択されているときに点灯します。

②**PM**
時刻が午後のときに点灯します。

③**2 3**(P.116)
リモコンモードを表示します。リモコンモードが**1**に設定されているときは点灯しません(お買い上げ時の設定)。
2 =リモコンモード2
3 =リモコンモード3

④**REM**
⑭に残り時間が表示されているときに点灯します。

⑤**P**
D1/D2映像出力端子にプログレッシブ映像信号が出力されているときに点灯します。

⑥**V**
ファイナライズ前のDVD-R/RW(ビデオモード)がセットされているときに点灯します。

⑦**RW**
R =記録できるDVD-Rがセットされているときに点灯します。
RW =記録できるDVD-RWがセットされているときに点灯します。

⑧**◷**(P.20, 22, 25)
録画が予約されていて、実行可能なときに点灯します。予約されている録画が実行できないときは点滅します。

⑨**AUTO**(P.28)
オートスタート録画待機状態またはオートスタート録画中に点灯します。

⑩**FINE/SP/LP/EP/MN**(P.127)
現在選択されている録画モードを表示します。

⑪**OVER**(P.124)
入力の音声レベルが大きすぎるときに点灯します。

⑫**L R**(P.17, 124)
二カ国語音声を受信しているときに点灯します。
L =主音声
R =副音声
L R =主音声+副音声

⑬**CH**
⑭にチャンネルが表示されているときに点灯します。

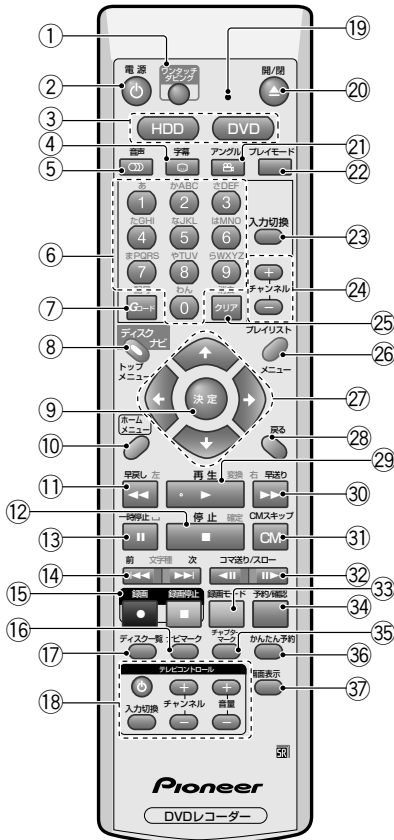
⑭**カウンター表示**
タイトル/チャプター/フォルダー/トラック/ファイル番号、経過時間、または現在時刻などを表示します。

⑮**●REC**
DVDへ録画中に点灯します。録画一時停止中は点滅します。
►PLAY
ディスクを再生中に点灯します。再生一時停止中は点滅します。

⑯**▶**
DVDが選択されているときに点灯します。
◀
HDDが選択されているときに点灯します。
➡
HDDからDVDへのダビング中またはディスクバックアップ(書き込み)中に点灯します。
⬅
DVDからHDDへのダビング中またはディスクバックアップ(読み出し)中に点灯します。

⑰**REC●**
HDDへ録画中に点灯します。録画一時停止中は点滅します。
PLAY►
HDDを再生中に点灯します。再生一時停止中は点滅します。

リモコン

『リモコンモード』(P.116)を設定して複数のDVDレコーダーを使い分けることができます。ただし、本体とリモコンのリモコンモードを必ず合わせて設定してください。

①ワンタッチダビングボタン(P.87)

②電源⏻ボタン
『DVDレコーダー準備ガイド(接続/設定編)』(P.23)

③HDD ボタン(P.33)
『DVDレコーダー準備ガイド(接続/設定編)』(P.33)

DVD ボタン(P.33)
『DVDレコーダー準備ガイド(接続/設定編)』(P.33)

④字幕ボタン(P.47)

⑤音声ボタン(P.47, 52)

⑥数字(0～9)ボタン(P.33, 34, 51, 73)

⑦G コードボタン(P.21)

⑧ディスクナビ / トップメニューボタン(P.14, 34, 35, 50, 57, 59-61)

⑨決定ボタン(P.33, 51)

⑩ ホームメニューボタン(P.13, 30, 31, 36, 58, 89, 91, 114)

⑪早戻し ◀◀ ボタン(P.37, 51)

⑫停止 ■ ボタン(P.33, 51)

⑬一時停止 ❚❚ ボタン(P.33, 51)

⑭前 ❙◀◀ ボタン(P.33, 51)

次 ▶▶❙ ボタン(P.33, 51)

⑮録画 ● ボタン(P.16, 18, 25, 27-29)

録画停止 □ ボタン(P.17, 28)

⑯ナビマークボタン(P.35)

⑰ディスク一覧ボタン(P.144)

⑱テレビコントロールボタン
『DVDレコーダー準備ガイド(接続/設定編)』(P.28)

⏻ボタン

入力切換ボタン

音量(＋ / －)ボタン

チャンネル(＋ / －)ボタン

⑲ インジケーター(P.116)

⑳開 / 閉 ⏏ ボタン
『DVDレコーダー準備ガイド(接続/設定編)』(P.33)

㉑アングルボタン(P.48)

㉒ プレイモードボタン(P.41, 43-46, 53-56)

㉓入力切換ボタン(P.29)

㉔チャンネル(＋ / －)ボタン(P.16, 19, 119, 121)

㉕クリアボタン(P.21-23, 70, 73)

㉖ プレイリスト / メニューボタン(P.34, 77, 79-82)

㉗⬆ ⬇ ⬅ ➡(カーソルボタン) (P.13, 34)

㉘戻るボタン(P.34, 114)

㉙再生 ▶ ボタン(P.33, 51)

㉚早送り ▶▶ ボタン(P.37, 51)

㉛CM スキップボタン(P.38, 51)

㉜コマ送り / スロー ◀❚❚/❚❚▶ ボタン(P.39, 40, 52)

㉝録画モードボタン(P.16)

㉞予約 / 確認ボタン(P.23)

㉟チャプターマークボタン(P.63)

㊱かんたん予約ボタン(P.19)

㊲画面表示ボタン(P.145, 146)

ホームメニューの使いかた

本機では、いろいろな操作や設定をホームメニューと呼ばれる画面から行うことができます。

ホームメニュー項目一覧

録画予約

- **かんたん予約 → P.19**
  録画開始時刻と終了時刻を15分ごと(最大6時間まで)で簡単に設定することができます。
- **Gコード予約 → P.21**
  新聞または雑誌などのテレビ欄に記載されているGコードプログラム番号を入力して録画予約することができます。
- **予約/確認 → P.23**
  録画開始時刻または終了時刻を細かく設定したいときや予約を確認/削除/変更したいときは録画予約画面で行います。

ディスク一覧 → P.144
過去に読み込んだ録画用ディスクの内容と残量を一覧で表示することができますので、空いているディスクを探すのに便利です。

フォトビューワー → P.58
フジカラーCD、コダックピクチャーCDまたはCD-R/CD-RW/CD-ROMに記録されているJPEGファイルを再生することができます(記録方法などによって再生できないこともあります)。

ディスクナビ → P.14, 35, 36, 57, 59-62, 64-72, 74, 75, 77-83
録画された内容の一覧を表示することができます。再生や編集はこのディスクナビから行います。

ダビング

- **HDD ➡ DVD → P.87**
  HDDに録画したタイトルをDVDにダビングします。
- **DVD ➡ HDD → P.88**
  DVDに録画したタイトルをHDDにダビングします。
- **ディスクバックアップ → P.99**
  ファイナライズ済のDVD-R/RW(ビデオモード)のディスク内容をまるごと他のDVDへダビングすることができます。

ディスク設定 → P.134
ディスク名の入力、ディスク保護、DVD-RWの初期化またはDVD-R/RWのファイナライズを行います。

本体設定 → P.115
本機の各種設定を変更します。

画質/音質設定

- **画質設定 → P.137**
  受信しているテレビ番組の映像や接続している他機器(レーザーディスクやビデオなど)から入力される映像をお好みの画質に調整することができます。また、お使いのテレビに合わせて、再生する映像の画質をお好みに調整することもできます。
- **音質設定 → P.141**
  音声の強弱(ダイナミックレンジ)の調整や2つのスピーカーで臨場感のある立体音場(サラウンド)を再現します。

プレイモード → P.41-46, 53-56
プレイモード画面を表示して、サーチ、A−Bリピート、リピートまたはプログラムなどの機能を使って再生します。

DV取り込み※

- **HDDに取り込む → P.111**
  HDDに録画します。
- **DVDに取り込む → P.111**
  DVDに録画します。

本機のDV入出力端子に接続したデジタルビデオカメラの再生映像を録画します。

※ *DVR-610H のみ*

ホームメニューを表示する

① ホームメニューボタンを押す

ホームメニューが表示されます。

例 *DVR-610Hのホームメニュー*

② ↑ ↓ ← →で項目を選択して、決定ボタンを押す

例 *[ディスク設定]を選択したとき*

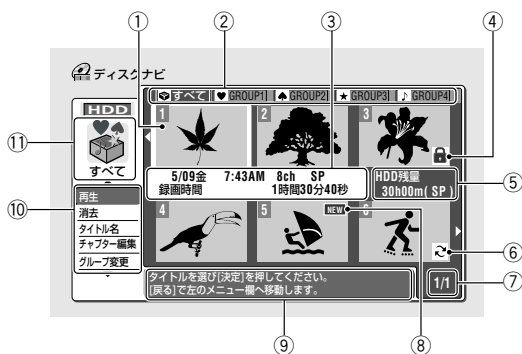
ホームメニューを終了する

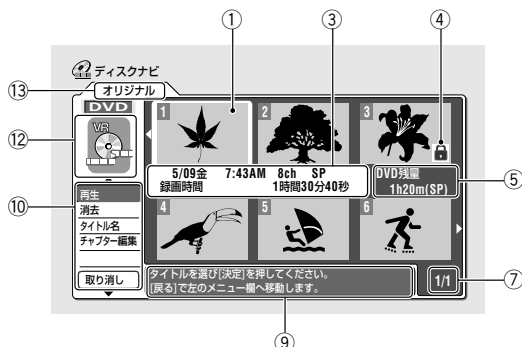
① ホームメニュー表示中にホームメニューボタンを押す

ホームメニューが終了します。
ホームメニューで開始した操作や設定は**ホームメニューボタン**を押すことでいつでも終了することができます。

ディスクナビの使いかた

HDD **DVD-RW** **DVD-R**

本機では、録画された内容を小画面(ナビ画面)の一覧(ディスクナビ)で表示することができます。再生や編集はこのディスクナビから行います。

のディスクナビ

例 **DVD-RW(VR)** のディスクナビ

① 録画されているタイトルの映像(ナビ画面)
② グループ欄(HDDのみ)
③ 選択されているタイトルの名前と録画時間
画面表示ボタンを押すと表示する内容を切り換えます。録画中のタイトルは[録画中]と表示されます。
④ 保護されているタイトル
タイトル保護のしかたについては『*タイトルを保護する(保護)*』(**P.61**)をご覧ください。
⑤ 残量と録画モード
⑥『*更新録画*』(**P.26**)が設定されているタイトル(HDDのみ)
⑦ 現在のページ/総ページ数
右のタイトル欄にカーソルがあるときにリモコンの**前⏮/次⏭ボタン**で前後のページが切り換わります。
⑧ 録画後一度も再生されていないタイトル(HDDのみ)
⑨ 簡単な操作説明
⑩ メニュー欄
⑪ 選択されているグループ(HDDのみ)
⑫ セットされているディスクの記録方式(VRモードまたはビデオモード)VRモードとビデオモードについては『*用語解説*』(**P.155**)をご覧ください。
⑬ オリジナルまたはプレイリスト(DVD-RW(VR)のみ)
オリジナルとプレイリストを切り換えるには**プレイリスト/メニューボタン**を押します。オリジナルとプレイリストについては『*用語解説*』(**P.155**)をご覧ください。

ディスクナビを表示する

ディスクナビ/トップメニューボタンを押す

ホームメニューから[**ディスクナビ**]を選択して表示することもできます。

左のメニュー欄にカーソルを戻すには

戻るボタンを押す

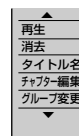
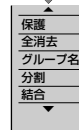
クリアボタンを使ってタイトルを消去する

消去したいタイトルを選択して、クリアボタンを押す

左のメニュー欄で[**消去**]を選択する必要はありません。

メニュー欄は2ページあります **HDD** **DVD-RW(VR)**

カーソルが1ページ目の[再生]の位置にあるときに↑を押すまたはカーソルが[グループ変更](HDDのディスクナビのとき)の位置にあるときに↓を押す

1ページ目

2ページ目

直前に行った消去/編集作業を取り消すには **DVD-R** **DVD-RW**

間違えてタイトルを消去してしまったときはその操作を取り消すことができます(ただし、直前に行った最大3つ前までの操作のみ)。詳しくは『*編集を取り消しましょう*』(**P.83**)をご覧ください。**ただし、HDDでは取り消しができません。**

ディスクナビを終了するには

ホームメニューまたはディスクナビ/トップメニューボタンを押す

録画しましょう

録画する前に必ずお読みください

- **他機でビデオモード録画したファイナライズされていないディスクを、本機で再生、追加録画及び編集(ファイナライズを含む)することはできません。**
- 内蔵HDDが故障すると、HDDに記録された内容が損なわれることがあります。大切な映像はHDDに記録したままにせず、DVD-R/RWにダビングして保存しておくことをおすすめします。なんらかの不具合で損なわれた録画内容の補償、およびそれに附随する損害に対して当社は一切の責任を負いかねます。
- 大切な録画をするときはHDDやDVD-RW(VRモード)で必ず事前にためし録りをして、正常に録画・録音されるか確認してください。
- 万一、本機やディスクの不都合によって、または停電や結露などの外部要因などによって録画できなかった場合、録画内容の補償やそれに付随する損害について、当社は一切の責任を負えませんのでご了承ください。
- 録画に関する注意事項については『*録画するときに知っておきたいこと*』(**P.151**)も合わせてご覧ください。

録画するディスクと記録方式を選択する

・録画した後に映像を編集したい。
・追いかけ再生をしたい※1。
・1回だけ録画可能の番組を録画したい※2。
・16:9の縦横比の映像をそのままの縦横比で録画したい。
・二カ国語放送の音声を切り換えられるように録画したい。

VRモードで録画

使うディスクは…

録画用DVD-RW

繰り返し録画/消去ができます。

本機で録画したディスクを他のDVDプレーヤー、カーDVD、または市販のDVDビデオを再生できるパソコンで再生したい。
(再生できないプレーヤーもあります)。

ビデオモードで録画

使うディスクは…

録画用DVD-RW※3

繰り返し録画/消去ができます(Ver1.1のDVD-RWをお使いください)。

録画用DVD-R

繰り返し録画/消去ができません(一度録画すると消去して書き換えができません)。

ファイナライズする

詳しくは『*本機で録画したディスクを他のDVDプレーヤーで再生できるようにする(ファイナライズ)*』(**P.30**)をご覧ください。

メモ

▼「録画用」または「for Video」と記載されているDVD-R/RWをお使いください。

※1　DVD-RW Ver1.1/2x(1～2倍速記録対応)のディスクをお使いください。
※2　DVD-RW Ver1.1CPRM対応のディスクをお使いください。
※3　お買い上げ時に未使用のDVD-RWをセットすると自動的にVRモードで初期化されます。DVD-RWをビデオモードで録画するにはビデオモードで初期化する必要があります。詳しくは『*DVD-RWを初期化する(初期化)*』(**P.135**)をご覧ください。

今見ている番組を録画する

HDD DVD-R DVD-RW

DVDに録画するときは『*録画するディスクと記録方式を選択する*』(**P.15**)をご覧になり使用するディスクと記録方式を選択してください。

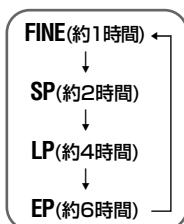
❶ HDDボタンを押す

- 録画先が[HDD]になります。
- [DVD]に録画したいときは、**DVDボタン**を押します。

❷ チャンネル(+/−)ボタンを押す

- 録画したいチャンネルに切り換えます。
- リモコンの**数字(0～9)ボタン**または本体の**スマートジョグ**でもチャンネルを切り換えることができます。
- 本体表示窓でチャンネルを確認することができます。表示されているチャンネルの番組が録画されます。

❸ 録画モードボタンを押す

- 押すたびに録画モードが下記のように切り換わります。

※ 録画時間は12cm片面(4.7GB)のディスクを使用したときの目安です。実際の録画時間は録画する映像によって異なります。

- さらに細かく録画時間や画質を設定したいときは『*マニュアル録画*』(**P.127**)をご覧ください。
- 二カ国語放送を記録するときは**P.17**の**メモ**にある制限がありますので合わせてご覧ください。
- 本体表示窓に選択されている録画モードが表示されます。

❹ 録画●ボタンを押す

- 録画を開始します。

メモ

▼ HDDとDVDに同時に録画することはできません。
▼ 録画はディスクの空きスペースに行うため、すでに録画されている映像は上書きされません。

数字ボタンでチャンネルを切り換えるには

停止中に数字(0～9)ボタンを押す

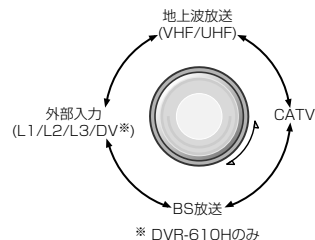
例 *12chに切り換えるとき*

数字ボタンの**1**、**2**を押して、**決定ボタン**を押します。

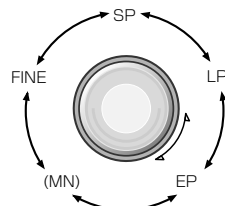
スマートジョグでチャンネルを切り換えるには

① **停止中にファンクションボタンを押す**
本体表示窓に[CHANNEL]と表示されるまで数回押してください。

② **スマートジョグを回す**
下記のように切り換わります。

※ DVR-610Hのみ

スマートジョグで録画モードを切り換えるには

① **停止中にファンクションボタンを押す**
本体表示窓に[REC MODE]と表示されるまで数回押してください。

② **スマートジョグを回す**
下記のように切り換わります。
本体表示窓に残量と録画モードが表示されます。

録画を一時停止するには

一時停止 II ボタンを押す

- HDDまたはDVD-RW(VRモード)では録画一時停止すると、その場面に自動的に区切り(チャプターマーク)が入ります。
- 録画を再開するには、再度**一時停止 II ボタン**を押します。

録画を停止するには

録画停止 □ ボタンを押す

DVDに録画したときはテレビ画面に[ディスク に情報を記録しています。]と表示されます。表示が消えてから次の操作を行ってください。

録画モードと録画時間について

記録媒体(容量) / 録画モード	HDD※1			DVD-RW		DVD-R (4.7GB)
	DVR-510H (80GB)	DVR-515H (120GB)	DVR-610H (160GB)	片面 (4.7GB)	両面※2 (9.4GB)	
FINE	約17時間	約26時間	約34時間	約1時間	約2時間	約1時間
SP	約34時間	約51時間	約68時間	約2時間	約4時間	約2時間
LP	約68時間	約102時間	約136時間	約4時間	約8時間	約4時間
EP	約102時間	約153時間	約204時間	約6時間	約12時間	約6時間

※1 *HDDの連続録画時間は約6時間です。*
※2 *DVD-RWの両面ディスクでは、両面に連続して録画することはできません。*

メモ

▼ HDDおよびDVDには、99タイトルまで録画することができます。
▼ 下記のときは二カ国語の主音声と副音声を同時に記録することはできません。『*二カ国語時記録音声*』(**P.124**)の設定で記録する音声をあらかじめ選択してください。選択した音声のみが記録されるため、再生時に音声を切り換えることはできません。
→ HDDを選択しているとき
→ DVD-RW(VRモード)がセットされていて、録画モードをFINEまたはMN32に設定しているとき
→ ファイナライズ前のDVD-R/RW(ビデオモード)がセットされているとき
▼ HDDに録画中にDVDに切り換えると**一時停止 II ボタン**で録画一時停止することはできません(DVDに録画中にHDDに切り換えたときも同じです)。再度HDD(DVD)に切り換えると操作することができます。

二カ国語で放送されている番組の音声を切り換えるには

二カ国語放送を受信中に音声 ◯◯ ボタンを押す

- 押すたびに主、副、または主+副音声が切り換わります。
- **メモ**(左記)にある制限がないときに音声を切り換えることができます。制限にあてはまるときは『*二カ国語時記録音声*』(**P.124**)の設定で音声を切り換えてください。

本機で録画したディスクを他のDVDプレーヤーまたはDVDレコーダーで再生するには

DVD-R/RW(ビデオモード)に録画したときはファイナライズを行う必要があります。詳しくは『*本機で録画したディスクを他のDVDプレーヤーで再生できるようにする(ファイナライズ)*』(**P.30**)をご覧ください。

残量を増やすには (HDD DVD-RW(VR) のみ)

下記の操作で残量を増やすことができます。不要な部分を消去することで繰り返し録画することができます。
→ オリジナルのタイトル消去(**P.59**)
→ オリジナルのチャプター消去(**P.66**)
→ バックアップデータの消去(HDD)(**P.99**)

残量は本機にディスクをセットしたときやディスク情報を表示(**P.145**)したときに確認することができます。

ワンタッチ録画

HDD DVD-R DVD-RW

30分ごと最大6時間まで録画時間を設定することができます。残量が設定した時間よりも少ないときは残量が許す限り録画されます。

1 録画を開始する

『今見ている番組を録画する』(**P.16**)の手順 **1**～**4** を行う

2 録画 ● ボタンを押す(ワンタッチ録画を設定する)

- テレビ画面に[ワンタッチ録画 0h00m]と表示されます(本体表示窓に[OTR 0H00M]と表示されます)。
- 押すたびに録画時間が30分ごとに切り換わります。
- ワンタッチ録画が終了すると自動的に電源がオフになります(本機操作中を除く)。

ワンタッチ録画を解除するには

ワンタッチ録画中に録画 ● ボタンを押す

- ワンタッチ録画設定後、3秒以上経過してから再度**録画●ボタン**を押します。
- テレビ画面に[ワンタッチ録画 0h00m]と表示されます。
- 本体表示窓に[OTR 0H00M]と表示されます。
- 録画は継続されます。

MEMO メモ

▼ 予約録画(**P.19-28**)が設定されているときは、ワンタッチ録画終了後に予約録画が開始されます。

▼ *『追いかけ再生』*(**P.49**)または*『同時録画再生』*(**P.50**)中にワンタッチ録画を設定することはできません。再生を停止してからワンタッチ録画を設定してください。

かんたん予約録画

HDD DVD-R DVD-RW

録画開始時刻と終了時刻を正時(00 分)から 15 分ごと(最大 6 時間まで)に簡単に設定することができます。

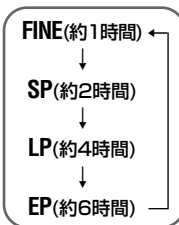
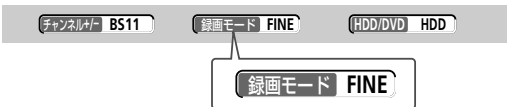
❶ かんたん予約ボタンを押す

- かんたん予約画面(下記)が表示されます。
- ホームメニューからかんたん予約画面を表示することもできます。

❷ チャンネル(+ / –)ボタンを押す

録画したいチャンネルを選択します。

❸ 録画モードボタン押す

- 録画モードを選択します。押すたびに下記のように切り換ります。

※ 録画時間は 12cm 片面(4.7GB)のディスクを使用したときの目安です。実際の録画時間は録画する映像によって異なります。

- さらに細かく録画時間や画質を設定したいときは『マニュアル録画』(**P.127**)をご覧ください。

❹ HDD ボタンまたは DVD ボタンを押す

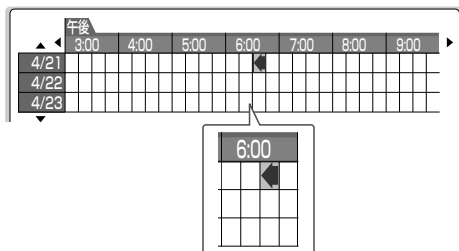
録画先を選択します。

かんたん予約ができないとき

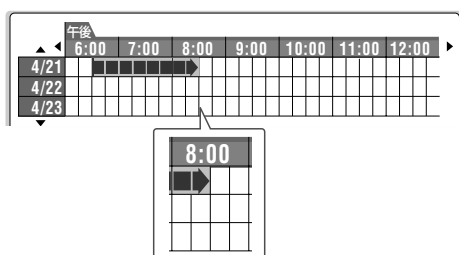
下記のようなときはかんたん予約できません。

- 予約録画中または予約録画待機中のとき。
- すでに 32 番組予約されているとき。
- オートスタート録画中

5 ↑ ↓ ← →で録画開始時刻にカーソルを合わせて決定ボタンを押す

例 *予約開始時刻を午後 6 時半に設定するとき*

早戻し ◀◀/ 早送り ▶▶ ボタンを押すと、1 時間ごとにカーソルが移動します。

6 ← →で録画終了時刻にカーソルを合わせる

例 *予約終了時刻を午後 8 時半に設定するとき*

7 決定ボタンを押す

- 予約を確定して、かんたん予約画面を終了します。
- かんたん予約画面が消えると本体表示窓の[◷]インジケーターが点灯します。
- 予約内容を変更したいときまたは予約録画するタイトルに名前を付けたいときは録画予約画面から行ってください。詳しくは『*録画予約画面で予約する(予約の確認 / 削除 / 変更)*』(**P.23**)をご覧ください。

MEMO **メモ**

- ▼ 最大 32 番組まで予約して録画することができます(G コード予約録画を含む)。
- ▼ 1 カ月先まで予約して録画することができます。
- ▼ 電源のオン/オフに関わらず開始時刻になると録画が開始されます(録画予約画面を表示したままのときなどを除く)。
- ▼ 録画可否を確認したいときは『*予約を確認するには*』(**P.23**)をご覧ください。

日付を変更するには

↑ ↓を押す

開始時刻を設定し直すには

戻るボタンを押す

手順 **2** に戻ります。

本体表示窓の◷インジケーターが点滅したとき

予約されている番組が正常に録画できないことを知らせています。下記のようなとき点滅します。

- タイトル数がすでに 99 になっているとき(不要なタイトルを消去してください)(『*タイトルを消去する(消去)*』**P.59**)。
- ディスクがセットされていないとき(DVD に録画予約したときのみ)。
- 録画できないディスクがセットされているとき(DVD に録画予約したときのみ)。
- 『*ディスク保護*』(**P.135**)が**[オン]**に設定されているとき(**[オフ]**に設定してください)(DVDに録画予約したときのみ)。
- 残量がない。

録画開始時刻の約 2 分前になると

- 本体表示窓に[TIMER RDY]と表示されます。
- 本機は予約録画待機状態になり操作が制限されます。
- 編集や本体設定などを行っているときは強制的に操作を終了して予約録画待機状態になります。

予約録画が開始されないとき

下記のようなときは開始されません。ただし、動作が終了した時点から録画を開始します。

- **録画●ボタン**を押して録画をすでに開始しているとき。
- かんたん予約、G コード予約、または録画予約画面表示中。
- 初期化中。
- ファイナライズ中(ビデオモードで録画したDVD-R/RWをファイナライズすると録画できなくなります)。
- ファイナライズ解除中。
- 等速ダビング中。

Gコード® 予約録画

HDD DVD-R DVD-RW

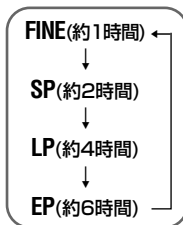
新聞または雑誌などのテレビ欄に記載されているGコードプログラム番号を入力して録画予約します。Gコード番号で予約するとチャンネル / 日付 / 開始時刻 / 終了時刻が自動的に設定されます。

1 Gコードボタンを押す

- Gコード予約画面(下記)が表示されます。
- ホームメニューからGコード予約画面を表示することもできます。

2 数字(0～9)ボタンでコードを入力する

例 Gコード番号が 123456 のとき

1、**2**、**3**、**4**、**5**、**6** と押します。

3 録画モードボタンを押す

録画モード FINE 録画モード で変更

- 押すたびに録画モードが下記のように切り換わります。

※ 録画時間は 12cm片面(4.7GB)のディスクを使用したときの目安です。実際の録画時間は録画する映像によって異なります。

- さらに細かく録画時間や画質を設定したいときは『*マニュアル録画*』(**P.127**)をご覧ください。[MN]を選択したときは↑ ↓で録画レベルを切り換えることができます。

Gコード予約ができないとき

下記のようなときはGコード予約できません。

- 予約録画中または予約録画待機中のとき。
- すでに32番組予約されているとき。
- オートスタート録画中。

コードの入力を間違えたときは

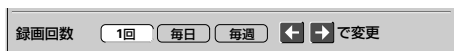
クリアボタンを押す

本体表示窓に[CODE ERROR]と表示されたとき

(テレビ画面に[入力したGコード番号が正しくありません]と表示された。)

- 入力したGコード番号が間違っていませんか？Gコード番号を確認して、再度入力してください。
- ガイドチャンネルが設定されていますか？電源がオフのときにGコード予約するときはあらかじめガイドチャンネルを設定してください。詳しくは『*ガイドチャンネル設定*』(**P.122**)をご覧ください。

4 ←→で録画回数を選択する

[1回]↔[毎日]↔[毎週]を切り換えます。

5 HDDボタンまたはDVDボタンを押す

録画先を選択します。

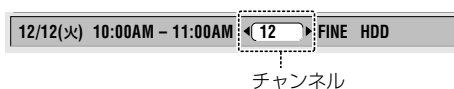
6 決定ボタンを押す

予約内容が表示されます。予約内容が正しいか確認してください。

予約確認表示

7 チャンネルが設定されているか確認する

チャンネルが設定されていないときは←→でチャンネルを設定してください

チャンネル

- Gコード予約画面が消えると本体表示窓の[⏲]インジケーターが点灯します。
- 再度**Gコードボタン**を押すと続けて他の番組を予約することができます。
- 予約内容を変更したいときまたは予約録画するタイトルに名前を付けたいときは録画予約画面から行ってください。詳しくは『*録画予約画面で予約する(予約の確認／削除／変更)*』(**P.23**)をご覧ください。

メモ

▼ 電源のオン／オフに関わらず開始時刻になると録画が開始されます。
▼ 録画可否を確認したいときは『*予約を確認するには*』(**P.23**)をご覧ください。

本体表示窓に[CAN' T SET]と表示されたとき
(テレビ画面に[この番組は終了時刻を過ぎているため予約できません]と表示された。)

- 入力したGコード番号の番組がすでに終了していませんか？

本機の電源がオフのときにGコード予約するには

録画先は[HDD]、録画モードは本体表示窓に表示されているモードになります。予約内容を変更したいときは録画予約画面で変更することができます(**P.23**)。

①Gコードボタンを押す

本体表示窓に下記のように表示されます。

G-CODE

②数字(0～9)ボタンでGコード番号を入力する

123456

- 入力を間違えたときは**クリアボタン**を押します。
- 途中でGコード予約を中止するときは**Gコードボタン**を押します。

③決定ボタンを押す

- 正しく入力されたときは、本体表示窓に[録画する番組の日付]→[録画開始時刻]→[録画終了時刻]→[録画先とチャンネル]が表示されます。
- 本体表示部の[⏲]インジケーターが点灯します。

録画予約画面で予約する(予約の確認/削除/変更)

HDD DVD-R DVD-RW

録画開始時刻または終了時刻を細かく設定したいとき録画予約画面で予約します。また、予約を確認/削除/変更したいときは録画予約画面で行います。録画予約画面には１ページに最大８番組分の予約が表示されます。

1 予約/確認ボタンを押す

- 予約確認画面(下記)が表示されます。
- ホームメニューから予約確認画面を表示することができます。

2 ↑ ↓で[新規入力]を選択して、決定ボタンを押す

録画予約画面(下記)が表示されます。

3 ↑ ↓で日付を設定する

押すたびに下記のように切り換わります。

今日の日付 ↔ 明日の日付 ←…→ １ヵ月後の日付
↕ ↕
毎日↔月～土↔月～金↔毎土曜日←…→毎日曜日

4 →で[開始]を選択して、↑ ↓で開始時刻を設定する

① ↑ ↓で[時]を設定して、→でカーソルを右へ移動します。

② ↑ ↓で[分]を設定します。

5 →で[終了]を選択して、↑ ↓で終了時刻を設定する

録画時間は６時間以内で設定することができます。６時間を超える番組を録画するときは6時間ごとに分けて予約してください(別のタイトルとして録画されるため、後の予約は開始が数秒遅れます)。

予約を確認するには

予約/確認ボタンを押す

- 予約確認画面が表示されます。
- １ページに最大８番組分の予約が表示されます。
- 確認したい予約が表示されていないときは**前⏮/次⏭ボタン**でページを切り換えてください。

予約を削除するには

① 予約/確認ボタンを押す

- 予約確認画面が表示されます。
- １ページに最大８番組分の予約が表示されます。
- 削除したい予約が表示されていないときは**前⏮/次⏭ボタン**でページを切り換えてください。

② ↑ ↓で削除したい予約を選択する

③ クリアボタンを押す

予約が削除されます。

予約を変更するには

予約確認画面で変更したい予約を選択して決定ボタンを押す

録画予約画面が表示されます。手順**3**～**12**を行って予約を変更してください。

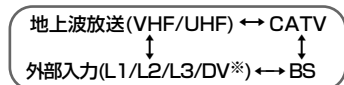
予約できないとき

下記のようなときは予約できません。

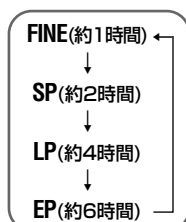
- 予約録画中または予約録画待機中。
- すでに32番組予約されているとき。
- オートスタート録画中。

6 →で[CH]を選択して、↑ ↓でチャンネルを切り換える

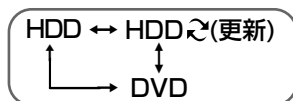
押すたびに下記のように切り換わります。

地上波放送(VHF/UHF) ↔ CATV
↕ ↕
外部入力(L1/L2/L3/DV※) ↔ BS

※ DVR-610Hのみ

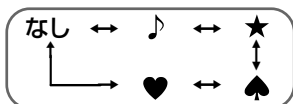
7 →で[録画モード]を選択して、↑ ↓で録画モードを切り換える

- 押すたびに録画モードが下記のように切り換わります。

- さらに細かく録画時間や画質を設定したいときは『*マニュアル録画*』(**P.127**)をご覧ください。**[MN]**を選択したときは↑ ↓で録画レベルを変更することができます。

8 →で[録画先]を選択して、↑ ↓で録画先を切り換える

- 押すたびに録画先が下記のように切り換わります。

- 録画先を[DVD]に設定した場合、セットされているディスクに予約した番組が録画しきれないときは、自動的に[HDD]へ録画されます。詳しくは『*おたすけ録画について*』(**P.26**)をご覧ください。
- 手順 **3** で**[毎日]**、**[月〜土]**、**[月〜金]**または**[毎日曜日]**↔…↔**[毎土曜]**を選択すると、録画先として**[HDD(更新)]**を選択することができます。詳しくは『*更新録画について*』(**P.26**)をご覧ください。

⑨ →で[グループ]を選択して、↑ ↓でグループを切り換える

- 押すたびに下記のように切り換わります。

- グループを設定しておくと、HDDのディスクナビでタイトルを探すとき便利です(『*ディスクナビからHDDまたはDVD-R/RWを再生する*』(**P.35**))。
- **[なし]**を選択するとどのグループにも分類されません。
- 録画後にグループを変更することができます。詳しくは(『*HDDに録画したタイトルのグループを変更する(グループ変更)*』(**P.74**)をご覧ください。
- 録画先を**[DVD]**に設定しているときはグループを選択することができません。

⑩ →で[録画タイトル名]を選択して、決定ボタンを押す

- 録画予約画面で録画する番組にあらかじめタイトル名を付けることができます(録画タイトル名)。
- 文字の入力方法については『*録画した映像に名前を付ける(タイトル名入力)*』(**P.70**)をご覧ください。
- 録画タイトル名を入力しないときは手順**11**に進みます。

⑪ ← →で[録画タイトル名]以外を選択して、決定ボタンを押す

- 予約確認画面(下記)に戻ります。

- 予約内容と残量を計算して**[結果]**欄に録画の可否(予約録画の可否確認)を表示します(録画中を除く)。
- 予約を削除したいときは『*予約を削除するには*』(**P.23**)をご覧ください。

⑫ 予約/確認ボタンを押す

- 予約確認画面が 終了します。
- 本体表示窓の[◷]インジケーターが点灯します。

本体表示窓の◷インジケーターが点滅したとき

予約されている番組が正常に録画できないことを知らせています。下記のようなときに点滅します。

- タイトル数がすでに99になっているとき(不要なタイトルを消去してください)(『*タイトルを消去する(消去)*』**P.59**)。
- ディスクがセットされていないとき(DVDに録画予約したときのみ)。
- 録画できないディスクがセットされているとき(DVDに録画予約したときのみ)。
- 『*ディスク保護*』(**P.135**)が**[オン]**に設定されているとき(**[オフ]**に設定してください)(DVDに録画予約したときのみ)。
- 残量がない。

録画開始時刻の約2分前になると

- 本体表示窓に[TIMER RDY]と表示されます。
- 本機は予約録画待機状態になり操作が制限されます。
- 再生、編集、または本体設定を行っているときは強制的に操作を終了して予約録画待機状態になります。

予約録画が開始されないとき

下記のようなときは開始されません。ただし、動作が終了した時点から録画を開始します。

- **録画●ボタン**を押して録画をすでに開始しているとき。
- かんたん予約、Gコード予約、または録画予約画面表示中。
- 初期化中。
- ファイナライズ中(ビデオモードで録画したDVD-R/RWをファイナライズすると録画できなくなります)。
- ファイナライズ解除中。
- 等速ダビング中。

MEMO メモ

▼ **電源のオン / オフに関わらず開始時刻になると録画が開始されます(録画予約画面を表示したままのときなどを除く)。**
▼ [DVD]に録画するとき『*ジャスト録画*』(**P.129**)を**[オン]**に設定すると、DVD残量不足で番組が録画しきれないときに、自動的に録画レベルを変更してできる限り録画できるようにします。
▼ 録画可否の確認は『*ジャスト録画*』(**P.129**)の設定も考慮されます。
▼ 録画可否の確認は確認した日から１ヵ月先まで計算します。
▼ 録画状況(ディスクに傷があり、正しく録画できなかったなど)によって、録画可否確認の表示通りに録画されないことがあります。
▼ **予約時間が重なっているときは…**
→ 開始時刻の早い予約が優先されます。終了時刻まで録画されます。
→ 開始時刻の早い予約の録画が終了後、開始時刻の遅かった予約の録画が開始されます。このとき、後の録画の開始が数十秒遅れます(前後の予約の開始時刻が重なっているときを含む)。
→ 開始時刻が同じときは、後から入力した予約が優先されます。
→ 他の予約と重なっている予約をしたときは**[予約重複]**と表示されます。
▼ 下記のような予約を設定することはできません。
→ ６時間を超える番組の予約。
→ 開始時刻と終了時刻が同じ予約。

おたすけ録画について

- おたすけ録画とは、録画予約時に録画先をDVDに設定したが、残量が不足している場合や高速ダビング/ディスクバックアップ実行中など、DVDへ録画できない場合に自動で番組の先頭からHDDに録画する機能です。
- 録画予約時に録画先をHDDに設定した場合はDVDへのおたすけ録画は実行されません。
- 『*ジャスト録画*』(**P.129**)を**[オン]**に設定しているときは『*ジャスト録画*』が優先されます。『*ジャスト録画*』でも足りないときにおたすけ録画が働きます(録画モードは録画予約時に設定した録画モードになります)。
- おたすけ録画が実行されたときは、それ以降に予約してある番組が録画されないことがあります。

更新録画について

- 更新録画では、ある１つの番組を毎日 / 毎週繰り返してHDDに録画するときに前日 / 前週に録画した番組を消去してから録画します。
- HDDが停止しているときのみ働きます。HDD再生中、高速ダビング中、またはディスクバックアップ中は更新録画が実行されません(予約していた番組は録画されますが、前回録画したタイトルは消去されません)。消去されなかったタイトルは次回更新録画するときにまとめて消去されます。
- 更新録画が実行された(タイトルが消去された)時点で消去されたタイトルがダビングリストにあったときは、ダビングリストが消去されます。
- 予約録画開始約２分前にタイトルが消去されます。消去されたタイトルは、予約を解除しても元には戻りません。
- 更新録画で録画されたタイトルは、ディスクナビのナビ画面にが表示されます(**P.14**)。タイトルを消去したくないときはタイトルを保護してください(**P.61**)。
- HDD残量が少ないときは、同じ予約であっても最後まで録画されないことがあります。

可否確認の[結果]に表示される内容

[OK]
問題なく録画できるときに表示されます。

[6h オーバー]
予約した録画時間が６時間を超えているときに表示されます。

[残量不足]
HDDへの予約で、録画時間より残量が少ないときに表示されます。残量が許す限り録画されます。

[予約重複]
予約した時刻が他の予約と重複しているときに表示されます。

[録画できる最後の日付]
毎曜日、月〜金、月〜土、または毎日の予約がいつまで録画できるかを表示します。表示された日付までは問題なく録画できます。

[管理情報オーバー]
HDDのチャプター数やその他の管理情報が一杯で録画できないときに表示されます。

[おたすけ]
DVDへの予約で、ディスクがセットされていないときや現在のディスクでは録画できないときなど、おたすけ録画になるときに表示されます。

[録画不可]
DVDへの予約で、おたすけ録画でも録画できないときに表示されます。

[タイトル数オーバー]
HDDのタイトル数が99を超えるため録画できないときに表示されます。

※ 予約した時刻を過ぎているときは何も表示されません。また本機の状態によっても表示されないことがあります。

録画予約画面の[結果]欄に[残量不足]と表示されたとき

HDDの残量が不足していて、予約の終了時刻まで録画できない可能性があるときに表示されます。下記のように対処してください。

- 現在の設定より長時間録画できる録画モードに変更する(詳しくは『*今見ている番組を録画する(手順3)*』(**P.16**)をご覧ください)。
- 不要なタイトルを消去する(『*タイトルを消去する(消去)*』**P.59**)。

予約録画または予約録画待機状態を解除する

HDD DVD-R DVD-RW

1 予約録画中または予約録画待機中に録画 ● ボタンを３秒以上押す

- 本体表示窓に[CANCEL]と表示され、予約録画(予約録画待機状態)が解除されます。
- **予約録画中の場合、録画は継続されます。**
- 録画を停止するには**録画停止 □ ボタン**を押します。

予約録画を延長する

HDD DVD-R DVD-RW

「スポーツ中継が延びて予約した番組の放送時間がずれてしまった」というときに便利です。

1 予約録画中に録画 ● ボタンを３秒以上押す

予約録画は解除されますが、録画は継続されます。

2 録画 ● ボタンを２回以上押す

押すたびに録画時間(30分ごと最大6時間まで)が切り換わります。延長したい時間に合わせて**録画●ボタン**を押してください(ワンタッチ録画)。ワンタッチ録画については『*ワンタッチ録画*』(**P.18**)をご覧ください。

CS放送などの番組を自動で録画する(オートスタート録画)

HDD

オートスタート録画とは、本機の入力 1/オートスタート録画端子に接続している BS/CS デジタルチューナーなどから出力される映像信号を検出して自動的に録画を開始/終了する機能です。
「接続している機器で番組の予約(電源オン)」→「本機の電源がオン」→「録画が開始」といった流れになります。BS/CSデジタルチューナーとの接続については『*DVDレコーダー準備ガイド(接続/設定編)*』(**P.18**)をご覧ください。オートスタート録画の録画先はHDDになります。

1 BS/CSデジタルチューナーなどで番組を予約する

- BS/CS デジタルチューナーなどの取扱説明書をご覧ください。

2 番組を予約後、BS/CSデジタルチューナーの電源をオフにする

3 [外部音声]の設定をする

二カ国語放送の番組を録画するときは『*外部音声*』(**P.124**)を**[二カ国語]**に設定します。また、『*二カ国語時記録音声*』(**P.124**)で録画する音声を選択します。

4 録画モードボタンを押す

押すたびに録画モードが切り換わります。

5 本体のファンクションボタンを3秒以上押す

オートスタート録画待機状態になります。本体表示窓の[AUTO]インジケーターが点灯して、電源がオフになります。

録画開始前にオートスタート録画を解除するには

電源⏻ボタンを押す

[AUTO]インジケーターが消えます。

録画中にオートスタート録画を中止するには

① 録画●ボタンを3秒以上押す

[AUTO]インジケーターが消え、オートスタート録画が解除されます。**ただし、録画は継続されます。**

② 録画停止□ボタンを押す

録画が停止します。

オートスタート録画を設定できないとき

- 再生中、録画中、または予約録画待機中。
- HDD 残量が足りないとき
- HDD のタイトル数がすでに 99 のとき

オートスタート録画が開始されないとき

予約録画の実行中はオートスタート録画が開始されません。また、オートスタート録画中に他の録画予約の開始時刻になったときは、オートスタート録画は中断され、予約されていた録画が開始されます。録画が終了するとオートスタート録画は再開されます。

MEMO メモ

▼ 接続している機器の電源がオフになると録画を終了してオートスタート録画待機状態のまま本機の電源がオフになります。
▼ BS/CSデジタルチューナーなどからの映像信号を検出してから本機の電源がオンになるため、番組の冒頭部分が録画されないことがあります。
▼ オートスタート録画機能をオンにする前にBS/CSデジタルチューナーなどを予約待機状態(電源オフ)にしてください。電源がオンになっていると設定した時間に関係なく録画が開始されます。

ビデオから本機にダビングする(外部入力端子に接続した機器の映像を録画する)

HDD DVD-R DVD-RW

本機とビデオの接続については『*DVD レコーダー準備ガイド(接続/設定編)*』(**P.14**)をご覧ください。

1 [外部音声]の設定をする

二カ国語放送の番組を録画するときは『*外部音声*』(**P.124**)を**[二カ国語]**に設定します。また、『*二カ国語時記録音声*』(**P.124**)で録画する音声を選択します。

2 入力切換ボタンを押す

- 押すたびに下記のように切り換わります。

L1(入力1/オートスタート録画)
↓
L2(入力2)(本体前面)
↓
L3(入力3)/BSデコーダ
↓
DV入出力(本体前面)※
↓
地上波放送(VHF/UHF)、CATV、BS放送

※ *DVR-610Hのみ*

- 接続した外部機器の映像がテレビ画面に映っていることを確認してください。

L3(入力3)が選択できない

『*個別チャンネル設定*』(**P.119**)の**[BSデコーダ設定]**で**[外部固定]**または**[自動]**を選択すると**[L3]**はWOWOWデコーダー専用に設定されるため、入力を**[L3]**に切り換えることができなくなります。詳しくは、『*DVD レコーダー準備ガイド(接続/設定編)*』(**P.29**)をご覧ください。

3 録画モードボタンを押す

録画モードを切り換えます。

4 ビデオ(外部入力端子に接続した機器)の再生を開始する

5 録画 ● ボタンを押す

録画を開始します。

メモ

▼ 録画禁止信号を含む映像を録画することはできません。また、視聴のみでも正しい映像が得られないことがあります。詳しくは『*録画するときに知っておきたいこと*』(**P.151**)をご覧ください。

本機で録画したディスクを他のDVDプレーヤーで再生できるようにする(ファイナライズ)

DVD-R　DVD-RW

本機で録画したDVD-R/RW(ビデオモード)をDVDプレーヤー、カーDVD、またはDVDビデオ対応のパソコンなどで再生したいときにファイナライズを行います。他のDVDプレーヤーで再生するには、下記の『*他のDVDプレーヤーで再生するための条件*』で録画されたディスクをファイナライズしてください。

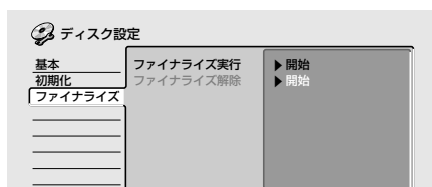
1 ファイナライズしたいディスクをセットする

2 停止中にホームメニューボタンを押す

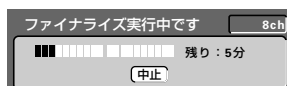
ホームメニューが表示されます。

3 [ディスク設定]を選択して、決定ボタンを押す

ディスク設定画面(下記)が表示されます。

ディスク設定
基本
初期化
ファイナライズ
ファイナライズ実行　▶開始
ファイナライズ解除　▶開始

4 [ファイナライズ]→[ファイナライズ実行]→[開始]と選択して、決定ボタンを押す

- DVD-R/RW(ビデオモード)のときは背景選択画面が表示されます。背景は９種類の中から選択することができます。手順**5**へ進んでください。

- DVD-RW(VRモード)のときはファイナライズが開始され、下記の画面が表示されます。

他のDVDプレーヤーで再生するための条件

下記の条件で録画されたディスクをファイナライズすると他のDVDプレーヤーで再生することができます。

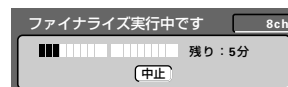
録画するディスクの種類

- DVD-R(Ver.2.0、Ver.2.0/4×)
- DVD-RW(Ver.1.1、Ver.1.1 CPRM対応、Ver.1.1/2× CPRM対応)

録画の記録方式

ビデオモード

ファイナライズを途中で中止するには

[中止]が表示されているときに、決定ボタンを押す

ただし、ファイナライズ終了約4分前になると**[中止]**が消え、中止することができません。また、**[中止]**が最初から表示されていないときも中止することはできません。

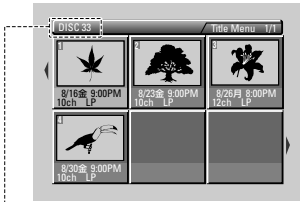
本機で録画したDVD-RW(VRモード)を他のDVD-RW対応プレーヤーで再生できないとき

本機で録画したDVD-RW(VRモード)はRW COMPATIBLEの表記のあるDVD-RW対応プレーヤーで再生が可能です。対応プレーヤーにもかかわらず再生できないときはディスクのファイナライズを行ってください。

5 ↑ ↓ ← →で背景を選択して、決定ボタンを押す

- タイトルメニューの作成を開始します。
- タイトルメニュー作成後にファイナライズが開始されます。
- [中止]が表示されているときは**決定ボタン**を押して中止することもできます。

ファイナライズ後作成されるタイトルメニューについて

DVD-R/RW(ビデオモード)のファイナライズ後は下記のようなメニューが作成されます。

ディスク名が表示されます。ディスク名は初期化したときなどに自動で入力されますのでファイナライズ前に確認することをおすすめします(『*ディスク一覧*』**P.144**)。ディスク名を変更したいときは『*ディスクに名前を付ける(ディスク名入力)*』(**P.134**)をご覧ください。

下記の機種で録画したディスクはファイナライズすることはできますが作成されるディスクメニューは文字情報のみとなります。背景の選択はできません。また、ファイナライズを解除することもできません。
DVR-1000アップグレード/DVR-2000/DVR-7000/DVR-3000

メモ

- **本機で録画したディスクは本機でファイナライズを行ってください。**
- ファイナライズしたDVD-R/RW(ビデオモード)は録画/編集することができなくなります。ただし、本機で録画したDVD-RW(ビデオモード)では、ファイナライズを解除すると再度録画/編集することができます。
- **他機でビデオモード録画したファイナライズされていないディスクを、本機で再生、追加録画及び編集(ファイナライズを含む)することはできません。**
- 本機でファイナライズしたDVD-RW(VRモード)はファイナライズ後も録画/編集することができます。
- 他機でファイナライズされたDVD-RW(VRモード)をセットすると[ファイナライズ解除してください]と表示されることがあります。このときは、*ファイナライズを解除*してください。本機で録画/編集を行うことができます。解除のしかたについては『*ファイナライズを解除する*』をご覧ください。
- **DVDプレーヤーによってはDVD-R/RW(ビデオモード)を再生しない機種があります(P.147-148)。**
- ファイナライズに必要な時間は、ディスクの種類および録画されている時間/タイトル数によって異なります。DVD-RW(VRモード)で数分～1時間、DVD-R/RW(ビデオモード)で数分～20分くらいです。未録画部分が多いほどファイナライズに時間がかかります。

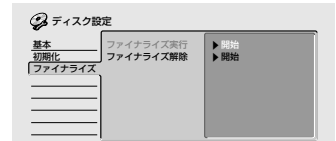
ファイナライズを解除する (DVD-RW のみ)

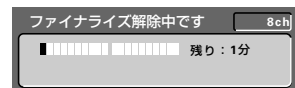
① **ファイナライズ解除したいディスクをセットする**

② **停止中にホームメニューボタンを押す**

ホームメニューが表示されます。

③ **[ディスク設定]を選択して、決定ボタンを押す**

ディスク設定画面が表示されます。

④ **[ファイナライズ]→[ファイナライズ解除]→[開始]と選択して、決定ボタンを押す**

ファイナライズの解除が開始されます。

再生しましょう

本機で再生できるディスク

▼ 本機はNTSC(日本のテレビ方式)に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをお使いください。
▼ 下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。
▼ 各ディスクの詳しい注意事項などについて『*使用できるディスクについて*』(**P.147**)も合わせてご覧ください。

再生できるディスクの種類とマーク			
	DVD-R	DVD-RW	
ファイル／フォーマット	DVD-Video DVD-R	DVD-RW(Video) DVD-RW(VR)	
	DVDビデオ		
ファイル／フォーマット	DVD-Video		
	ビデオ CD		
ファイル／フォーマット	Video CD		
	CD	CD-R	CD-RW
ファイル／フォーマット	CD(R/RW)	Video CD CD(R/RW) WMA/MP3 JPEG	Video CD CD(R/RW) WMA/MP3 JPEG
	フジカラー CD	コダックピクチャーCD	

：*このマークは富士写真フィルム（株）の商標です。*

本機で再生できないディスクの種類

- リージョンナンバー(『*用語解説*』**P.155**)が「2」または「ALL」以外の DVD ビデオ
- DVD オーディオ
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- SACD
- フォト CD
- CD-G
- CD-ROM
- CD EXTRA のデータ
- 本機以外で録画されたファイナライズ前のDVD-R/RW(ビデオモード)

コピーコントロール CD について

当製品は、音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

メモ

▼ パソコンで記録された DVD を再生できないことがあります。
▼ **他機でビデオモード録画したファイナライズされていないディスクを、本機で再生、追加録画及び編集(ファイナライズを含む)することはできません。**

基本的な使いかた

HDD | DVD-Video | DVD-R | DVD-RW

▼ ディスクナビを表示するには『ディスクナビの使いかた』(**P.14**)をご覧ください。
▼ ホームメニューを表示するには『ホームメニューの使いかた』(**P.13**)をご覧ください。

何をする？	これを押す！	知っておいて！
HDDとDVDを切り換える	HDD DVD	• HDD を再生したいときは **HDDボタン**を押します。 • DVD-Video DVD-R DVD-RW を再生したいときは**DVDボタン**を押します。 • 再生中にHDDとDVDを切り換えると再生が停止します。
再生する	再生 ►	• DVD-Video では、再生を開始するとディスクメニューを表示するディスクがあります。メニューの操作については『DVDビデオのディスクメニューを操作する』(**P.34**)をご覧ください。 • ディスク情報読み込み中はテレビ画面に[読込中]と表示されます。表示が消えてから再生してください。
停止する	停止 ■	• HDD では、タイトルごとに停止した場所を記憶します(つづき再生機能)。**再生►ボタン**を押すと[つづき再生]と表示され、停止した場所から再生を開始します。また、ディスクナビから再生(**P.35**)するときも停止した場所から再生を開始します。 停止中に再度**停止■ボタン**を押すとつづき再生機能が解除され、テレビ画面に[つづき再生オフ]と表示されます。次に**再生►ボタン**を押すと最後に再生したタイトルの先頭から再生します。 • DVD-Video DVD-R DVD-RW では停止した場所を記憶します。**再生►ボタン**を押すとテレビ画面に[つづき再生]と表示され、停止した場所から再生を開始します。つづき再生機能を解除するには、停止中に再度**停止■ボタン**を押します。
一時停止する	一時停止 II	通常の再生に戻すには、一時停止中に**再生►ボタン**または**一時停止IIボタン**を押します。
頭出しする(進む)	前 次 ►►I	次のタイトル/チャプターに進みます。
頭出しする(戻る)	前 次 I◄◄	再生中のチャプターの先頭に戻ります。2回連続で押すと1つ前のタイトル/チャプターに戻ります。
タイトル/チャプターを指定して再生する	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 決定	• 再生中に**数字(0～9)ボタン**でタイトル/チャプター番号を入力して**決定ボタン**を押します(タイトル/チャプター番号を入力してから2秒以上経過すると自動的に指定したタイトル/チャプターを再生します)。 HDD DVD-RW(VR) ではタイトルを指定して再生します。DVD-Video DVD-R DVD-RW(Video) ではチャプターを指定して再生します。 例 *タイトル/チャプター12を再生するには* **数字ボタン**の**1**、**2**を押して、**決定ボタン**を押します。

つづき再生機能が解除される条件

- 本機をお買い上げ時の設定に戻す(『*すべての設定をお買い上げ時の状態に戻す*』**P.143**)。
- 停止中に**停止 ■ ボタン**を押す。
- ディスクを取り出す(DVDのときのみ)。
- オリジナル / プレイリストを切り換えて再生する(VRモードのみ)。
- 録画 / 消去 / 編集する。
- 下記の設定を変更する(DVDビデオおよびファイナライズしたDVD-R/RW(ビデオモード)のみ)。

→『*音声言語*』(**P.126**)
→『*字幕言語*』(**P.126**)
→『*自動言語設定*』(**P.126**)
→『*DVDメニュー言語*』(**P.126**)
→『*字幕表示*』(**P.126**)
→『*視聴制限*』(**P.132**)

- DVD-R/RW(ビデオモード)をファイナライズする。
- DVD-RW(ビデオモード)のファイナライズを解除する。

メモ

▼ DVDビデオではディスクテーブルを閉めると自動的に再生を始めるディスクもあります。
▼ DVDビデオでは右図のように画面の上下に黒い帯がつくディスクがあります。本機の故障ではありません。

▼ DTS音声で収録されたDVDビデオでDTS音声を選択すると、アナログ音声出力端子からは音声が出力されません。接続しているAVアンプがDTS音声に対応していないときは、リモコンの**音声**◯◯ **ボタン**またはディスクメニューでDTS以外の音声を選択してください。
▼ ファイナライズ済のDVD-R/RW(ビデオモード)はDVDビデオと同じ操作になります。

DVDビデオのディスクメニューを操作する

DVD-Video

何をする？	これを押す！	何をする？	これを押す！
ディスクメニューを表示する	メニュー	*項目を決定する*	決定
ディスクの最上層のメニューを表示する	トップメニュー	*前の画面に戻る*	戻る
カーソルを移動する	↑↓←→	*項目を番号で選択する*	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

ディスクナビからHDDまたはDVD-R/RWを再生する

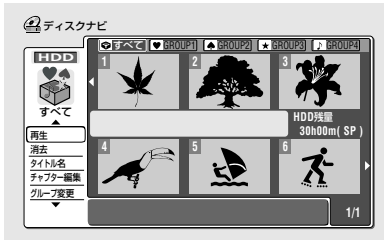
HDD DVD-R DVD-RW

ディスクナビでは、録画した順にタイトルの小画面(ナビ画面)が一覧表示されます。ナビ画面をお好みの場面に変更することもできます。また、ディスクナビには再生以外の機能もあります。詳しくは『*消去しましょう*』(**P.59**)および『*編集しましょう*』(**P.63**)をご覧ください。

1 HDDボタンを押す

DVDを再生したいときは**DVDボタン**を押します。

2 ディスクナビ/トップメニューボタンを押す

- ディスクナビが表示されます。ホームメニューから[**ディスクナビ**]を選択して表示することもできます。
- 直前に録画/再生されていたタイトルが選択されています。
- 録画後一度も再生されていないタイトルには[NEW]と表示されます(HDDのディスクナビのみ)。

3 [再生]が選択されていることを確認して、決定ボタンを押す

右のタイトル欄にカーソルが移動します。

4 再生したいタイトルを選択して、決定ボタンを押す

- 選択したタイトルから再生を開始します。
- HDDは前回再生を停止した場所から再生を開始します。ただし、つづき再生機能を解除したときは、前回再生していたタイトルの先頭から再生します。

MEMO
メモ

▼ DVD-RW(VRモード)でオリジナルとプレイリストを切り換えるときは、**プレイリスト/メニューボタン**を押します。オリジナルとプレイリストについては『*用語解説*』(**P.155**)をご覧ください。

[ナビ画面]をお好みの場面に変更するには

① [ナビ画面]を変更したいタイトルを再生する
② お好みの場面でナビマークボタンを押す
- テレビ画面にNAVI MARKが表示されナビ画面が変更されます。
- ナビ画面の自動設定については『*ナビマーク*』(**P.129**)をご覧ください。

ディスクナビのページを切り換えるには

前 |◀◀/ 次 ▶▶| ボタンを押す

再生▶ボタンを使ってタイトルを再生する

左のメニュー欄で[消去]などを選択していても再生したいタイトルのナビ画面を選択して再生▶ボタンを押すと再生することができます。

グループ別に表示するには HDD

グループ変更(**P.74**)や録画予約でグループを設定したとき(**P.25**)は、グループごとに[ナビ画面]を表示することができます。グループ名を変更することもできます(**P.75**)。

① ディスクナビ/トップメニューボタンを押す
ディスクナビが表示されます。
② 決定ボタンを押して右のタイトル欄(ナビ画面)に移動する
③ ↑でカーソルをグループ欄に移動する
④ ← →でグループを選択して、決定ボタンを押す

ディスクナビから DVD ビデオを再生する

DVD-Video

1 DVD ボタンを押す

2 ホームメニューボタンを押す

ホームメニュー(下記)が表示されます。

例 *DVR-610H のホームメニュー*

3 [ディスクナビ]を選択して、決定ボタンを押す

ディスクナビ(下記)が表示されます。

例 DVD-Video *のディスクナビ*

4 ↑ ↓ ← →で再生したいタイトル / チャプターを選択して、決定ボタンを押す

選択したタイトル / チャプターから再生を開始します。

メモ

▼ 下記のようなときはホームメニューの **[ディスクナビ]** が灰色で表示され選択することができません。

→ ディスクがセットされていないとき。

→ DVD ビデオのディスクメニューを表示中。

早送り／早戻しする

HDD | DVD-Video | DVD-R | DVD-RW

早送りの速さを４段階(早送り１→２→３→４)に切り換えることができます(早戻しは逆再生→早戻し１→２→３→４)。

早送りする

1 再生中に早送り ▶▶ ボタンを押す

- テレビ画面に[▶▶ 早送り 1]と表示されます。
- 押すたびに速さを切り換えることができます。

早戻しする

1 再生中に早戻し ◀◀ ボタンを押す

- １回押すと逆再生になります。逆再生中に再度押すと早戻しを開始します。
- テレビ画面に[◀◀ 早戻し 1]と表示されます。
- 押すたびに速さを切り換えることができます。

通常再生に戻すには

早送り／早戻し中に再生 ▶ ボタンを押す

スマートジョグで早送り/早戻しする

① 再生中にファンクションボタンを押す

本体表示窓に[PLAY]と表示されるまで数回押してください。

② スマートジョグを回す

下記のように早送り／早戻しの速さが切り換わります。

メモ

- ▼ ディスクによっては逆再生がスムーズにできないことがあります。
- ▼ DVDビデオでは早送り／早戻しできないディスクがあります。
- ▼ チャプターの変わり目などで自動的に通常の再生に戻ってしまうことがあります。
- ▼ 字幕が収録されているDVDビデオでも早送り／早戻し中は字幕が表示されません。
- ▼ HDDの早送り中(早送り１のみ)は下記のときに音声が出力されます。その他の早送り中は音声が出力されません。
  - → アナログ音声で視聴しているとき
  - → リニアPCMでデジタル音声が出力されているとき(96kHzリニアPCMが出力されているときを除く)
- ▼ DVD-RW(VRモード)の早送り中(早送り１のみ)は下記のときのみ音声が出力されます(DVD追いかけ再生またはDVD同時録画再生中を除く)。その他の早送り中は音声が出力されません。
  - → アナログ音声で視聴しているとき
  - → リニアPCMでデジタル音声が出力されているとき(96kHzリニアPCMが出力されているときを除く)

CMをとばして再生する(CMスキップ)

HDD | DVD-Video | DVD-R | DVD-RW

① 再生中にCMスキップボタンを押す

押すたびに映像／音声を30秒ごと最大４分までとばすことができます。

メモ

▼ DVDビデオではCMスキップできないディスクがあります。

コマ送り / 戻し再生する

HDD | DVD-Video | DVD-R | DVD-RW

1 再生中に一時停止 II ボタンを押す

一時停止になります。

2 コマ送り / スロー II▶ ボタンを押す

- 押すたびにコマ送りします。
- 押し続けると連続でコマ送りします。

メモ

▼ DVDビデオではコマ送り / 戻し再生することができないディスクがあります。
▼ チャプターの変わり目などで自動的に通常の再生に戻ってしまうことがあります。
▼ コマ送り / 戻し再生中は音声が出力されません。また、字幕が収録されているDVDビデオのコマ戻し再生中は字幕が表示されません。
▼ コマ戻し再生中は画質が低下します。
▼ 再生一時停止中の映像にブレがあるときは『*ポーズモード*』(**P.131**)を**[フィールド]**に切り換えてください。

コマ戻し再生するには

再生一時停止中にコマ送り / スロー ◀II ボタンを押す

- 押すたびにコマ戻しします。
- 押し続けると連続でコマ戻しします。

通常の再生に戻すには

再生 ▶ ボタンを押す

スマートジョグを使ってコマ送り / 戻し再生する

①再生中にファンクションボタンを押す

本体表示窓に[STEP]と表示されるまで数回押してください。

②スマートジョグを回す

- 左右どちらかに1段階回すと、再生一時停止になります。
- 右に回す(時計回り)とコマ送り再生します。
- 左に回す(反時計回り)とコマ戻し再生します。

スロー再生する

HDD　DVD-Video　DVD-R　DVD-RW

❶ 再生中にコマ送り / スロー II▶ ボタンを押す

- テレビ画面に[I▶ スロー 1/16]と表示されます。
- 押すたびに速さを切り換えることができます。詳しくは『*スロー再生の速さを変えるには*』(右記)をご覧ください。

MEMO

メモ

▼ DVDビデオではスロー再生することができないディスクがあります。
▼ チャプターの変わり目などで自動的に通常の再生に戻ってしまうことがあります。
▼ スロー再生中は、音声が出力されません。また、字幕が収録されているDVDビデオの逆方向のスロー再生中は字幕が表示されません。
▼ ディスクによっては逆方向のスロー再生がスムーズにできないことがあります。
▼ 逆方向のスロー再生中は、画質が低下します。

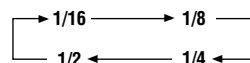
逆方向にスロー再生するには

再生中にコマ送り/スロー◀II ボタンを押す

スロー再生の速さを変えるには

スロー再生中にコマ送り / スロー II▶ ボタンを押す

押すたびに下記のように速さが変わります。逆方向にスロー再生するときは**コマ送り/スロー◀IIボタン**を押します。

1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2 → 1/16

通常の再生に戻すには

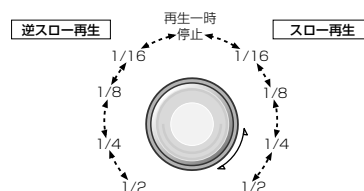
再生 ▶ ボタンを押す

スマートジョグを使ってスロー再生するには

① 再生一時停止中にファンクションボタンを押す

本体表示窓に[PAUSE]と表示されるまで数回押してください。

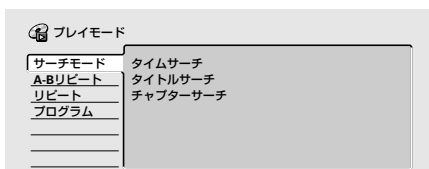
② スマートジョグを回す

下記のようにスロー再生の速度が切り換わります。

見たい場面を指定して再生する(サーチモード)

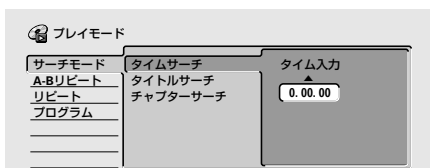
HDD | DVD-Video | DVD-R | DVD-RW

❶ プレイモードボタンを押す

プレイモード画面が表示されます。ホームメニューから[プレイモード]を選択して表示することもできます。

例 DVD-Video *のプレイモード画面*

❷ [サーチモード]を選択して、カーソルを右へ移動する

❸ サーチモードの種類を選択して、決定ボタンを押す

例 DVD-Video *のサーチモード画面*

■ **タイムサーチ**
時間を指定して再生します。再生中のみ選択することができます。

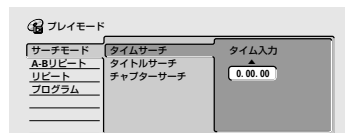
■ **タイトルサーチ**
タイトルを指定して再生します。

■ **チャプターサーチ**
チャプターを指定して再生します。

❹ 数字(0～9)ボタンで再生したいタイトル、チャプター、または時間を入力して、決定ボタンを押す

- 指定したタイトル、チャプター、または時間から再生を開始します。
- ⬆ ⬇でタイトル、チャプター、または時間を指定して再生することもできます。
- 入力をやり直すときは**クリアボタン**を押します。

タイムサーチを選択したとき

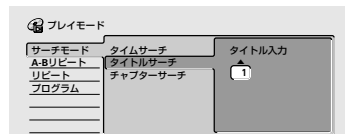
例 DVD-Video *のタイムサーチ画面*

- 21分43秒を再生するには、**数字ボタン**の**2**、**1**、**4**、**3**を押して、**決定ボタン**を押します。
- 1時間4分を再生するには、**数字ボタン**の**1**、**0**、**4**、**0**、**0**を押して、**決定ボタン**を押します。

フレームサーチするには

本体設定の『フレームサーチ』(**P.131**)を[**オン**]に設定しているとフレーム番号を指定してタイムサーチを行うことができます。また、再生一時停止中にディスクの情報を表示するとフレーム番号が表示されます(**P.145**)。映像は1秒間が30フレームで構成されています。そのため、フレーム番号は0～29となります。

フレームを指定したタイムサーチで1分05秒12フレームを選択するには、**数字ボタン**を**1**、**0**、**5**、**1**、**2**と押します。フレームを指定したタイムサーチでは、サーチしたあとに再生一時停止状態になります。

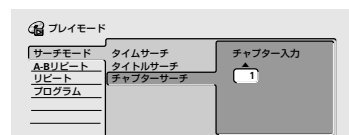
タイトルサーチを選択したとき

例 DVD-Video *のタイトルサーチ画面*

- タイトル3を再生するには、**数字ボタン**の**3**を押して、**決定ボタン**を押します。

メモ

- ▼ DVDビデオにはディスクメニューから見たいタイトル/チャプターを指定して再生することができるディスクもあります。このときは、リモコンの**プレイリスト/メニューボタン**でディスクメニューを表示させて見たいタイトル/チャプターを指定してください。
- ▼ DVD ビデオではサーチ機能を禁止しているディスクがあります。
- ▼ タイムサーチでは指定した時間より少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- ▼ ディスクによっては指定したフレームにサーチできないことがあります。

チャプターサーチを選択したとき

例 DVD-Video のチャプターサーチ画面

- チャプター 12 を再生するには、**数字ボタン**の **1**、**2** を押して、**決定ボタン**を押します。

スマートジョグを使ってタイトル/チャプターを指定して再生する

① **再生中にファンクションボタンを押す**

- 本体表示窓に[TITLE]と表示されるまで数回押してください。
- チャプターのときは[CHP]と表示されるまで押してください。

② **スマートジョグを回す**

再生したいタイトルまたはチャプターの番号を選択します。番号を選択してから数秒経過すると自動的に再生を開始します。

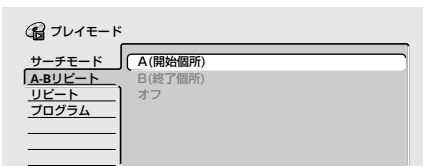
指定した範囲を繰り返し再生する(A-B リピート再生)

HDD　DVD-Video　DVD-R　DVD-RW

1 再生中にプレイモードボタンを押す

プレイモード画面が表示されます。ホームメニューから[プレイモード]を選択して表示することもできます。

2 [A-B リピート]を選択して、カーソルを右へ移動する

例 DVD-Video のA-B リピート画面

3 [A(開始個所)]が選択されていることを確認する

4 A-B リピートを開始したい個所で決定ボタンを押す

[B(終了個所)]にカーソルが移動します。

5 A-Bリピートを終了したい個所で[B(終了個所)]を選択して、決定ボタンを押す

A-B リピート再生を開始します。

通常の再生に戻すには

① 再生中にプレイモードボタンを押す

プレイモード画面が表示されます。

② [A-B リピート]→[オフ]を選択して、決定ボタンを押す

メモ

- DVD ビデオでは A-B リピートできないディスクがあります。
- DVDビデオおよびDVD-R/RW(ビデオモード)ではタイトルをまたいだA-Bリピート再生はできません。
- A-Bリピート再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻すこともできます。
- A-B リピート再生とプログラム再生を同時に行うことはできません。
- A-Bリピート再生中にアングルを切り換える(**P.48**)とリピート再生は解除されます。

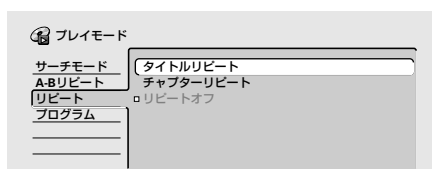
繰り返し再生する(リピート再生)

HDD DVD-Video DVD-R DVD-RW

1 再生中にプレイモードボタンを押す

プレイモード画面が表示されます。ホームメニューから[**プレイモード**]を選択して表示することもできます。

2 [リピート]を選択して、カーソルを右へ移動する

例 DVD-Video のリピート画面

- **ディスクリピート**(DVD-RW(VR)のみ)
  現在再生中のディスクを繰り返し再生します。
- **タイトルリピート**
  現在再生中のタイトルを繰り返し再生します。
- **チャプターリピート**
  現在再生中のチャプターを繰り返し再生します。
- **リピートオフ**
  通常の再生に戻ります。
- **プログラムリピート**(DVD-Videoのみ)
  プログラム再生中のみ選択することができます。プログラムしたタイトル/チャプターを繰り返し再生します。

3 リピート再生の種類を選択して、決定ボタンを押す

リピート再生を開始します。

メモ

- リピート再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻すこともできます。
- DVDビデオではリピート再生できないディスクがあります。
- リピート再生中にアングルを切り換える(**P.48**)とリピート再生は解除されます。

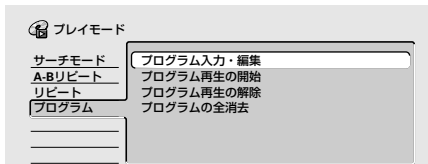
順番を変えて再生する(プログラム再生)

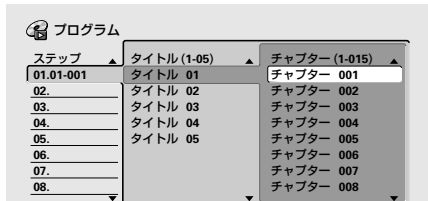
DVD-Video

24ステップまでプログラムすることができます。

1 プレイモードボタンを押す

プレイモード画面が表示されます。ホームメニューから[プレイモード]を選択して表示することもできます。

2 プログラムを選択して、カーソルを右へ移動する

3 [プログラム入力・編集]が選択されていることを確認して、決定ボタンを押す

プログラム入力編集・画面(下記)が表示されます。

4 プログラムしたいタイトル / チャプターを選択して、決定ボタンを押す

5 4を繰り返して他のタイトル/チャプターをプログラムする

6 再生 ▶ ボタンを押す

プログラムした順に再生を開始します。

ステップの間にプログラムを追加するには

例 プログラムステップ02の前にタイトル1のチャプター7を追加する

①カーソルをプログラムステップ02に合わせる

②タイトル1のチャプター7を選択して、決定ボタンを押す

プログラムステップ02にタイトル1のチャプター7が追加されます。もともとプログラムステップ02にあったタイトル / チャプターは新しいプログラムの後ろに移動します。

入力中にプログラムを削除するには

例 プログラムステップ02のプログラムを削除する

①カーソルをプログラムステップ02に合わせる

②クリアボタンを押す

プログラムステップ02のプログラムが削除され、その後ろにあったタイトル/チャプターが1つ前に繰り上がります。

プログラム再生を開始しないでプログラム画面を終了するには

プログラム画面表示中にプレイモードボタンまたはホームメニューボタンを押す

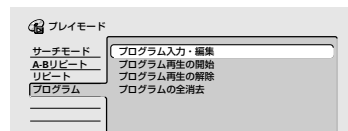
MEMO メモ

- プログラム再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻すこともできます。
- DVD ビデオではプログラム再生できないディスクがあります。
- チャプターが変わるときにプログラムしていないチャプターの映像が見えることがあります。これは故障ではありません。
- プログラム再生をリピートする(繰り返す)ことができます。プログラム再生中にプレイモード画面の[**リピート**]から[**プログラムリピート**]を選択します。詳しくは『*繰り返し再生する(リピート再生)*』(**P.44**)をご覧ください。
- プログラム再生中に**次▶▶|ボタン**を押すと次のプログラムステップを再生します。

プログラム再生を開始/解除/全消去するには

① プレイモードボタンを押す

プレイモード画面が表示されます。

② [プログラム] を選択して、カーソルを右へ移動する

■ **プログラム再生の開始**
すでにプログラムされている内容をはじめから再生します。

■ **プログラム再生の解除**
通常の再生に戻ります。プログラムされている内容はそのまま残ります。

■ **プログラムの全消去**
プログラムされている内容をすべて消去します(停止中に**クリアボタン**を押して消去することもできます)。

③ 項目を選択して、決定ボタンを押す

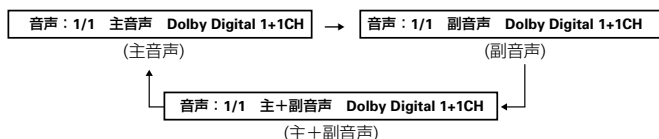
二カ国語で記録されているディスクの音声を切り換えるには

DVD-RW(VR)

二カ国語で記録されているDVD-RW(VRモード)では、主、副、または主+副音声を切り換えることができます。

再生中に音声ボタンを押す

押すたびに下記のように切り換わります。

例

MEMO メモ

- 二カ国語放送の番組を録画したDVDを再生中にドルビーデジタル音声をそのままデジタル出力しているときは音声を切り換えることができません。付属のオーディオ・ビデオケーブルでアナログ音声端子を接続するまたは『*Dolby Digital出力*』(**P.125**)を[Dolby Digital→PCM]に設定すると音声を切り換えることができます。

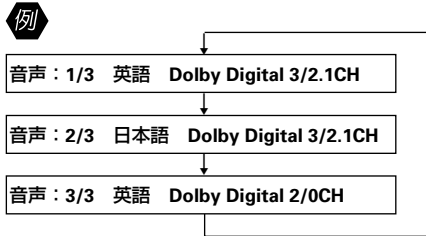
DVDビデオの音声/字幕を切り換える

DVD-Video

音声を切り換える

複数の音声が収録されているDVDビデオでは再生中に音声を切り換えることができます。

1 再生中に音声ボタンを押す

押すたびに下記のように切り換わります。

字幕を切り換える

複数の字幕が収録されているDVDビデオでは再生中に表示する字幕を切り換えることができます。

1 再生中に字幕ボタンを押す

押すたびに下記のように切り換わります。

MEMO
メモ

- ここで切り換えた音声/字幕は「ディスクを取り出したとき」または「つづき再生機能を解除したとき」に『*音声言語*』(**P.126**)/『*字幕言語*』(**P.126**)で設定されている言語に戻ります。
- DVDビデオには再生中に**音声ボタン/字幕ボタン**を押しても音声/字幕が切り換えられないディスクがあります。このようなときは、**メニューボタン**を押してディスクメニューを表示させて切り換えます(『*DVDビデオのディスクメニューを操作する*』**P.34**)。
- 静止画(スライドショー)再生中に音声を切り換えると音声がしばらく途切れることがあります。
- 96kHzリニアPCM音声を48kHzに変換しているときはテレビ画面に[ダウンサンプルデジタル出力]と表示されます。

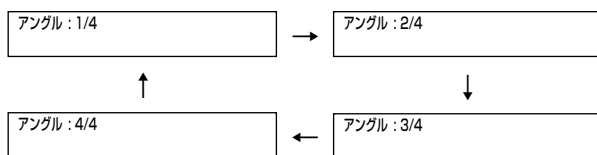
DVD ビデオの映像のアングルを切り換える（マルチアングル）

DVD-Video

複数のアングルが収録されている DVD ビデオでは再生中にアングルを切り換えることができます。

1 アングル ボタンを押す

現在のアングルと収録されているアングルの総数が表示されます。押すたびにアングルが切り換わります。

例

メモ

- 複数のアングルが収録されている場面になると マークが画面に表示されます。
- マークが表示されてもアングルを切り換えることができないディスクもあります。
- ディスクメニューでアングルを切り換えることができるディスクもあります。ディスクメニューの操作については『*DVDビデオのディスクメニューを操作する*』(**P.34**)をご覧ください。
- マークを画面に表示しないように設定することもできます。詳しくは『*アングルマーク表示*』(**P.131**)をご覧ください。

現在録画している番組をはじめから再生する(追いかけ再生)

HDD　DVD-RW(VR)

録画は継続されます。例えば、「サッカーの試合を録画予約して出かけたが試合の途中で帰宅することができたので、録画が終了する前に最初から試合を見たい！」というときに便利です。

追いかけ再生はHDDに録画しているときとDVD-RW Ver.1.1/2x(1～2倍速記録対応)ディスクにVRモードで録画しているときのみ可能です。ただし、ディスク状態によってはDVD-RW Ver.1.1/2xディスクを使用していても追いかけ再生できないことがあります。

未使用のDVD-RW Ver.1.1/2x(1～2倍速記録対応)ディスクを他のDVDレコーダーで初期化したときは追いかけ再生ができないことがあります。

1 録画中に再生 ▶ ボタンを押す

追いかけ再生を開始します(ディスクナビで録画中のタイトルを選択して再生することもできます)。ただし録画を開始後しばらくは追いかけ再生することができません。

メモ

▼ **追いかけ再生中は下記の操作が制限されます。**
→ 追いかけ再生中に録画を一時停止することはできません。再生を停止してから行ってください。
→ 再生中のタイトルに次のチャプターが存在しないときはスキップ(次方向)することができません。
→ 早送りなどで再生が録画に追いついたときは、テレビ画面に[再生が録画に追いつきました]と表示され通常の再生に戻ります。このとき、再度早送りまたはCMスキップすることはできません。
→ DVDの早送り1では音声が出力されません。
▼ 録画が自動的に一時停止したときは、録画一時停止した場面まで追いかけ再生してから再生が停止します。
▼ オートスタート録画中またはオートスタート録画がオンに設定されているときの予約録画中に追いかけ再生することはできません。
▼ 高速ダビング中またはディスクバックアップ中に追いかけ再生することはできません。

追いかけ再生を停止するには

停止 ■ ボタンを押す

再生は停止しますが録画は継続されます。

録画を停止するには

録画停止 □ ボタンを押す

録画は停止しますが再生は継続されます。

録画中に別のタイトルを再生する(同時録画再生)

HDDおよびDVD-RW(VRモード)に録画中は、すでに録画されている別のタイトルを再生することができます。
また、HDD に録画中に DVD、ビデオ CD、CD、または WMA/MP3 を再生したり、DVD-R/RW に録画中に HDD を再生することもできます。

DVD に録画中に DVD のタイトルを再生するには DVD-RW Ver.1.1/2x(1 ～ 2 倍速記録対応)ディスクにVRモードで録画しているときのみ可能です。ただし、ディスク状態によってはDVD-RW Ver.1.1/2xディスクを使用していても同時録画再生できないことがあります。

未使用のDVD-RW Ver.1.1/2x(1～2倍速記録対応)ディスクを他のDVDレコーダーで初期化したときは同時録画再生ができないことがあります。

1 録画中に HDD ボタンを押す

DVD(ビデオCD/CD/WMA/MP3を含む)を再生したいときは**DVD ボタン**を押します。

2 ディスクナビ / トップメニューボタンを押す

- ディスクナビが表示されます。
- DVD ビデオ、 ビデオ CD、CD、または WMA/MP3 のディスクナビにはナビ画面が表示されません。

3 再生したいタイトル、チャプター、フォルダー、またはトラックを選択して、決定ボタンを押す

ディスクナビの操作については下記をご覧ください。

- HDD DVD-R DVD-RW → P.35
- DVD-Video → P.36
- Video CD CD(R/RW) WMA/MP3 → P.57

同時録画再生を停止するには

停止 ■ ボタンを押す

再生は停止しますが録画は継続されます。

録画を停止するには

録画停止 □ ボタンを押す

録画は停止しますが再生は継続されます。
予約録画中は**録画 ● ボタン**を 3 秒以上押して予約を解除してから行ってください。

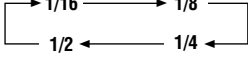
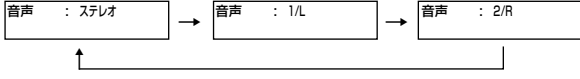
メモ

▼ オートスタート録画中またはオートスタート録画がオンに設定されているときの予約録画中に同時録画再生をすることはできません。
▼ DVD の同時録画再生中の早送り 1 では音声が出力されません。
▼ 高速ダビング中またはディスクバックアップ中に同時録画再生をすることはできません。

ビデオ CD/CD/WMA/MP3 を再生しましょう

基本的な使いかた

Video CD CD(R/RW) WMA/MP3

何をする？	これを押す！	知っておいて！
DVD に切り換える	DVD	Video CD CD(R/RW) WMA/MP3 を再生するときは DVD に切り換えます。
再生する	再生 ►	Video CD では再生を開始するとメニュー画面を表示するディスクがあります。メニュー画面の操作については『*ビデオ CD をディスクメニューから再生する(PBC 再生)*』(P.57)をご覧ください。
停止する	停止 ■	• Video CD では停止した場所を記憶します。**再生 ► ボタン**を押すと、テレビ画面に[つづき再生]と表示され、停止した場所から再生を開始します。つづき再生機能を解除するには、停止中に再度**停止 ■ ボタン**を押します。ディスクを取り出すとつづき再生機能は解除されます。 • CD(R/RW) WMA/MP3 ではつづき再生機能は働きません。WMA/MP3 では、次回は停止した個所のあるフォルダーの一曲目から再生を開始します。 • つづき再生機能が働かないビデオ CD もあります。
一時停止する	一時停止 II	通常の再生に戻すには、一時停止中に**再生 ► ボタン**または**一時停止 II ボタン**を押します。
頭出しする	前 |◄◄ 次 ►►|	トラックをスキップします。WMA/MP3 では、トラックまたはフォルダーをスキップします。
早送りする	早送り ►►	• 早送り中は画面に[►► 早送り 1]と表示されます。 • 早送りの速さを 2 段階(早送り 1 → 2)に切り換えることができます。 • 通常の再生に戻すには**再生 ► ボタン**を押します。 • WMA 再生中は早送りできません。
早戻しする	早戻し ◄◄	• 早戻し中は画面に[◄◄ 早戻し 1]と表示されます。 • 早戻しの速さを 2 段階(早戻し 1 → 2)に切り換えることができます。 • 通常の再生に戻すには**再生 ► ボタン**を押します。 • ビデオ CD/CD では逆再生できません。 • WMA 再生中は早戻しできません。
トラックを指定して再生する	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 決定	• 再生中に**数字(0 ～ 9)ボタン**でトラック番号を入力して、**決定ボタン**を押します(トラック番号を入力してから2秒以上経過すると自動的に指定したトラック再生します)。 例 *トラック 12 を再生するには* **数字ボタン**の **1**、**2** を押して、**決定ボタン**を押します。 WMA/MP3 では再生中のフォルダー内のトラックのみを指定して再生することができます。
30 秒ごとに場面を飛ばす (Video CD のみ)	CMスキップ CM	• 押すたびに 30 秒ごと最大 4 分まで飛ばすことができます。 • PBC 再生中はできません。

→次のページへ続く

何をする？	これを押す！	知っておいて！
コマ送り再生する (Video CD のみ)	コマ送り/スロー ◀II II▶ （一時停止中に押す）	• 押すたびにコマ送りします。 • 押し続けると連続でコマ送りします。 • コマ送り再生中は音声が出力されません。 • 通常の再生に戻すには、**再生 ▶ ボタン**を押します。 • コマ戻し再生はできません。
スロー再生する (Video CD のみ)	コマ送り/スロー ◀II II▶ (再生中に押す)	• テレビ画面に[I▶スロー 1/16]と表示されます。 • 押すたびにスロー再生の速さを下記のように切り換えることができます。 →1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2 → • スロー再生中は音声が出力されません。 • 通常の再生に戻すには、スロー再生中に**再生 ▶ ボタン**を押します。 • 逆方向のスロー再生はできません。
音声を切り換える	音声	• 押すたびに音声が下記のように切り換わります。 音声　：ステレオ → 音声　：1/L → 音声　：2/R → • カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせて操作をしてください。

MEMO
メモ

▼ パソコンで記録されたビデオCDまたはCD-R/RWを再生できないことがあります。
▼ 本体の**スマートジョグ**で操作することができる機能もあります。詳しくは『*HDD/DVD を再生しましょう*』(**P.37, 39, 40, 42**)をご覧ください。
▼ 音楽CDフォーマットの早送り/早戻し中はアナログ音声のみ出力されます。
▼ CD レコーダーまたは MD レコーダーなどへのシンクロ録音はできません。
▼ DTS音声で収録されたCDを再生するとアナログ音声出力端子から異音が出ることがあります。スピーカーを破損したり耳に悪影響をおよぼす恐れがありますので、DTS音声を楽しむときはデジタル音声ケーブルでDTS対応AVアンプなどと接続してください。
▼ DTS音声で収録されたCDを再生するときは、**音声ボタン**を押してステレオを選択してください。
▼ **WMA/MP3を再生するときに[このフォーマットは再生できません]と表示されることがあります。このときは、下記のような原因が考えられます。**
→ 記録したディスクが ISO9660 フォーマットに準拠していない。
→ サンプリング周波数が 44.1kHz または 48kHz で記録されていない WMA またはMP3(MPEG1オーディオレイヤー3)ファイルを再生しようとした。
→ 可変ビットレート(VBR)またはロスレスエンコーディングのWMAファイルを再生しようとした。
→ DRM コピープロテクト※のかかった WMA ファイルを再生しようとした。

※ *DRM コピープロテクト*
DRM(Digital Rights Management)コピープロテクトは著作権保護のための技術で、無許可の複製を防止するため録音時に使用した PC などの機器以外での再生を制限する等の機能です。詳しくは、録音に使用した機器・アプリケーションの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。

見たい場面(聴きたい曲)を指定して再生する(サーチモード)

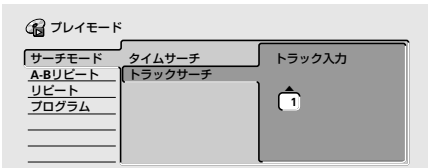
Video CD　CD(R/RW)　WMA/MP3

1 プレイモードボタンを押す

プレイモード画面が表示されます。ホームメニューから[**プレイモード**]を選択して表示することもできます。

2 [サーチモード]を選択して、カーソルを右へ移動する

3 サーチモードの種類を選択して、決定ボタンを押す

例 Video CD *のトラックサーチ入力画面*

■ タイムサーチ(Video CD のみ)
現在再生中のディスク内の時間を指定して再生します。

■ フォルダーサーチ(WMA/MP3 のみ)
フォルダーを指定して再生します。

■ トラックサーチ
トラックを指定して再生します。

4 数字(0～9)ボタンで再生したいフォルダー、トラック、または時間を入力して、決定ボタンを押す

• 指定したフォルダー、トラック、または時間から再生を開始します。

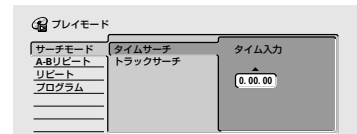
例 *トラック 12 を再生するには*

• **数字ボタン**の **1**、**2** を押して、**決定ボタン**を押します。
(↑ ↓で選択することもできます。)
• 入力をやり直すときは**クリアボタン**を押します。

フォルダーサーチ入力画面

例 *フォルダー 3 を再生する*

• **数字ボタン**の **3** を押して、**決定ボタン**を押します。

タイムサーチ入力画面

例 *21 分 43 秒から再生する*

• **数字ボタン**の **2**、**1**、**4**、**3** を押して、**決定ボタン**を押します。

スマートジョグを使ってフォルダー/トラックを指定して再生する

① 再生中にファンクションボタンを押す
• 本体表示窓に[FOLDER]と表示されるまで数回押してください。
• トラックのときは[TRACK]と表示されるまで押してください。

② スマートジョグを回す
再生したいフォルダーまたはトラックの番号を選択します。番号を選択してから数秒経過すると自動的に再生を開始します。

MEMO
メモ

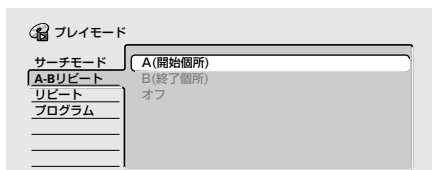
▼ ビデオ CD の PBC 再生中はディスクメニューを使ったサーチのみ行うことができます。ディスクメニューを使わないでサーチするときは PBC 再生を解除してください。解除のしかたについては『*ディスクメニューを表示しないで再生するには(PBC 再生を解除して再生する)*』(**P.57**)をご覧ください。

指定した範囲を繰り返し再生する(A-Bリピート再生)

Video CD　CD(R/RW)

1 再生中にプレイモードボタンを押す

プレイモード画面が表示されます。ホームメニューから[**プレイモード**]を選択して表示することもできます。

2 [A-Bリピート]を選択して、カーソルを右へ移動する

3 [A(開始個所)]が選択されていることを確認する

4 A-Bリピートを開始したい個所で決定ボタンを押す

[**B(終了個所)**]にカーソルが移動します。

5 A-Bリピートを終了したい個所で[B(終了個所)]を選択して、決定ボタンを押す

A-Bリピート再生を開始します。

通常の再生に戻すには

① **再生中にプレイモードボタンを押す**
プレイモード画面が表示されます。

② **[オフ]を選択して、決定ボタンを押す**

メモ

▼ A-Bリピート再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻すこともできます。

▼ A-Bリピート再生とプログラム再生を同時に行うことはできません。

▼ ビデオCDのPBC再生中はA-Bリピート再生できません。PBC再生を解除してください。解除のしかたについては『*ディスクメニューを表示しないで再生するには(PBC再生を解除して再生する)*』(**P.57**)をご覧ください。

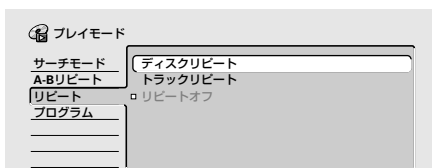
繰り返し再生する(リピート再生)

Video CD | CD(R/RW) | WMA/MP3

1 再生中にプレイモードボタンを押す

プレイモード画面が表示されます。ホームメニューから[**プレイモード**]を選択して表示することもできます。

2 [リピート]を選択して、カーソルを右へ移動する

例 Video CD | CD(R/RW) *のリピート画面*

■ **ディスクリピート**
再生中のディスクを繰り返し再生します。

■ **フォルダーリピート**(WMA/MP3のみ)
再生中のフォルダーを繰り返し再生します。

■ **トラックリピート**
再生中のトラックを繰り返し再生します。

■ **リピートオフ**
通常の再生に戻ります。

■ **プログラムリピート**
プログラム再生中のみ選択することができます。プログラムしたトラックまたはフォルダーを繰り返し再生します。

3 リピート再生の種類を選択して、決定ボタンを押す

リピート再生を開始します。

メモ

▼ リピート再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻すこともできます。
▼ ビデオCDのPBC再生中はリピート再生できません。PBC再生を解除してください。解除のしかたについては『*ディスクメニューを表示しないで再生するには(PBC再生を解除して再生する)*』(**P.57**)をご覧ください。

各部のなまえ
録画
再生
消去
編集
ダビング
設定
便利機能
その他

順番を変えて再生する(プログラム再生)

Video CD CD(R/RW) WMA/MP3

24ステップまでプログラムすることができます。

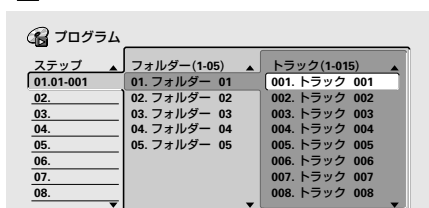
1 プレイモードボタンを押す

プレイモード画面が表示されます。ホームメニューから[**プレイモード**]を選択して表示することもできます。

2 プログラムを選択して、カーソルを右へ移動する

3 [プログラム入力・編集]が選択されていることを確認して、決定ボタンを押す

プログラム入力・編集画面が表示されます。

例 WMA/MP3 *のプログラム画面*

4 プログラムしたいフォルダー / トラックを選択して、決定ボタンを押す

- ディスクによってプログラム入力・編集画面が異なります。
- ビデオCDまたはCDではトラックのみを選択します。
- WMA/MP3ではフォルダーとトラックを選択します。

5 4を繰り返して他のフォルダー / トラックをプログラムする

6 再生► ボタンを押す

プログラムした順に再生を開始します。

メモ

▼ ビデオCDのPBC再生中はプログラム再生できません。PBC再生を解除してください。解除のしかたについては『*ディスクメニューを表示しないで再生するには(PBC再生を解除して再生する)*』(**P.57**)をご覧ください。

▼ プログラム再生をリピートする(繰り返す)ことができます。プログラム再生中にプレイモード画面の[**リピート**]から[**プログラムリピート**]を選択します(**P.55**)。

▼ プログラム再生中に**次►►|ボタン**を押すと次のプログラムステップを再生します。

入力中にプログラムを削除するには

『*入力中にプログラムを削除するには*』(**P.45**)をご覧ください。

ステップの間にプログラムを追加するには

『*ステップの間にプログラムを追加するには*』(**P.45**)をご覧ください。

プログラム再生を開始しないでプログラム画面を終了するには

『*プログラム再生を開始しないでプログラム画面を終了するには*』(**P.45**)をご覧ください。

プログラム再生を開始 / 解除 / 全消去するには

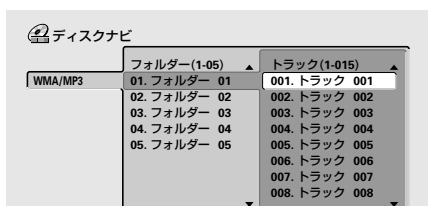
『*プログラム再生を開始 / 解除 / 全消去するには*』(**P.46**)をご覧ください。

ディスクナビからビデオCD/CD/WMA/MP3を再生する

Video CD　CD(R/RW)　WMA/MP3

1 ディスクナビ / トップメニューボタンを押す

ホームメニューから[ディスクナビ]を選択して表示することもできます。

例 WMA/MP3 のディスクナビ

2 ↑ ↓ ← →で再生したいフォルダー / トラックを選択して、決定ボタンを押す

半角英数字以外の名前のフォルダー / トラックでは、フォルダー名が「F_01」、トラック名が「T_001」のように表示されることがあります(WMA/MP3のみ)。

CD と WMA/MP3 混在ディスクのとき

停止中にCDとWMA/MP3混在ディスクを切り換えることができます。

↑ ↓ ← →で選択する

メモ

▼ 下記のようなときはディスクナビを表示することができません。
→ ディスクがセットされていないとき。
→ ビデオ CD の PBC 再生中。

ビデオCDをディスクメニューから再生する(PBC再生)

Video CD

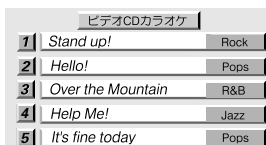
ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドも合わせてご覧ください。

1 PBC再生対応ディスクをセットして、再生▶ボタンを押す

PBC再生を開始します。下記のようなディスクメニューが表示されます。

ビデオCDカラオケ		
1	Stand up!	Rock
2	Hello!	Pops
3	Over the Mountain	R&B
4	Help Me!	Jazz
5	It's fine today	Pops

2 数字(0〜9)ボタンで再生したいトラックを選択して、決定ボタン押す

再生を開始します。PBC 再生中に**戻るボタン**を押すとディスクメニューに戻ります。

ディスクメニューのページを切り換えるには

ディスクメニューを表示中に前⏮または次⏭ボタンを押す

ディスクメニューを表示しないで再生するには(PBC 再生を解除して再生する)

下記のいずれかの操作で再生するトラックを選択します。

- **停止中に前⏮ または次⏭ボタンで選択する**
- **停止中に[プレイモード]の[トラックサーチ]でトラックを選択する**

  『見たい場面(聴きたい曲)を指定して再生する(サーチモード)』(**P.53**)をご覧ください。

JPEG ファイルを再生しましょう(フォトビューワー)

本機では、フジカラーCD、コダックピクチャーCD、またはCD-R/CD-RW/CD-ROMに記録されているJPEGファイル(画像)を再生することができます(記録方法などによっては再生できないこともあります)。

1 ホームメニューボタンを押す

ホームメニューが表示されます。

2 [フォトビューワー]を選択して、決定ボタンを押す

• フォトビューワー(下記)が表示されます。

• ディスク内にフォルダーが 100 以上またはファイルが 1000 以上あるときに[次を読む]が表示されます。[次を読む]を選択して**決定ボタン**を押すと次のフォルダー / ファイルを読み込みます。

3 ↑ ↓で再生したいフォルダーを選択する

半角英数字またはシフトJIS漢字コード以外で入力されているフォルダー / ファイルの名前はフォルダー / ファイル番号([F_03]/[f_003])で表示されることがあります。

4 決定ボタンを押す

右のファイル欄にカーソルが移動します。

5 ↑ ↓ ← →で見たいファイルを選択する

• **前 |◀◀/ 次 ▶▶| ボタン**を押すと画像が 9 枚ずつ切り換わります。
• **戻るボタン**を押すとカーソルがフォルダー名の欄に移動します。

6 決定ボタンを押す

選択したファイルから順に静止画を表示(再生)します(スライドショー)。最後のファイルを再生すると先頭のファイルに戻って再生を継続します(ディスクリピート)。

メモ

▼ スライドショーで表示される画像のアスペクト比によっては、画像の縦または横に黒帯が出ることがあります。
▼ ファイルサイズが大きいときは画像の表示に時間がかかることがあります。

フォトビューワーを終了するには

ホームメニューボタンを押す

スライドショーを一時停止するには

一時停止 ❚❚ ボタンを押す

再度スライドショーを開始するには**再生 ▶ ボタン**を押してください。

スライドショー中に前または次の画像を見るには

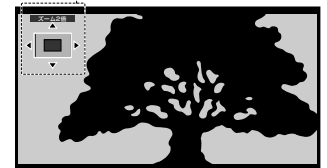
前 |◀◀/ 次 ▶▶| ボタンを押す

スライドショーを終了するには

停止 ■ ボタンまたは戻るボタンを押す

画像を拡大して見るには(ズーム)

スライドショー中にチャンネル＋ボタンを押す

現在見えている領域

• 押すたびに2倍→4倍→通常が切り換わります。
• ズーム画面表示中に↑ ↓ ← →で拡大する場所を移動することができます。
• 拡大するとスライドショーが一時停止します。通常のスライドショーに戻すには**再生▶ボタン**を押します。

画像を回転するには

アングルボタンを押す

押すたびに時計回りに90°画像が回転します。

消去しましょう

タイトルを消去する(消去)

HDD DVD-RW DVD-R

HDDまたはDVD-RW(VRモード)では、オリジナルのタイトルを消去すると残量が増えます。ディスクがいっぱいになったときは不要なタイトルを消去することで繰り返し録画することができます。
タイトルを消去したときに残量が増えるかどうかは、ディスクの種類や録画方式によって異なります。詳しくは『*録画した映像を消去するときにお読みください*』をご覧ください。

録画した映像を消去するときにお読みください

- DVD-R/RW(ビデオモード)では、消去されたタイトルが表示されなくなるだけで残量は増えません。ただし、DVD-RWの最後に録画したタイトルを消去したときに限り残量が増えます。
- ダビングリストやプレイリストの映像を消去しても残量は変わりません。
- 録画中やダビング実行中などに編集操作を行うことはできません。録画やダビングが終了してから行ってください。

1 HDDボタンを押す

DVDのタイトルを消去したいときは**DVDボタン**を押します。

2 停止中にディスクナビ/トップメニューボタンを押す

ディスクナビが表示されます。ホームメニューから[ディスクナビ]を選択して表示することもできます。

3 ↓で[消去]を選択して、決定ボタンを押す

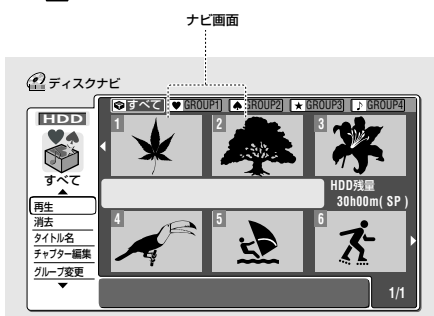
右のタイトル欄(ナビ画面)にカーソルが移動します。

4 消去したいタイトルを選択して、決定ボタンを押す

オリジナルとプレイリストについて

『*用語解説*』**(P.155)**をご覧ください。

タイトルとチャプターについて

『*タイトルとチャプターについて*』(**P.149**)をご覧ください。

左のメニュー欄にカーソルを戻すには

戻るボタンを押す

ディスクナビのページを切り換えるには

右のタイトル欄にカーソルがあるときに前⏮/次⏭ボタンを押す

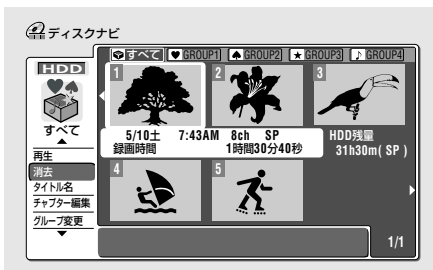
クリアボタンを使ってタイトルを消去する

消去したいタイトルを選択して、クリアボタンを押す

左のメニュー欄で**[消去]**を選択する必要はありません。

→ 次のページへ続く

5 [はい]を選択して、決定ボタンを押す

選択したタイトルが消去されます。

6 さらに消去したいときは 4～5 を繰り返す

直前に行った消去 / 編集作業を取り消すには DVD-R DVD-RW

間違えてタイトルを消去してしまったときはその操作を取り消すことができます(ただし、直前に行った最大3つ前までの操作のみ)。詳しくは『*編集を取り消しましょう*』(**P.83**)をご覧ください。**ただし、HDDでは取り消しできません。**

ディスクナビを終了するには

ホームメニューまたはディスクナビ / トップメニューボタンを押す

録画されているすべてのタイトルを消去する(全消去)

HDD DVD-R DVD-RW

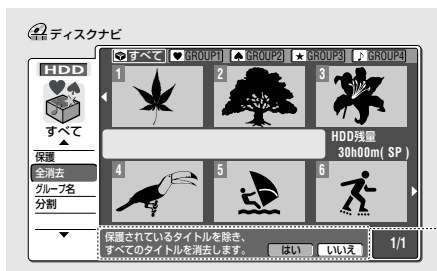
1 HDD ボタンを押す

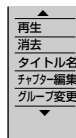
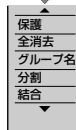
DVD のタイトルを消去したいときは **DVD ボタン**を押します。

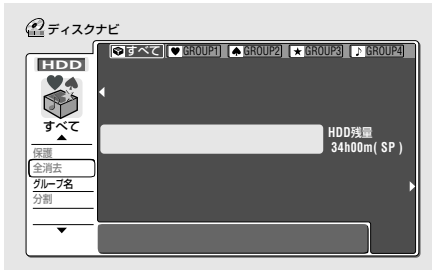
2 停止中にディスクナビ / トップメニューボタンを押す

ディスクナビが表示されます。ホームメニューから[ディスクナビ]を選択して表示することもできます。

3 ↑で[全消去]を選択して、決定ボタンを押す

HDDのディスクナビでグループを選択しているときは、選択しているグループのタイトルのみを全消去します。

メニュー欄は 2 ページあります HDD DVD-RW(VR)

カーソルが 1 ページ目の[再生]の位置にあるときに↑を押すまたはカーソルが[グループ変更] (HDD のディスクナビのとき)の位置にあるときに↓を押す

❹ [はい]を選択して、決定ボタンを押す

録画されているすべてのタイトルが消去されます。

メモ

▼『初期化』(**P.135**)とは下記の点が異なります。
→ 保護されているタイトルは消去されません(『タイトルを保護する(保護)』)。
→ ディスク名は消去されません(『ディスクに名前を付ける(ディスク名入力)』**P.134**)。

直前に行った消去/編集作業を取り消すには DVD-R DVD-RW

間違えてタイトルを消去してしまったときはその操作を取り消すことができます(ただし、直前に行った最大3つ前までの操作のみ)。詳しくは『*編集を取り消しましょう*』(**P.83**)をご覧ください。**ただし、HDDでは取り消しできません。**

ディスクナビを終了するには

ホームメニューまたはディスクナビ / トップメニューボタンを押す

タイトルを保護する(保護)

HDD DVD-R DVD-RW

保護されたタイトルを消去 / 編集することはできません。保護を解除すると再度消去 / 編集することができます。

❶ HDD ボタンを押す

DVD のタイトルを保護したいときは **DVD ボタン**を押します。

❷ 停止中にディスクナビ / トップメニューボタンを押す

ディスクナビが表示されます。ホームメニューから**[ディスクナビ]**を選択して表示することもできます。

→ 次のページへ続く

③ ↑で[保護]を選択して、決定ボタンを押す

④ 保護したいタイトルを選択して、決定ボタンを押す

選択したタイトルが保護されます。

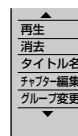
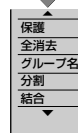
メモ

▼ タイトル保護を行うとそれまでのDVDの編集操作を取り消すことができなくなります(他のタイトル、またはプレイリストの編集も含む)。

メニュー欄は２ページあります

HDD DVD-RW(VR)

カーソルが1ページ目の[再生]の位置にあるときに↑を押すまたはカーソルが[グループ変更](HDDのディスクナビのとき)の位置にあるときに↓を押す

1ページ目

2ページ目

ディスクナビを終了するには

ホームメニューまたはディスクナビ / トップメニューボタンを押す

保護を解除するには

① HDDボタンを押す
DVDのタイトル保護を解除したいときは**DVDボタン**を押します。
② 停止中にディスクナビ/トップメニューボタンを押す
ディスクナビが表示されます。
③ [保護]を選択して、決定ボタンを押す
④ 保護されているタイトルを選択して、決定ボタンを押す
保護が解除されます。

編集しましょう

録画した映像(オリジナル)を編集する前にお読みください

- 他機でビデオモード録画したファイナライズされていないディスクを、本機で再生、追加録画及び編集(ファイナライズを含む)することはできません。
- ファイナライズ済のDVD-R/RW(ビデオモード)を編集することはできません。ただし、本機で録画したDVD-RW(ビデオモード)はファイナライズを解除(**P.31**)すると再度録画 / 編集することができます。
- 録画中やダビング実行中などに編集操作を行うことはできません。録画やダビングが終了してから行ってください。

タイトルに区切りを入れる(チャプターマーク)

HDD　DVD-RW(VR)

再生中または録画中にお好みの位置に**区切り(チャプターマーク)**を入れることができます。チャプターマークを入れると再生中に**前 ⏮/ 次 ⏭ ボタン**を押して頭出し(スキップ)することができます。

❶ 再生中または録画中に区切り(チャプターマーク)を入れたい位置でチャプターマークボタンを押す

テレビ画面にCHP Xが表示されチャプターマークが入ります。

タイトルとチャプターについて

『*タイトルとチャプターについて*』(**P.149**)をご覧ください。

チャプターマークを消去するには

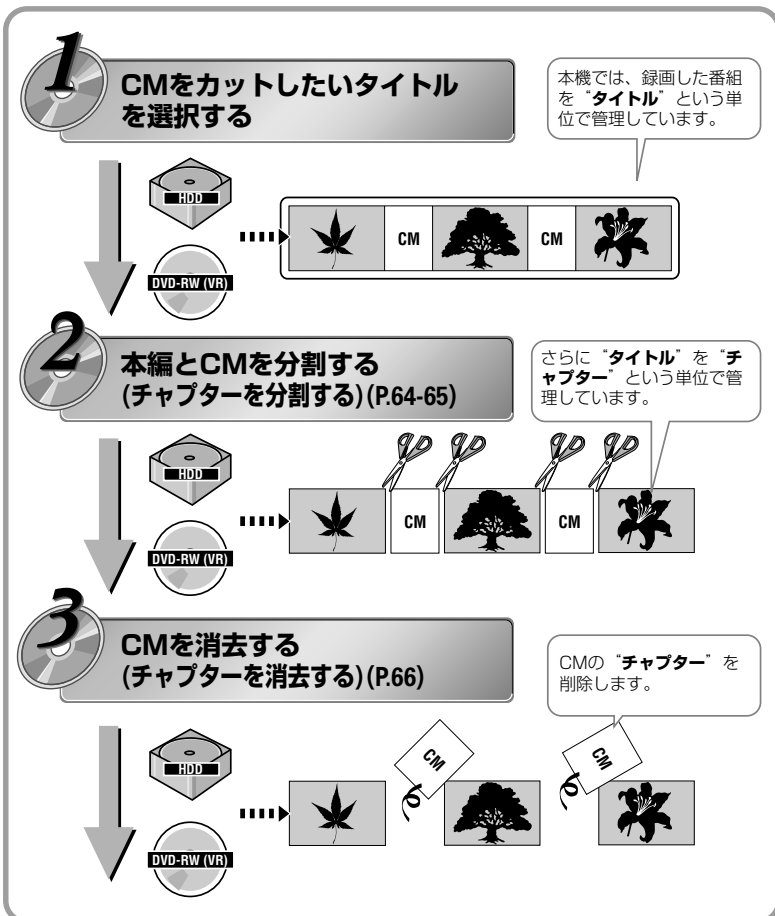
『*前後のチャプターを 1 つにする(結合)*』(**P.68**)をご覧ください。

メモ

- ▼ オートスタート録画中はチャプターマークを入れることができません。
- ▼ HDDおよびDVD-RW(VRモード)では録画中に一時停止するとチャプターマークが入ります。また、『*オートチャプター(HDD/VR)*』(**P.129**)が**[オン]**に設定されていると録画する番組の音声切り換えに連動してチャプターマークが自動で入ります。
- ▼ DVD-R/RW(ビデオモード)では録画中に自動でチャプターマークが入ります(お買い上げ時の設定で約 10分ごと)が、お好みの位置にチャプターマークを入れることはできません。ただし、チャプターマークが入る間隔は変更することができます。詳しくは『*オートチャプター(ビデオ)*』(**P.129**)をご覧ください。
- ▼ チャプターマークは1枚のディスクに最大999入れることができます(オリジナル / プレイリストに各 999)。
- ▼ チャプターマークの入っているオリジナルのタイトルを選択してプレイリストを作成すると、作成した時点でのオリジナルタイトルのチャプターマークが反映されます。
- ▼ HDD から DVD-RW(ビデオモード) に等速ダビングしたときは、チャプターマークはコピーされません。『*オートチャプター(ビデオ)*』(**P.129**)の設定に従ってチャプターマークが入ります。

オリジナルのタイトルのCMをカットする

HDD　DVD-RW(VR)

録画した番組の不要な部分(CMなど)をカットできます。オリジナルのタイトルのCMをカットしたときは、カットしたCMの分だけ残量が増えます。以下の流れで編集を行います。

オリジナルの映像に手を加えずにCMをカットしてダビングするには

ダビングリストを作成してから編集してダビングします。詳しくは『*CMをカットしてダビングする*』(**P.93**)をご覧ください。

チャプターを分割する(分割)

HDD　DVD-RW(VR)

1 HDDボタンを押す

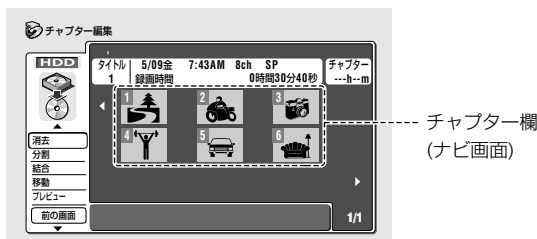
DVDのチャプターを分割したいときは**DVDボタン**を押します。

2 停止中にディスクナビ/トップメニューボタンを押す

ディスクナビが表示されれます。ホームメニューから[ディスクナビ]を選択して表示することもできます。

3 ↑ ↓で[チャプター編集]を選択して、決定ボタンを押す

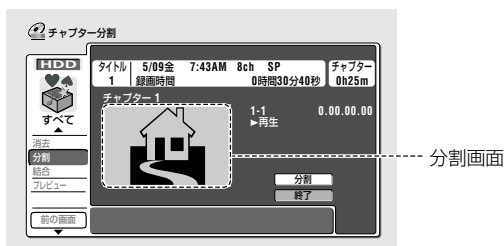
右のタイトル欄にカーソルが移動します。

❹ 分割したいチャプターが入っているタイトルを選択して、決定ボタンを押す

- チャプター編集画面が表示されます。
- 左のメニュー欄にカーソルが移動します。

❺ ↑ ↓で[分割]を選択して、決定ボタンを押す

右のチャプター欄にカーソルが移動します。

❻ ↑ ↓ ← →で分割したいチャプターを選択して、決定ボタンを押す

チャプター分割画面(下記)が表示され、選択したチャプターの再生を開始します。

※ 再生中、画面中央付近に横線が見えることがありますが故障ではありません。通常再生するときは問題なく再生されます。

❼ 分割したい位置で決定ボタンを押す

- チャプターマークが入りチャプターが分割されます。
- 分割画面上で通常の再生とほぼ同じ操作を行うことができます(ただし、停止した場所は記憶されません)。詳しくは『*再生しましょう*』(**P.32**)をご覧ください。

❽ さらに分割したいときは 7 を繰り返す

❾ ↓で[終了]を選択して、決定ボタンを押す

チャプター編集画面が表示されます。

編集したチャプターを再生するには

① チャプター編集画面で[プレビュー]を選択して、決定ボタンを押す
② 再生(プレビュー)したいチャプターを選択して決定ボタンを押す

- チャプターの再生(プレビュー)を開始します。タイトルの終りまで再生します。
- 通常の再生とほぼ同じ操作を行うことができます(ただし、停止した場所は記憶されません)。
- **停止■ボタン**を押して再生を停止するとチャプター編集画面に戻ります。

左のメニュー欄にカーソルを戻すには

戻るボタンを押す

ディスクナビに戻るには

チャプター編集画面で左のメニュー欄にカーソルがあるときに戻るボタンを押す、または[前の画面]を選択して決定ボタンを押す

チャプター編集を終了するには

ホームメニューまたはディスクナビ / トップメニューボタンを押す

チャプターを消去する(消去)

HDD　DVD-RW(VR)

1 HDD ボタンを押す

DVD のチャプターを消去したいときは **DVD ボタン**を押します。

2 停止中にディスクナビ / トップメニューボタンを押す

ディスクナビが表示されます。ホームメニューから[**ディスクナビ**]を選択して表示することもできます。

3 ↓で[チャプター編集]を選択して、決定ボタンを押す

右のタイトル欄(ナビ画面)にカーソルが移動します。

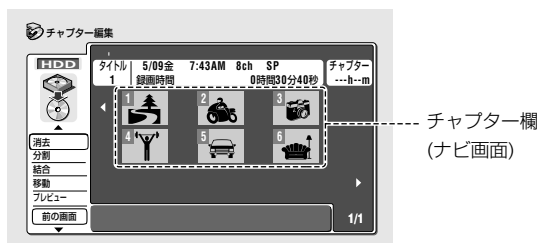
4 消去したいチャプターが入っているタイトルを選択して、決定ボタンを押す

- チャプター編集画面(下記)が表示されます。
- 左のメニュー欄にカーソルが移動します。

5 [消去]を選択して、決定ボタンを押す

右のチャプター欄にカーソルが移動します。

6 消去したいチャプターを選択して、決定ボタンを押す

例 *チャプター 1 を消去する*

左のメニュー欄にカーソルを戻すには

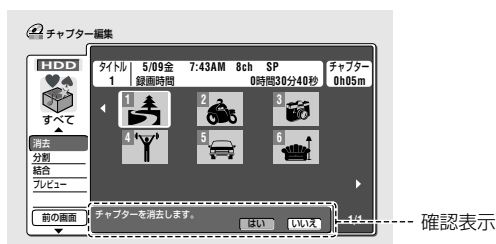
戻るボタンを押す

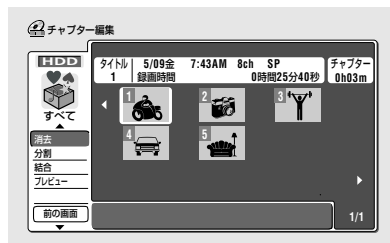
チャプター編集のページを切り換えるには

右のチャプター欄にカーソルがあるときに前|◀◀/次▶▶|ボタンを押す

クリアボタンを使ってチャプターを消去する

消去したいチャプターを選択して、クリアボタンを押す

左のメニュー欄で[**消去**]を選択する必要はありません。

7 [はい]を選択して、決定ボタンを押す

選択したチャプターが消去されます。

8 さらに消去したいときは 6 ～ 7 を繰り返す

編集したチャプターを再生するには

① チャプター編集画面で[プレビュー]を選択して、決定ボタンを押す

② 再生(プレビュー)したいチャプターを選択して決定ボタンを押す

- 選択したチャプターから再生(プレビュー)を開始します。タイトルの終りまで再生します。
- 通常の再生と同じ操作を行うことができます(ただし、停止した場所は記憶されません)。
- **停止■ボタン**を押して再生を停止するとチャプター編集画面に戻ります。

ディスクナビに戻るには

左のメニュー欄にカーソルがあるときに戻るボタンを押す、または[前の画面]を選択して決定ボタンを押す

チャプター編集を終了するには

ホームメニューまたはディスクナビ / トップメニューボタンを押す

MEMO
メモ

- ▼ オリジナルでは 5 秒未満のチャプターを消去できないことがあります。
- ▼ オリジナルでは、録画した映像そのものが完全に消去されます。
- ▼ オリジナルで消去したチャプターがプレイリストで選択されていたときはプレイリストのチャプターからもその映像部分が消去されます。
- ▼ オリジナルのチャプターを消去すると残量が増えます。ただし、約 1 分以上の連続した映像を消去しないと残量は増えません。
- ▼ 短い範囲の映像をたくさん消去したときは、消去した映像の合計時間と残量が一致しないことがあります。残量を増やすには、できるだけ長い範囲の映像を消去することをおすすめします。
- ▼ 編集操作で決定した映像と実際に編集された映像とが多少ずれることがあります。また編集した場面では、一瞬再生が一時停止したように見えますが故障ではありません。『*シームレス再生*』(**P.131**)を**[オン]**に設定すると、映像のつなぎ目が多少ずれますが編集した映像をスムーズに再生することができます。
- ▼ チャプターが 1 つしかないときは消去できません。このようなときはタイトルごと消去してください。消去のしかたについては『*タイトルを消去する(消去)*』(**P.59**)をご覧ください。

前後のチャプターを 1 つにする(結合)

HDD　DVD-RW(VR)

例 チャプター 1 と 2 を結合する

1 HDDボタンを押す

DVD のチャプターを結合したいときは **DVD ボタン**を押します。

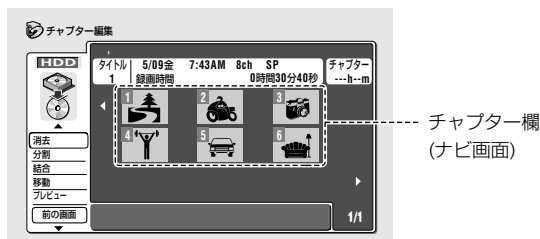
2 停止中にディスクナビ/トップメニューボタンを押す

ディスクナビが表示されます。ホームメニューから[**ディスクナビ**]を選択して表示することもできます。

3 [チャプター編集]を選択して、決定ボタンを押す

右のタイトル欄にカーソルが移動します。

4 結合したいチャプターが入っているタイトルを選択して、決定ボタンを押す

- チャプター編集画面が表示されます。
- 左のメニュー欄にカーソルが移動します。

5 ↓で[結合]を選択して、決定ボタンを押す

右のチャプター欄にカーソルが移動します。

6 結合したいチャプター 1 とチャプター 2 の間を選択して、決定ボタンを押す

チャプターマークが消去され、前後のチャプターが 1 つに結合されます。

7 さらに結合したいときは 6 を繰り返す

左のメニュー欄にカーソルを戻すには

戻るボタンを押す

編集したチャプターを再生するには

① チャプター編集画面で[プレビュー]を選択して、決定ボタンを押す
② 再生(プレビュー)したいチャプターを選択して決定ボタンを押す

- チャプターの再生(プレビュー)を開始します。タイトルの終りまで再生します。
- 通常の再生とほぼ同じ操作を行うことができます(ただし、停止した場所は記憶されません)。
- **停止■ボタン**を押して再生を停止するとチャプター編集画面に戻ります。

ディスクナビに戻るには

左のメニュー欄にカーソルがあるときに戻るボタンを押す、または[前の画面]を選択して決定ボタンを押す

チャプター編集を終了するには

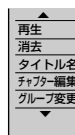
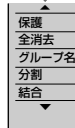
ホームメニューまたはディスクナビ / トップメニューボタンを押す

メモ

▼ オリジナルでは『*チャプターを消去する(消去)*』(**P.66**)で消去された結果、隣り合わせになったチャプターを結合することはできません。

タイトルを分割する(分割)

HDD

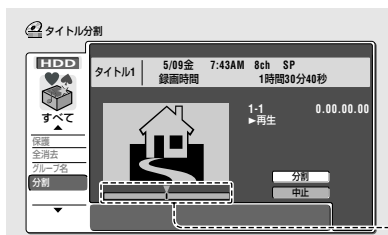
異なる番組を続けて録画すると1つのタイトルとして録画されます。このようなタイトルを異なる番組ごとに分けたいときに行います。**分割したタイトルは元に戻せませんのでご注意ください。**
タイトル内のCMをカットしたいときはチャプター編集を行います。詳しくは『*オリジナルのタイトルの CMをカットする*』(**P.64**)をご覧ください。

1 HDD ボタンを押す

2 停止中にディスクナビ/トップメニューボタンを押す

ディスクナビが表示されます。ホームメニューから[ディスクナビ]を選択して表示することもできます。

3 ↑を押して[分割]を選択して、決定ボタンを押す

右のタイトル欄(ナビ画面)にカーソルが移動します。

4 分割したいタイトルを選択して、決定ボタンを押す

タイトル分割画面(下記)が表示され、選択したタイトルの再生を開始します。

再生している位置を表示します。

5 分割したい位置で決定ボタンを押す

分割画面上で通常の再生とほぼ同じ操作を行うことができます(ただし、停止した場所は記憶されません)。詳しくは『*再生しましょう*』(**P.32**)をご覧ください。

確認表示

6 [はい]を選択して決定ボタンを押す

タイトルが分割され、ディスクナビのタイトル選択画面に戻ります。

メニュー欄は 2 ページあります

HDD

カーソルが 1 ページ目の[再生]の位置にあるときに↑を押すまたはカーソルが[グループ変更] (HDD のディスクナビのとき)の位置にあるときに↓を押す

1 ページ目

2 ページ目

MEMO **メモ**

▼ HDD には 99 タイトルまで作成することができます。

録画した映像に名前を付ける(タイトル名入力)

HDD　DVD-RW　DVD-R

例「夏の旅」と入力するとき

1 HDDボタンを押す

DVDに録画した映像に名前を付けたいときは**DVDボタン**を押します。

2 停止中にディスクナビ / トップメニューボタンを押す

ディスクナビが表示されます。ホームメニューから[**ディスクナビ**]を選択して表示することもできます。

3 [タイトル名]を選択して、決定ボタンを押す

4 名前を付けたいタイトルを選択して、決定ボタンを押す

タイトル名入力画面(下記)が表示されます。

5 早戻し ◀◀ または早送り ▶▶ を押す

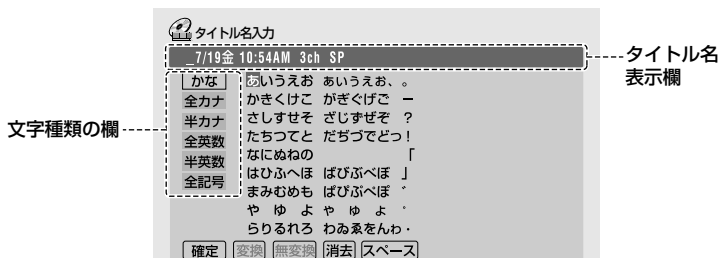
- 文字を入力したい位置に合わせます。
- 文字を消去するには**クリアボタン**を押します。2秒以上押し続けると入力されている文字をすべて消去します。
- 例では、録画したときに自動で付いた名前を消去してから入力します。

タイトル名表示欄
録画するとタイトルには自動的に名前が付きます
(録画した日付/時刻/チャンネル/録画モード)。

_7/19金 10:54AM 3ch SP

文字を入力する位置を示しています。

下記の操作で位置を指定することもできます。

① ↑ ↓でタイトル名表示欄にカーソルを移動する。
② ← →で文字を入力する位置を選択する。

タイトル名入力に関する注意

- HDDおよびDVD-RW(VRモード)で入力できるタイトル名の文字数は録画したときに自動で付いた名前と合わせて半角64文字(全角32文字)です。
- DVD-R/RW(ビデオモード)で入力できるタイトル名の文字数は半角32文字(全角16文字)になります。
- タイトル名に全角文字(かな、漢字、または全角記号)を使用したときは全角文字に対応していない他のDVDプレーヤーまたはDVDレコーダーではタイトル名が正しく表示できません。
- タイトル名に全角文字(かな、漢字、全角記号)を使用したDVD-R/RW(ビデオモード)を全角文字表示に対応していない他のDVDレコーダーでファイナライズすると全角文字が正しく表示されないディスクが作成されます。このディスクは本機でも正しく全角文字表示ができなくなります。十分ご注意ください。

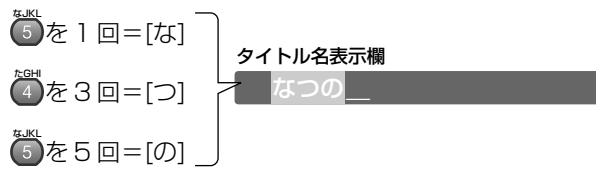
6 前 ⏮ または次 ⏭ ボタンを押す

- 文字の種類を選択します。
- 例では、まず**[かな]**を選択します。

下記の操作で選択することもできます。
① ↑ ↓ ← →でカーソルを文字種類の欄に移動する。
② ↑ ↓で文字の種類を選択して、**決定ボタン**を押す。

7 数字(0～9)ボタン(G コードボタン含む)を押す

- 押すたびに文字が切り換わります。
- 例では、下記の**数字ボタン**を押します。
まず、**[なつの]**と入力します。

タイトル名表示欄
なつの＿

下記の操作で文字を入力することもできます。
↑ ↓ ← →で文字を選択して、**決定ボタン**を押す。

- スペースを入力したいときは**一時停止⏸ボタン**を押します。ひらがな入力中はスペースを入力できません。
- 続けて同じボタンに割り当てられている文字を入力するときは、**早送り⏩ボタン**を押して入力したい位置を１つ右に移動させます。次に入力する文字が違うボタンのときは、そのボタンを押すと自動的に右に移動します。
- 各ボタンに割り当てられている文字については『入力文字一覧』(**P.73**)をご覧ください。

文字の種類を切り換える

前⏮/次⏭ボタンを押すたびに下記のように切り換わります。

濁点または半濁点を入力するには

例 「ば」を入力するには

↓
Gコードを１回(濁点)押す(＝[ば])。

例 「ぱ」を入力するには

⑥を１回押す(＝[は])。
↓

8 再生 ►(変換)ボタンを押す

- 文字を漢字に変換します。
- 『うまく漢字に変換できないとき』も合わせてご覧ください。
- 文字を変換しないときは**停止 ■(確定)ボタン**を押します。

タイトル名表示欄

夏の

下記の操作で変換することもできます。

↑ ↓ ← →で**[変換]**を選択して、**決定ボタン**を押す。

9 ↑ ↓で漢字を選択して、決定ボタンを押す

- 入力が確定され、タイトル表示欄に入力した文字が表示されます。
- 例では、**[夏の]**を選択して、**決定ボタン**を押します。

タイトル名表示欄

夏の_

10 例では 6 ～ 8 を繰り返して[旅]を入力する

下記のように入力します。

①(たGHI 4)を 1 回押す(＝**[た]**)。

②(はMNO 6)を 2 回(ひ)+(記号 Gコード)を 1 回(濁点)押す(＝**[び]**)。

③**再生 ► ボタン(変換)**を押す。

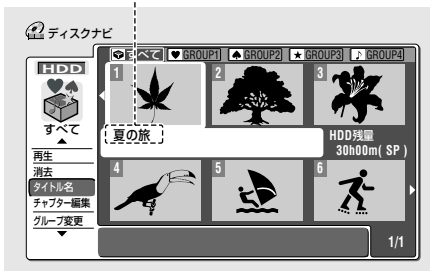
④↑ ↓で**[旅]**を選択して、**決定ボタン**を押す。

タイトル名表示欄

夏の旅_

11 停止 ■(確定)ボタンを押す

タイトル名が確定されます。

タイトル名が変更されます。

下記の操作で確定することもできます。

↑ ↓ ← →で**[確定]**を選択して、**決定ボタン**を押す。

うまく漢字に変換できないとき

文節の区切りを変更することで、目的の漢字に変換することができます。

例「僕の」と入力するとき

① **[ぼくの]をひらがなで入力して、再生 ►(変換)ボタンを押す**

漢字の候補が表示されます。

ボクの

② **←で[ぼく]だけを選択する**

[ぼく]の漢字の候補が表示されます。

僕の

③ **↑ ↓で漢字を選択して、停止 ■(確定)ボタンを押す**

- 例では、**[僕]**を選択します。
- **[の]**の入力が確定されます。

僕の_

各部のなまえ
録画
再生
消去
編集
ダビング
設定
便利機能
その他

便利なリモコン操作

タイトル名入力画面表示中、下記のボタンで操作を行うことができます。

ボタン	操作
再生 変換 ▶	ひらがなを漢字に変換する
	入力した文字を確定する
	タイトル名表示欄の文字入力位置を左に移動する
	タイトル名表示欄の文字入力位置を右に移動する
	スペースを入力する
	文字の種類を切り換える
	文字を消去する

入力文字一覧

	かな	全カナ / 半カナ	全英数 / 半英数
あ 1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォヴ	1
かABC 2	かきくけこ	カキクケコヵヶ	ABCabc2
さDEF 3	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef3
たGHI 4	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi4
なJKL 5	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl5
はMNO 6	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno6
まPQRS 7	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs7
やTUV 8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUVtuv8
らWXYZ 9	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz9
わん 0	わをんゎゐゑ	ワヲンヮヰヱ	0
記号 Gコード	、。ー？！「　」゛゜・ 　　　の文字は入力中に濁点 / 半濁点を付けます。	、。ー？！「　」゛゜・ 　　　は半カナで入力できない文字を示しています。	,. ?!～※ ()＿／:;'" `^@#&* %￥$｜+−= {} [] <> 、。ー「」゛゜・ 　　　は半英数で入力できない文字を示しています。※半英数では￣を入力できます。

HDD に録画したタイトルのグループを変更する（グループ変更）

HDD

HDDに録画したタイトルは、タイトルごとにグループを設定することができます。グループを設定するとグループごとにディスクナビを表示することができます。

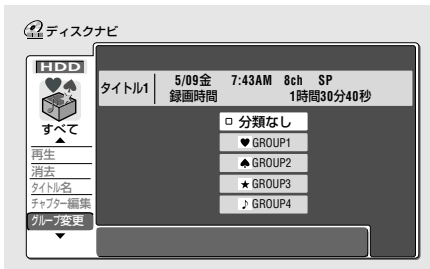
1 HDD ボタンを押す

2 停止中にディスクナビ/トップメニューボタンを押す

ディスクナビが表示されます。ホームメニューから[ディスクナビ]を選択して表示することもできます。

3 ↑ ↓で[グループ変更]を選択して、決定ボタンを押す

4 グループを変更したいタイトルを選択して、決定ボタンを押す

グループ変更画面(下記)が表示されます。

5 グループを選択して、決定ボタンを押す。

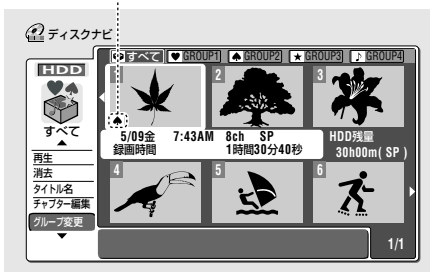
変更されたグループが表示されます。

メニュー欄は２ページあります

HDD

カーソルが１ページ目の[再生]の位置にあるときに↑を押すまたはカーソルが[グループ変更]の位置にあるときに↓を押す

１ページ目
- 再生
- 消去
- タイトル名
- チャプター編集
- グループ変更

２ページ目
- 保護
- 全消去
- グループ名
- 分割
- 結合

HDDのグループ名を変更する(グループ名)

HDD

例えば、本機をご家庭でお使いいただく場合、グループ名を[パパ][ママ][ボク]などに変更すると、録画した番組を区別するのに便利です。入力できる文字数は半角6文字(全角3文字)になります。

1 HDDボタンを押す

2 停止中にディスクナビ/トップメニューボタンを押す

ディスクナビが表示されます。ホームメニューから[**ディスクナビ**]を選択して表示することもできます。

3 ↑ ↓で[グループ名]を選択して、決定ボタンを押す

メニュー欄は2ページあります

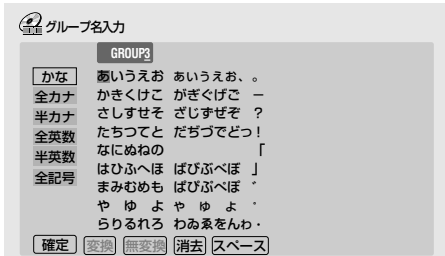
HDD

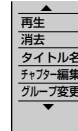
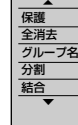
カーソルが1ページ目の[再生]の位置にあるときに↑を押すまたはカーソルが[グループ変更]の位置にあるときに↓を押す

1ページ目

2ページ目

4 名前を変更したいグループを選択して、決定ボタンを押す

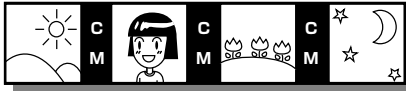
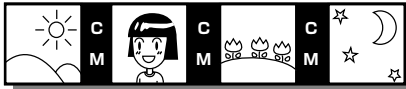
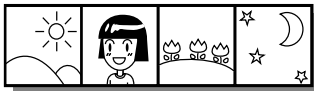
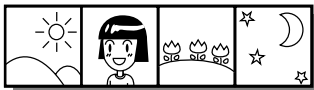
グループ名入力画面(下記)が表示されます。

5 グループ名を入力する

- 文字入力のしかたについては『*録画した映像に名前を付ける(タイトル名入力)*』(**P.70**)をご覧ください。
- お買い上げ時の設定では、グループ名が自動的に付けられています。名前を変更するときは消去してから行ってください。

各部のなまえ
録画
再生
消去
編集
ダビング
設定
便利機能
その他

プレイリストを使って編集しましょう

プレイリストのしくみ

DVD-RW(VR)

オリジナルの映像に影響を与えずに編集することができます。また、オリジナルとは異なった編集を行うことができます。

プレイリストを編集する前にお読みください

- **プレイリスト/メニューボタン**を押してプレイリストを選択してください。プレイリストのディスクナビは背景が青色で表示されます。
- プレイリストを作成してください(『*プレイリストを作る(タイトル作成)*』**P.77**)。
- プレイリストではタイトルを最大99作成することができます。
- 10時間以上のタイトルを作成すると、ディスク情報またはタイムサーチなどの機能が働かなくなります。
- HDD および DVD-R/RW(ビデオモード)ではプレイリストを作成することはできません。

プレイリストでのみできる編集

- 『*プレイリストを作る(タイトル作成)*』(**P.77**)
- 『*タイトルを移動する(タイトル移動)*』(**P.79**)
- 『*タイトルを分割する(タイトル分割)*』(**P.80**)
- 『*前後のタイトルを 1 つにする(タイトル結合)*』(**P.81**)
- 『*チャプターを移動する(移動)*』(**P.82**)

オリジナルと同じ操作でできる編集

詳しい操作については下記をご覧ください。

- 『*タイトルを消去する(消去)*』(**P.59**)
- 『*録画されているすべてのタイトルを消去する(全消去)*』(**P.60**)
- 『*録画した映像に名前を付ける(タイトル名入力)*』(**P.70**)
- 『*タイトルに区切りを入れる(チャプターマーク)*』(**P.63**)
- 『*チャプターを消去する(チャプター編集：消去)*』(**P.66**)
- 『*チャプターを分割する(チャプター編集：分割)*』(**P.65**)
- 『*前後のチャプターを 1 つにする(チャプター編集：結合)*』(**P.68**)
- 『*編集したチャプターを再生する(プレビュー)*』(**P.65, 67**)

プレイリストを作る(タイトル作成)

DVD-RW(VR)

オリジナルのタイトルを選択してプレイリストを作成します。

はじめてプレイリストを作るとき

1 DVDボタンを押す

HDDおよびDVD-R/RW(ビデオモード)ではプレイリストを作成することはできません。DVD-RW(VRモード)をセットしてください。

2 停止中にディスクナビ / トップメニューボタンを押す

ディスクナビが表示されます。ホームメニューから**[ディスクナビ]**を選択して表示することもできます。

3 プレイリスト / メニューボタンを押す

- プレイリストのディスクナビに切り換わります。プレイリストのディスクナビは背景が青色で表示されます。
- はじめてプレイリストを作るときは**[作成]**が選択されています。
- すでにプレイリストが作成されているときは**[再生]**が選択されています。このときは『*プレイリストにタイトルを追加するには*』をご覧ください。

プレイリストにタイトルを追加するには

タイトル1のあとに追加するとき

① **↓を５回押して[作成]を選択して、決定ボタンを押す**

② **← →で追加する位置を選択する**

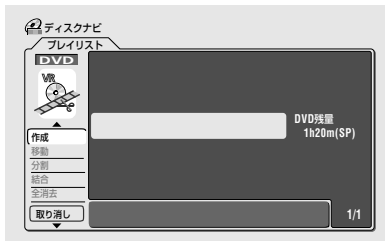
③ **決定ボタンを押す**

オリジナルのタイトルが一覧表示されます。

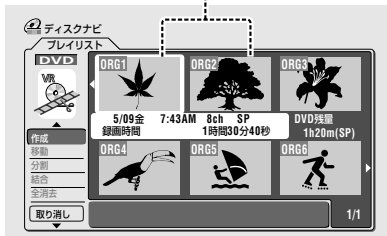
④ **プレイリストに追加したいオリジナルのタイトルを選択して、決定ボタンを押す**

選択したオリジナルのタイトルがプレイリストに追加されます。

追加されたタイトル

⑤ **さらに追加したいときは②～④を繰り返す**

4 [作成]が選択されていることを確認して、決定ボタンを押す

右のタイトル欄にカーソルが移動します。

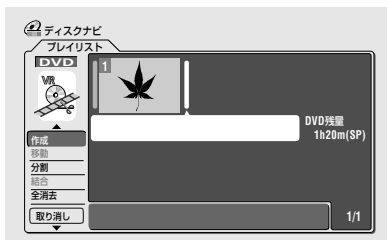
オリジナルのタイトルが表示されます。

5 プレイリストに追加したいオリジナルのタイトルを選択して、決定ボタンを押す

選択したオリジナルのタイトルがプレイリストに追加されます。

左のメニュー欄へカーソルを戻すには

戻るボタンを押す

ディスクナビを終了するには

ホームメニューまたはディスクナビ / トップメニューボタンを押す

タイトルを移動する(タイトル移動)

DVD-RW(VR)

例 タイトル1をタイトル2と3の間に移動する

1 停止中にディスクナビ/トップメニューボタンを押す

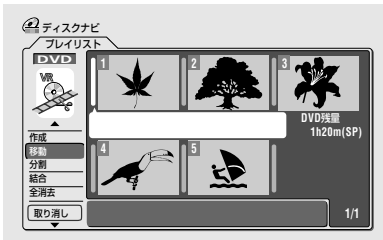
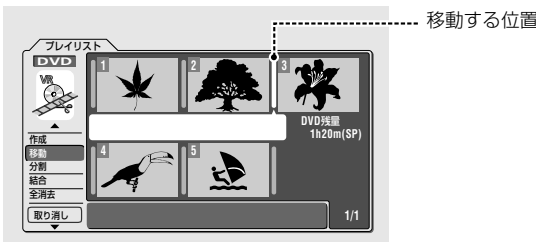
ディスクナビが表示されます。ホームメニューから[ディスクナビ]を選択して表示させることもできます。

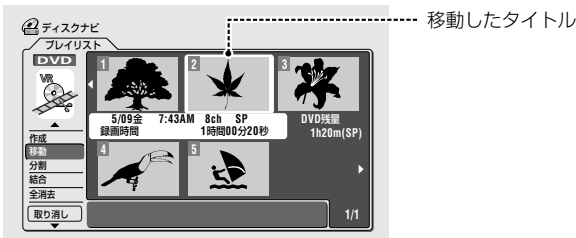
2 プレイリスト/メニューボタンを押す

プレイリストのディスクナビに切り換わります。プレイリストのディスクナビは背景が青色で表示されます。

3 ↑で[移動]を選択して、決定ボタンを押す

右のタイトル欄にカーソルが移動します。

4 移動したいタイトルを選択して、決定ボタンを押す

5 移動する位置を選択する

6 決定ボタンを押す

タイトルが移動します。

7 さらに移動させたいときは4～6を繰り返す

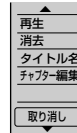
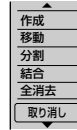
まずDVDに切り換える

DVDボタンを押す

HDDおよびDVD-R/RW(ビデオモード)ではプレイリストを作成することはできません。DVDに切り換えてからDVD-RW(VRモード)をセットしてください。

メニュー欄は2ページあります

カーソルが1ページ目の[再生]の位置にあるときに↑を押すまたはカーソルが[取り消し]の位置にあるときに↓を押す

1ページ目

2ページ目

左のメニュー欄へカーソルを戻すには

戻るボタンを押す

ディスクナビを終了するには

ホームメニューまたはディスクナビ/トップメニューボタンを押す

タイトルを分割する(タイトル分割)

1 つのタイトルを 2 つのタイトルに分割します。

DVD-RW(VR)

1 停止中にディスクナビ/トップメニューボタンを押す

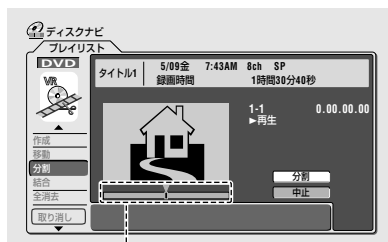
ディスクナビが表示されます。ホームメニューから[ディスクナビ]を選択して表示させることもできます。

2 プレイリスト / メニューボタンを押す

プレイリストのディスクナビに切り換わります。プレイリストのディスクナビは背景が青色で表示されます。

3 ↑で[分割]を選択して、決定ボタンを押す

右のタイトル欄にカーソルが移動します。

4 分割したいタイトルを選択して、決定ボタンを押す

タイトル分割画面(下記)が表示され、選択したタイトルの再生を開始します。

再生している位置を表示します。

5 分割したい位置で決定ボタンを押す

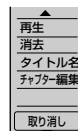
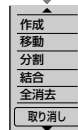
- 分割画面上で通常の再生とほぼ同じ操作を行うことができます(ただし、停止した場所は記憶されません)。詳しくは『*再生しましょう*』(**P.32**)をご覧ください。
- タイトルが分割され、ディスクナビのタイトル選択画面に戻ります。

まず DVD に切り換える

DVD ボタンを押す

HDD および DVD-R/RW(ビデオモード)ではプレイリストを作成することはできません。DVDに切り換えてから DVD-RW(VR モード)をセットしてください。

メニュー欄は 2 ページあります

カーソルが1ページ目の[再生]の位置にあるときに↑を押すまたはカーソルが[取り消し]の位置にあるときに↓を押す

ディスクナビを終了するには

ホームメニューまたはディスクナビ / トップメニューボタンを押す

前後のタイトルを 1 つにする(タイトル結合)

DVD-RW(VR)

例 タイトル２と３を結合する

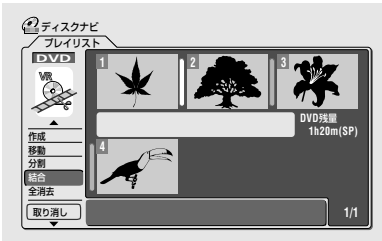
1 停止中にディスクナビ/トップメニューボタンを押す

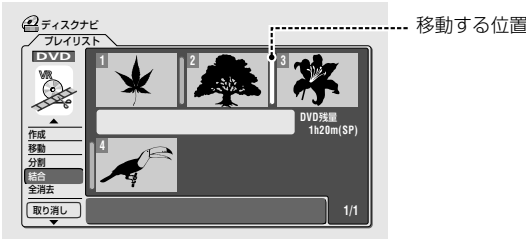
ディスクナビが表示されます。ホームメニューから[ディスクナビ]を選択して表示させることもできます。

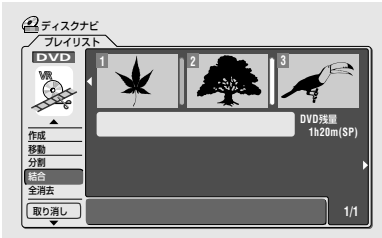
2 プレイリスト / メニューボタンを押す

プレイリストのディスクナビに切り換わります。プレイリストのディスクナビは背景が青色で表示されます。

3 ↑で[結合]を選択して、決定ボタンを押す

右のタイトル欄にカーソルが移動します。

4 結合したいタイトル２と３の間を選択する

移動する位置

5 決定ボタンを押す

前後のタイトルが 1 つに結合されます。

6 さらに結合したいときは 4 ～ 5 を繰り返す

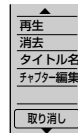
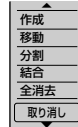
まず DVD に切り換える

DVD ボタンを押す

HDD および DVD-R/RW(ビデオモード)ではプレイリストを作成することはできません。DVDに切り換えてからDVD-RW(VR モード)をセットしてください。

メニュー欄は 2 ページあります

カーソルが1ページ目の[再生]の位置にあるときに↑を押すまたはカーソルが[取り消し]の位置にあるときに↓を押す

1 ページ目

2 ページ目

左のメニュー欄へカーソルを戻すには

戻るボタンを押す

ディスクナビを終了するには

ホームメニューまたはディスクナビ / トップメニューボタンを押す

チャプターを移動する(移動)

DVD-RW(VR)

1 停止中にディスクナビ/トップメニューボタンを押す

ディスクナビが表示されます。ホームメニューから[ディスクナビ]を選択して表示させることもできます。

2 プレイリスト / メニューボタンを押す

プレイリストのディスクナビに切り換わります。プレイリストのディスクナビは背景が青色で表示されます。

3 [チャプター編集]を選択して、決定ボタンを押す

右のタイトル欄にカーソルが移動します。

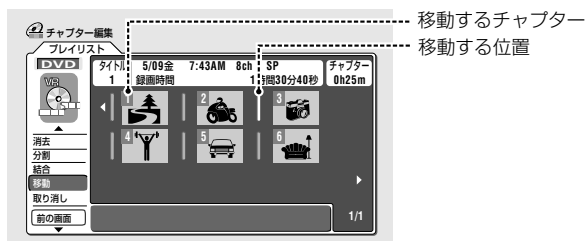
4 移動したいチャプターが入っているタイトルを選択して、決定ボタンを押す

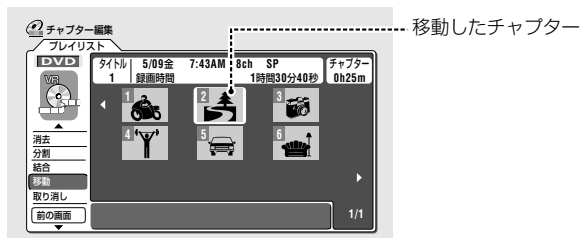
- チャプター編集画面が表示されます。
- 左のメニュー欄にカーソルが移動します。

5 [移動]を選択して、決定ボタンを押す

右のチャプター欄にカーソルが移動します。

6 移動したいチャプターを選択して、決定ボタンを押す

例 *チャプター1をチャプター2と3の間に移動する*

7 移動する位置を選択して、決定ボタンを押す

チャプターが移動します。

8 さらに移動させたいときは 6 〜 7 を繰り返す

まず DVD に切り換える

DVD ボタンを押す

HDD および DVD-R/RW(ビデオモード)ではプレイリストを作成することはできません。DVDに切り換えてから DVD-RW(VR モード)をセットしてください。

左のメニュー欄へカーソルを戻すには

戻るボタンを押す

ディスクナビに戻るには

左のメニュー欄にカーソルがあるときに戻るボタンを押す、または[前の画面]を選択して決定ボタンを押す

チャプター編集を終了するには

ホームメニューまたはディスクナビ / トップメニューボタンを押す

直前に行った編集を取り消す

DVD-RW DVD-R

直前に行った編集を取り消して１つ前の状態に戻すことができます。最大３つ前の編集まで取り消すことができます。

例 オリジナルのディスクナビで編集を取り消す

1 DVD ボタンを押す

HDDのディスクナビでは消去/編集を取り消しはできません。

2 停止中にディスクナビ / トップメニューボタンを押す

ディスクナビが表示されます。ホームメニューから**[ディスクナビ]**を選択して再生することもできます。

3 ↓で[取り消し]を選択して、決定ボタンを押す

チャプター編集画面で編集を取り消すには

[取り消し]を選択して、決定ボタンを押す

メモ

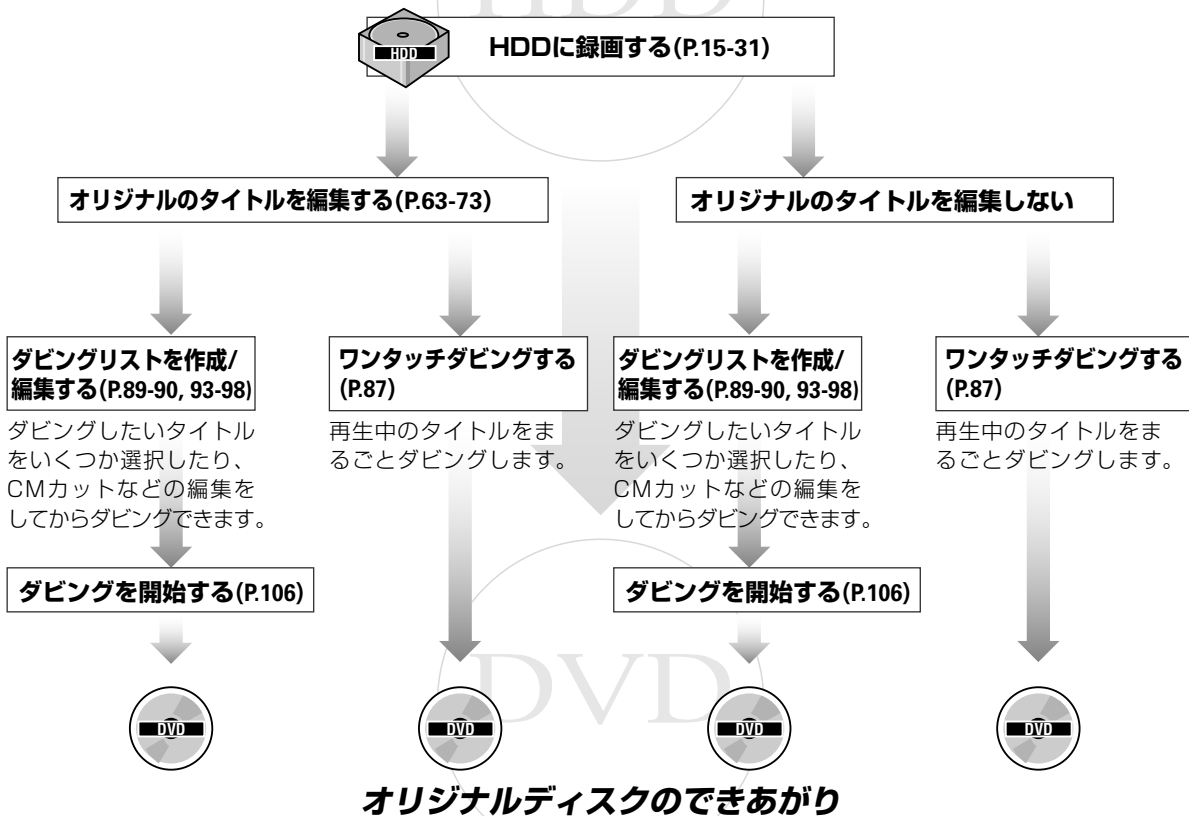
- ▼ **[取り消し]**の文字が灰色で表示されているときは編集を取り消すことができません。
- ▼ 下記の操作を行ったときはそれまでの編集を取り消せなくなります。
- → 新しく録画したとき。
- → ディスクを取り出したとき。
- → 本機の電源をオフにしたとき。
- → 『*ディスク保護*』(**P.135**)や『*タイトルを保護する(保護)*』(**P.61**)を設定/解除したとき。
- → 『*初期化*』(**P.135**)または『*ファイナライズ(または解除)*』(**P.30-31**)したとき。
- ※ 編集直後でなくても上記の操作を行わなければ前に行った編集操作を取り消すことができます。
- ▼ ディスクナビまたはチャプター編集画面での**[取り消し]**は、オリジナルとプレイリストで共用しています。そのため、プレイリストで行った編集をオリジナルの編集画面で取り消すこともできます。

録画からダビングまでの流れ

HDDに録画したタイトルをDVDにダビングして、オリジナルディスクを作ります
ダビング先のDVDディスクの記録方式についてはP.15をご覧ください

HDDに録画する(P.15-31)

- **オリジナルのタイトルを編集する(P.63-73)**
  - **ダビングリストを作成/編集する(P.89-90, 93-98)**
    ダビングしたいタイトルをいくつか選択したり、CMカットなどの編集をしてからダビングできます。
    → **ダビングを開始する(P.106)**
  - **ワンタッチダビングする(P.87)**
    再生中のタイトルをまるごとダビングします。
- **オリジナルのタイトルを編集しない**
  - **ダビングリストを作成/編集する(P.89-90, 93-98)**
    ダビングしたいタイトルをいくつか選択したり、CMカットなどの編集をしてからダビングできます。
    → **ダビングを開始する(P.106)**
  - **ワンタッチダビングする(P.87)**
    再生中のタイトルをまるごとダビングします。

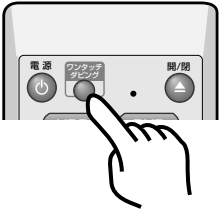
オリジナルディスクのできあがり

ダビングの方法

本機のダビングには、下記の４つの方法があります。

ダビング方法その 1

再生中のタイトルをまるごとダビングする

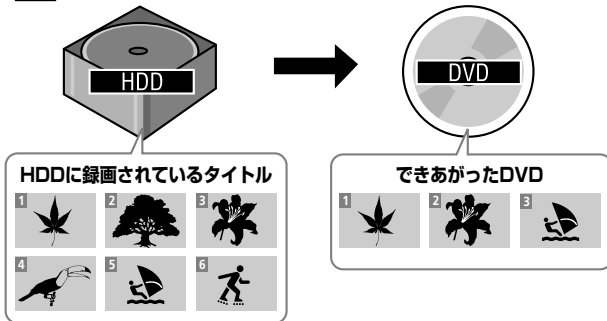
(高速)
HDD → DVD-R DVD-RW
HDD ← DVD-R DVD-RW
(等速)

ワンタッチダビングと呼ばれる機能です。ダビングしたいタイトルを再生中に**ワンタッチダビングボタン**を押すだけで簡単にダビングすることができます。詳しくは『*再生中のタイトルをダビングする(ワンタッチダビング)*』(**P.87, 88**)をご覧ください。

ダビング方法その 2

いくつかのタイトルを選択してダビングする

HDD → DVD-R DVD-RW
HDD ← DVD-R DVD-RW

下記のようなときはこの方法でダビングします。
詳しくは『*いくつかのタイトルを選択してダビングする*』(**P.89-92**)をご覧ください。
なお、ファイナライズ済のDVD-R/RW(ビデオモード)をHDDにダビングするときはワンタッチダビングで行います。

例 1 *HDDのタイトル1、3、および5を選択してDVDにダビングするとき(**P.89**)*

例 2 *DVD のタイトル1、および3を選択してHDDにダビングするとき(**P.91**)*

ダビングの速度について

本機では、高速または等速の2つのダビング速度を選択することができます。

高速ダビング

データコピーすることでダビングします。

- **データコピーなので画質 / 音質が劣化しません。**
- 録画モードの変更はできません。
- 高速ダビング中は、HDD を録画、または再生することができます。ただし、ダビングの実行時間は表示される時間よりも多少長くなります。

高速ダビング所要時間一覧

HDD → DVD-R DVD-RW
(1 時間番組を DVD にダビングしたときの目安です。)

録画モード ＼ ディスクの種類	DVD-RW Ver.1.0 Ver.1.1 (1倍速記録対応)	DVD-R Ver.2.0 DVD-RW Ver.1.1/2× (2倍速記録対応)	DVD-R Ver.2.0/4× (4倍速記録対応)
EP	約10分	約5分	約2.5分
LP	約15分	約7.5分	約4分
SP	約30分	約15分	約7.5分
FINE	約60分	約30分	約15分

- ディスクの状態によっては、4倍速 /2 倍速記録対応ディスクでも速度を落としてダビングします。
- 未使用ディスクの初期化を他のDVDレコーダーで行った場合は、1 倍速でのダビングになることがあります。
- DVD-R Ver.2.0 のディスクの中には、1 倍速でダビングされるディスクもあります。

メモ

▼ 等速ダビングについては次のページをご覧ください。

ダビング方法その３

ダビングリストでCMカットなどの編集をしてダビングする

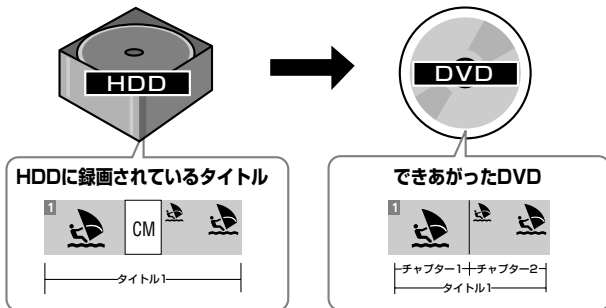
HDD → DVD-R DVD-RW

オリジナルのタイトルに手を加えずにCMカットなどの編集をしてダビングします(**P.93**)。

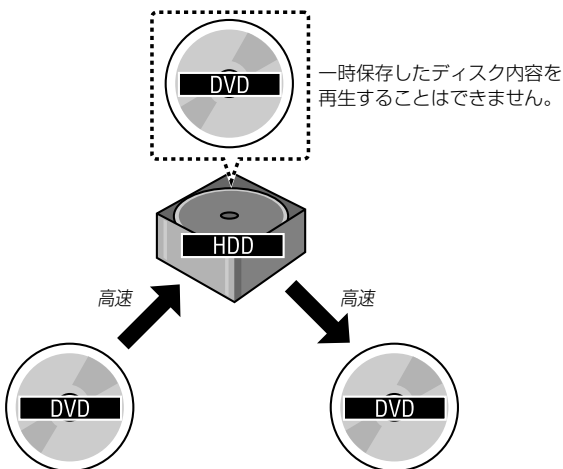
例 *HDDのタイトル1のCMをカットしてダビングするとき*

ダビング方法その４

ディスクバックアップ

ファイナライズ済のDVD-R/RW(ビデオモード)のディスク内容をまるごと他のDVDにダビングすることができます。DVDからHDDに高速で一時的に保存してから他のDVDに高速でダビングします(**P.99**)。

等速ダビング

再生しながら録画することでダビングします。

- DVDに入りきらないときでも、録画モードを変更してダビングすることができます。
- 等速ダビングが完了するまでにかかる時間は再生時間と同じです。
- 等速ダビング中に他の操作を行うことはできません。
- 等速ダビング中は、タイマー予約録画は実行されません。
- 等速ダビング中には、HDDを録画または再生することはできません。
- 画質設定および音質設定の設定は反映されません。

メモ

▼ ダビングの制限については『*ダビングの制限について*』**(P.108)**をご覧ください。

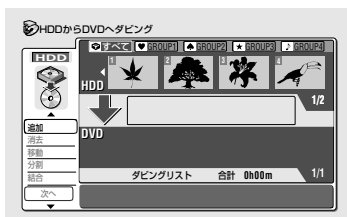
HDD から DVD-R/RW にダビングする

必ず高速でダビングされます。

HDD を再生中にワンタッチダビングボタンを押す

- テレビ画面に[このタイトルのダビングを開始します。]と表示され、高速でダビングを開始します(再生は継続されます)。
- 現在再生中のタイトルのみダビングされます。
- 停止中に**ワンタッチダビングボタン**を押すとダビングリスト画面(HDD → DVD)が表示されます(下記)。

メモ

▼ タイトルの名前、チャプターマーク、またはナビマークもコピーされます。
▼ DVD-R/RW(ビデオモード)にダビングするときは下記の制限があります。
→ チャプターマークの位置や編集した映像のつなぎ目が0.5秒以内でずれることがあります。
→ 0.5 秒以内の間隔のチャプターマークはコピーされないことがあります。
→ タイトル名は、半角 32 文字(全角 16 文字)しかコピーされません。

HDD から DVD-R/RW にダビングできないとき

下記のようなときは、HDD から DVD-R/RW にワンタッチダビングできません。
→ 録画できないディスクがセットされている(ファイナライズ済の DVD-R/RW(ビデオモード)など)。
→ DVD 残量が足りない。
→ DVD のタイトル数がすでに 99 になっている。
→ 録画中。

ダビングを中止する

ダビング中にワンタッチダビングボタンを 1 秒以上押す

ダビングを中止すると、ダビング先にタイトルはコピーされません(ダビング先のタイトルは消去されますが、ダビング元のタイトルは残ります)。
DVD-R では、ディスク残量が減り、元には戻りません。

ワンタッチダビングできないとき

ダビング先のディスク / *映像の種類*	*DVD-RW(VR モード)*	*DVD-R/RW(ビデオモード)*
1 回のみ録画可能の映像	△	×
LP、EP、MN1～18で録画した16:9(ワイド)の映像	○	△
16:9(ワイド)と4:3が混在したタイトルの映像	○	△
HDD のオリジナルを編集した映像	○	○
コピー可能な上記以外の映像	○	○

○: ワンタッチダビングできます(高速でダビングします)。
△: ワンタッチダビングはできません。ただし、ダビングリストを作成してダビングすることはできます。
×: ダビングすることができません。

DVD-R/RW から HDD にダビングする

ファイナライズ済のDVD-R/RW(ビデオモード)をHDDにダビングするときもこの方法で行います。

必ず等速でダビングされます。

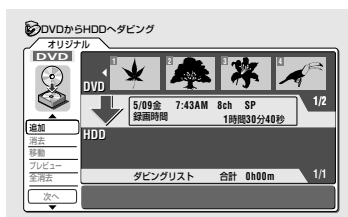
❶ 録画モードボタンを押す

- 押すたびに録画モードが切り換わります。
- 再生中に録画モードを切り換えることはできません。再生を停止してから切り換えてください。録画モードを切り換えた後に再度ダビングしたいタイトルの再生を開始してください。

❷ DVD-R/RWを再生中にワンタッチダビングボタンを押す

- 自動的に現在再生中のタイトルの先頭に戻ります。
- テレビ画面に[このタイトルのダビングを開始します。]と表示され、等速でダビングを開始します。
- ダビング中のタイトルの再生が終了すると、自動的にHDDの録画が停止してダビングが終了します。
- 停止中に**ワンタッチダビングボタン**を押すとダビングリスト画面(DVD→HDD)が表示されます(下記)。

メモ

- ▼ プレイリストのタイトルを再生中もダビングすることができます(DVD-RW(VRモード)のみ)。
- ▼ ダビング開始から6時間経過したときは、ダビングが自動的に停止します(HDDに6時間以上のタイトルを作成することはできません)。
- ▼ ダビングしたタイトルの名前、チャプターマーク、またはナビマークもコピーされます。ただし、ファイナライズ済のDVD-R/RW(ビデオモード)からダビングしたときはコピーされません。
  また、ナビマークとチャプターマークの位置は多少ずれることがあります。
- ▼「1回だけ録画可能」の映像を録画した部分を含むタイトルでは、ワンタッチダビングは開始されますが「1回だけ録画可能」の映像を録画した部分は録画されません。

DVD-R/RW から HDD にワンタッチダビングできないとき

下記のようなときは、DVD-R/RWからHDDにワンタッチダビングできません。

- HDD残量がない(HDD残量が足りないときは可能な限り録画します)。
- HDDのタイトル数がすでに99になっている。
- 録画中。
- 他機器で作成したDVDディスクを再生中、本体表示窓に[PLAY]と表示されるタイトルはダビングできません。

DVDからHDDに高速ダビングする

ダビングリストを作成してDVD-RW(VRモード)からHDDにダビングするときのみ高速でダビングすることができます。

詳しくは『*DVDのタイトル1、および3をHDDにダビングする*』(**P.91-92**)をご覧ください。

ダビングを中止する

ダビング中にワンタッチダビングボタンを1秒以上押す

ダビングを中止すると、ダビング先にタイトルはコピーされません(ダビング先のタイトルは消去されますが、ダビング元のタイトルは残ります)。

例 HDD のタイトル 1、3、および 5 を選択して DVD にダビングする

1 ダビング先のディスクをセットする

開 / 閉 ⏏ ボタンでディスクテーブルを開閉します。

2 ホームメニューから[ダビング]を選択して、決定ボタンを押す

下記の画面が表示されます。

3 [HDD → DVD]を選択して、決定ボタンを押す

ダビングリスト画面(下記)が表示されます。

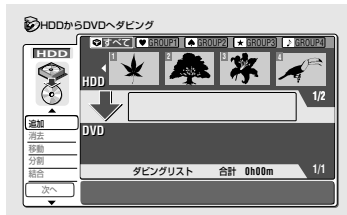
4 [追加]が選択されていることを確認して、決定ボタンを押す

右のタイトル欄にカーソルが移動します。

5 タイトル 1 を選択して、決定ボタンを押す

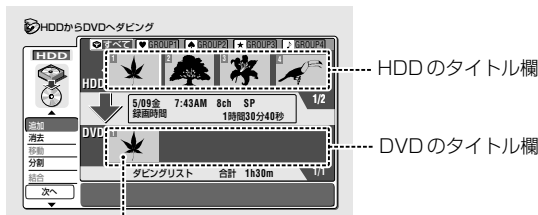
ダビングリストにタイトル 1 が追加されます。

タイトル欄のページを切り換えるには

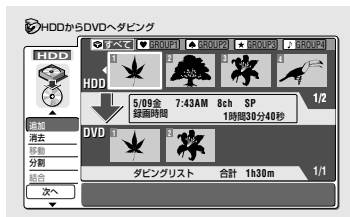
前 ⏮/ 次 ⏭ ボタンを押す

HDDのタイトル欄でグループを変更するには

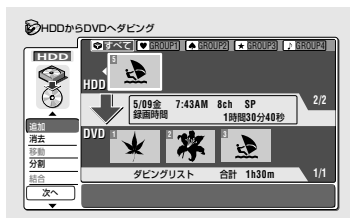
① ⬆を押す
グループ欄にカーソルを移動します。

② ⬅ ➡でグループを選択する

メモ

▼『フレーム編集』(**P.101**)を**[オフ]**に設定しているときにタイトルを追加する場合には下記の制限があります。
→ チャプターマークの位置や編集した映像のつなぎ目が 0.5 秒以内でずれることがあります。
→ 0.5 秒以内の間隔のチャプターマークはコピーされないことがあります。

6 タイトル３を選択して、決定ボタンを押す

ダビングリストにタイトル３が追加されます。

7 タイトル５を選択して、決定ボタンを押す

ダビングリストにタイトル５が追加されます。

8 戻るボタンを押す

左のメニュー覧へカーソルが移動します。

9 ↓で[次へ]を選択して、決定ボタンを押す

下記の画面が表示されます。

録画モードで[高速]を選択したときは、データ容量表示になります。

10 ← → で録画モードを選択する

11 ↓で[開始]を選択して、決定ボタンを押す

- ダビングを開始します。
- [開始]が選択できないときは『*ダビングを実行する*』(**P.XX**)をご覧ください。

ダビングリストが消去される条件

HDD → DVD-R DVD-RW

下記のようなとき、ダビングリストの内容が消去されます。

- HDD に録画されている映像を消去または編集したとき(更新録画を実行しているときや「1 回だけ録画可能」の映像をダビングしたときを含む。)
- 『*フレーム編集*』(**P.101**)の設定を変更したとき。
- お買い上げ時の設定に戻したとき(**P.143**)。

録画モードについて

- [高速]、[FINE]、[SP]、[LP]、[EP]、または[ジャスト]を選択することができます。
- [高速]が選択できないときは『*ダビングを実行する*』(**P.106**)をご覧ください。
- [高速]以外の録画モードを選択したときはダビング速度が等速になります。詳しくは『*ダビングの速度について*』(**P.85**)をご覧ください。
  また、設定を変更すると[MN](マニュアル)を選択することができます。詳しくは『*マニュアル録画*』(**P.127**)をご覧ください。

ダビングを中止する

ダビング中にワンタッチダビングボタンを 1 秒以上押す

ダビングを中止すると、ダビング先にタイトルはコピーされません(ダビング先のタイトルは消去されますが、ダビング元のタイトルは残ります)。
DVD-R では、ディスク残量が減り、元には戻りません。

例 DVDのタイトル1、および3をHDDにダビングする

ダビングリストを作成してDVD-RW(VRモード)からHDDにダビングするときのみ高速でダビングすることができます。

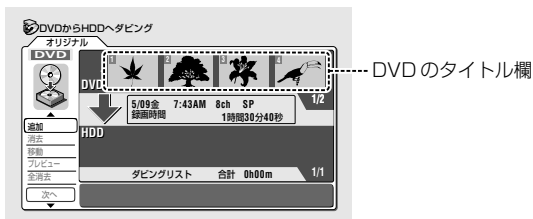
1 ダビングしたいタイトルが録画されているディスクをセットする

開/閉⏏ボタンでディスクテーブルを開閉します。

2 ホームメニューから[ダビング]を選択して、決定ボタンを押す

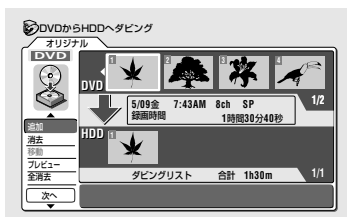
下記の画面が表示されます。

3 [DVD→HDD]を選択して、決定ボタンを押す

- ダビングリスト画面(下記)が表示されます。
- プレイリストのタイトルをダビングしたいときは**プレイリスト/メニューボタン**を押してプレイリストを選択します。ダビングリスト画面の背景が青色で表示されます。

4 [追加]が選択されていることを確認して、決定ボタンを押す

右のタイトル欄にカーソルが移動します。

5 タイトル1を選択して、決定ボタンを押す

ダビングリストにタイトル1が追加されます。

ホームメニューを表示する

ホームメニューボタンを押す

例 *DVR-610Hのホームメニュー*

ファイナライズ済のDVD-R/RW(ビデオモード)をHDDにダビングする

『*ワンタッチダビング*』(**P.87**)または『*ディスクバックアップ*』(**P.99**)でのみダビングすることができます(ワンタッチダビングでは再生中のタイトルのみがダビングされます)。

ダビングリストに追加したタイトルを消去する

『*ダビングリストのタイトルを1つ消去する(消去)*』(**P.103**)をご覧ください。

ダビングリストに追加したタイトルを移動する

『*ダビングリストのタイトルを移動する(移動)*』(**P.103**)をご覧ください。

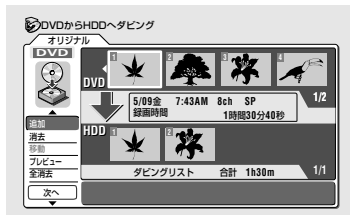
作成したダビングリストを確認する

『*ダビングリストを再生する*』(**P.104**)をご覧ください。

ダビングリストに追加したすべてのタイトルを消去する

『*ダビングリストのすべてのタイトルを消去する(全消去)*』(**P.105**)をご覧ください。

6 タイトル３を選択して、決定ボタンを押す

ダビングリストにタイトル３が追加されます。

7 戻るボタンを押す

左のメニュー一覧にカーソルが移動します。

8 ↓で[次へ]を選択して、決定ボタンを押す

下記の画面が表示されます。

9 ← →で録画モードを選択する

DVD-RW(VRモード) のオリジナルからHDDにダビングするときのみ[高速]を選択することができます。ただし、[高速]を選択するとダビングされないタイトルがあります。詳しくは『*DVD からHDDに高速ダビングするときの制限*』をご覧ください。

10 ↓で[開始]を選択して、決定ボタンを押す

- ダビングを開始します。
- [開始]が選択できないときは『*ダビングを実行する*』(**P.106**)をご覧ください。

メモ

▼ **6時間を超えるタイトルをダビングリストに追加することはできません。**
▼ **DVD-R/RW(ビデオモード)からHDDへ高速でダビングすることはできません。**
▼ ダビングタイトル合計が赤色で表示されたときはダビングタイトル合計がHDD残量を越えています。下記のいずれかの操作を行ってください。
→ 録画モードを変更する。
→ タイトルを消去してHDD残量を増やす。
▼ ダビングしたタイトルの名前、チャプターマーク、またはナビマークもコピーされます。また、チャプターマークやナビマークの位置は多少ずれることがあります。

ダビングリストが消去される条件

DVD-R DVD-RW → HDD

下記の操作を行うとダビングリストの内容が消去されます。

- タイトルを消去または編集したとき(編集の取り消し(**P.83**)でダビングリストの消去を取り消すことはできません)。
- ディスクテーブルを開けたとき
- オリジナルとプレイリストを切り換えたとき
- お買い上げ時の設定に戻したとき
- ディスクを初期化またはファイナライズしたとき

録画モードについて

- [高速]、[FINE]、[SP]、[LP]または、[EP]を選択することができます。ただし、[高速]を選択するにはいくつかの制限があります。詳しくは『*DVDからHDDへ高速ダビングするときの制限*』をご覧ください。
- [高速]以外の録画モードを選択したときはダビング速度が等速になります。詳しくは『*ダビングの速度について*』(**P.85**)をご覧ください。
  また、設定を変更すると[MN](マニュアル)を選択することができます。詳しくは『*マニュアル録画*』(**P.127**)をご覧ください。

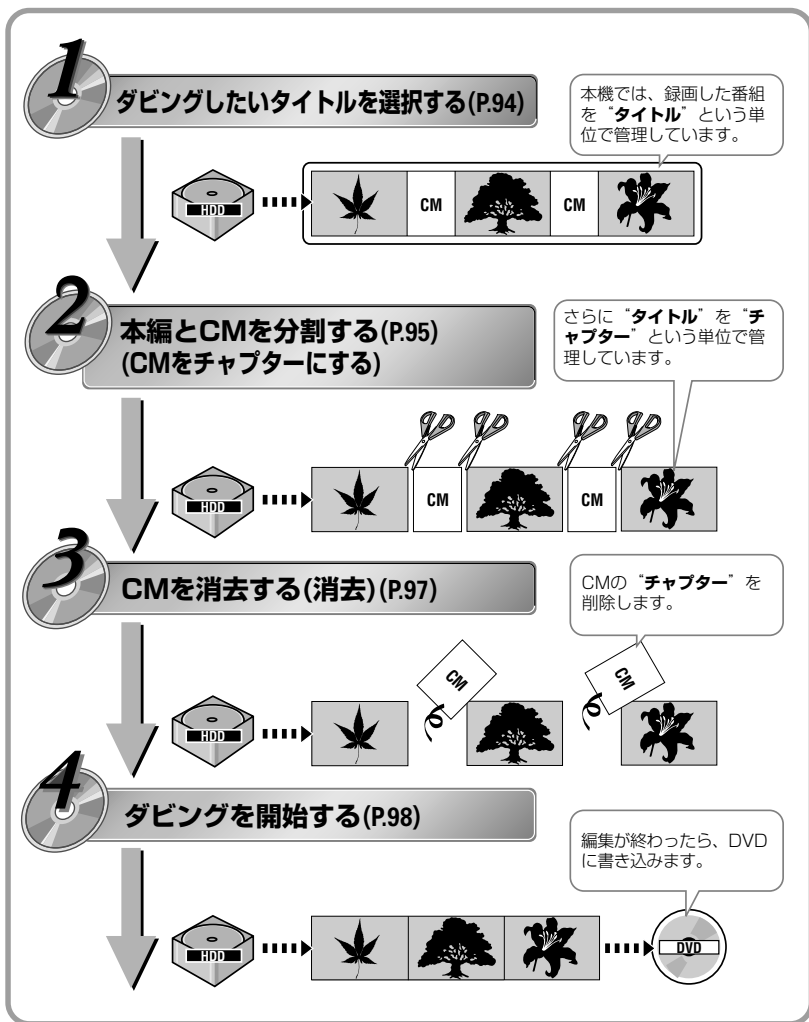
DVD からHDDに高速ダビングするときの制限

下記のようなタイトルはダビングリストには追加できますが、DVD-RW(VRモード)で高速ダビングしてもダビングされません。

- 録画レベルMN12～20で直接録画したタイトルおよび等速ダビングで作成したタイトル
- 二カ国語放送を録画したタイトル
- 「1回のみ録画可能の番組」を録画したタイトル

※ *上記以外にも他のDVDレコーダーで録画したタイトルをダビングできないことがあります。*

CMをカットしてダビングする

HDDに録画した番組の不要な部分(CM など)をカットしてDVDにダビングします(編集ダビング)。不要な部分(CMなど)をチャプターにして消去するという流れ(下記)になります。ここでは、録画されている番組そのもの(オリジナル)に手を加えずにCMカットしてダビングすることができます。また、消去/編集を何回でもやり直すことができます(1 回限り録画可能の番組を除く)。

P.94 から 98 まで

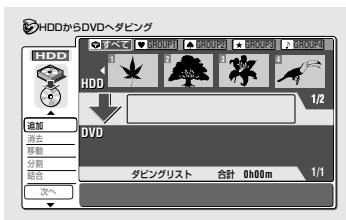
「録画した番組からCM をカットしてダビングする方法」について詳しく解説しています。
ここでは、まず試しに録画した番組をDVD - RW にダビングしてみましょう。
DVD - RWにダビングすれば、万が一失敗してもやり直すことができます。また、録画されている番組そのものに手を加えないでCM をカットするので安心です。
それでは録画できるDVD-RW をセットしてください。

ダビングしたいタイトルを選択する

例 HDD のタイトル 1 の CM をカットしてダビングするとき

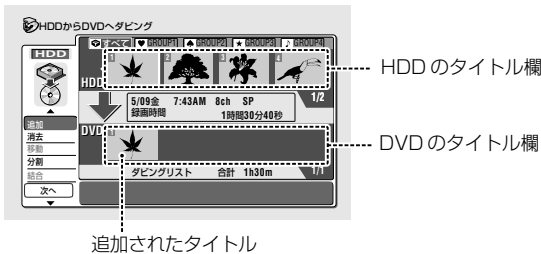
1 ホームメニューから[ダビング]を選択して、決定ボタンを押す

2 [HDD → DVD]を選択して、決定ボタンを押す

ダビングリスト画面(下記)が表示されます。

3 [追加]が選択されていることを確認して、決定ボタンを押す

HDD のタイトル欄にカーソルが移動します。

4 ダビングしたいタイトル(タイトル 1)を選択して、決定ボタンを押す

選択したタイトルがダビングリストに追加されます。

5 戻るボタンを押す

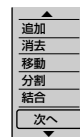
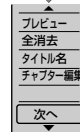
左のメニュー欄にカーソルが移動します。

次のページの『2 本編と CM を分割する』に進んでください。

メニュー欄は 2 ページあります

HDD

カーソルが 1 ページ目の[再生]の位置にあるときに↑を押すまたはカーソルが[グループ変更] (HDD のディスクナビのとき)の位置にあるときに↓を押す

メモ

- ▼『フレーム編集』(**P.101**)を**[オフ]**に設定しているときにタイトルを追加する場合は下記の制限があります。
- → チャプターマークの位置や編集した映像のつなぎ目が 0.5 秒以内でずれることがあります。
- → 0.5 秒以内の間隔のチャプターマークは追加されないことがあります。

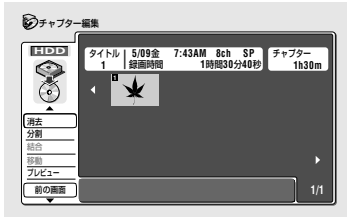
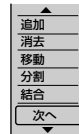
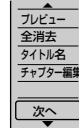
本編とCMを分割する(CMをチャプターにする)

CMをチャプターにするには、CMの先頭と終わりで「分割」という操作を行います。

1 ↑を2回押して[チャプター編集]を選択して、決定ボタンを押す

右のダビングリストにカーソルが移動します。

2 CMをカットしたいタイトル(タイトル1)を選択して、決定ボタンを押す

- チャプター編集画面(下記)が表示されます。
- 左のメニュー欄にカーソルが移動します。

3 [分割]を選択して、決定ボタンを押す

右のチャプター欄にカーソルが移動します。

4 CMが入っている分割したいチャプターを選択して、決定ボタンを押す

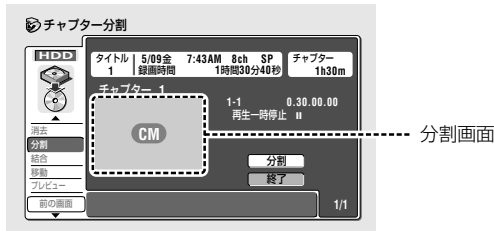
- 分割画面(下記)が表示され、選択したチャプターの再生を開始します。
- 分割画面では通常の再生とほぼ同じ操作を行うことができます(ただし、停止した場所は記憶されません)。詳しくは『*再生しましょう*』(**P.32**)をご覧ください。

メニュー欄は2ページあります
HDD

カーソルが1ページ目の[再生]の位置にあるときに↑を押すまたはカーソルが[グループ変更](HDDのディスクナビのとき)の位置にあるときに↓を押す

→ 次のページへ続く

❺ CMの先頭で決定ボタンを押す

[分割されました。]と表示され、本編とCMが分割されます。

❻ 再生▶ボタンを押す

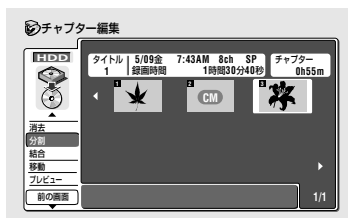
引き続きCMを再生します。

❼ CMのより後の本編の先頭で決定ボタンを押す

[分割されました。]と表示され、本編とCMが分割されます。

❽ さらに分割したいときは5～7を繰り返す

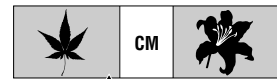
❾ ↓で[終了]を選択して、決定ボタンを押す

チャプター編集画面に戻ります。1つのチャプターが3つに分割されます。

❿ 戻るボタンを押す

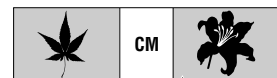
左のメニュー欄にカーソルが移動します。

次のページの『3 CMを消去する(消去)』に進んでください。

分割のポイント①

CMを残したくないときはコマ送り/戻しで微調整して、CMより前で分割してください。

CMスキップ

30秒ごと最大4分までCMを飛ばすことができます(**P.38**)。

分割のポイント②

もっと正確に分割するには

フレーム(1/30秒)単位で編集することができます。お買い上げ時はチャプターを0.5秒単位で分割します。設定を変更すると、もっと正確に(フレーム単位)分割することができます。ただし、フレーム単位で編集を行うとDVD-R/RW(ビデオモード)への高速ダビングができなくなります。詳しくは『*フレーム編集*』(**P.101**)をご覧ください。

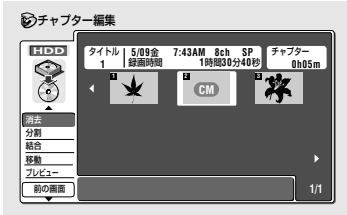
メモ

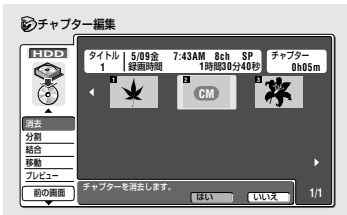
▼ 二カ国語やモノラル放送を録画したとき、本体設定の『*オートチャプター(HDD/VR)*』(**P.129**)を**[オン]**に設定していると自動的に本編とCMが分割されます。

CMを消去する(消去)

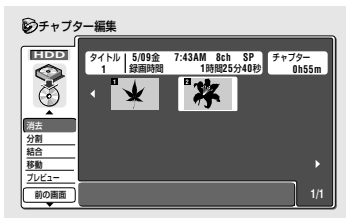
1 [消去]を選択して、決定ボタンを押す

右のチャプター欄(ナビ画面)にカーソルが移動します。

2 消去したいCMを選択する

3 決定ボタンを押す

消去したいCMを選択して**クリアボタン**を押しても消去することができます。

4 [はい]を選択して、決定ボタンを押す

選択したCMが消去されます。

5 戻るボタンを押す

左のメニュー欄にカーソルが移動します。

次のページの『4 ダビングを開始する』に進んでください。

どの映像がCMかわからないとき

右上に表示されているチャプターの時間を目安にします。時間の短い映像を選択してください。

ダビングを開始する

1 [前の画面]を選択して、決定ボタンを押す

ダビングリスト画面に戻ります。

2 戻るボタンを押す

左のメニュー欄にカーソルが移動します。

3 [次へ]を選択して、決定ボタンを押す

下記の画面が表示されます。

録画モードで[高速]を選択したときは、データ容量表示になります。

4 ← → で録画モードを選択する

5 ↓で[開始]を選択して、決定ボタンを押す

- ダビングを開始します。
- 開始が選択できないときは『*ダビングを実行する*』(**P.106**)をご覧ください。

録画モードについて

- [高速]、[FINE]、[SP]、[LP]、[EP]、または[ジャスト]を選択することができます。
- [高速]が選択できないときは『*ダビングを実行する*』(**P.106**)をご覧ください。
- [高速]以外の録画モードを選択したときはダビング速度が等速になります。詳しくは『*ダビングの速度について*』(**P.85**)をご覧ください。
  また、設定を変更すると[MN](マニュアル)を選択することができます。詳しくは『*マニュアル録画*』(**P.127**)をご覧ください。

ディスク内容をまるごと他のDVDにダビングする

ファイナライズ済のDVD-R/RW(ビデオモード)のディスク内容をまるごと他のDVD-RWまたは未使用のDVD-RにダビングすることができますDVD-Rからのディスクバックアップは DVD-R へのみとなります)。DVD から HDD に高速で一時的に保存してから他の DVD に高速でダビングします。

HDD へ一時的に保存(バックアップ)しているディスク内容を再生することはできません。

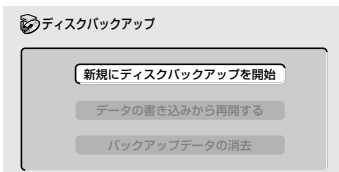
また、バックアップデータを作成するとその分HDD残量が減少します(目安としては[SP]で2時間分減少します。)

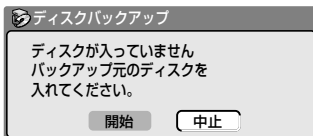
ディスクバックアップの所要時間

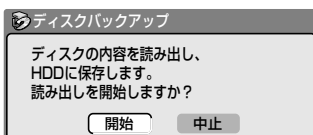
ディスクの状態によっては、速度を落としてバックアップまたは書き込みします。

ディスクの種類 / バックアップ方向	DVD-R/RW (1倍速記録対応)	DVD-R/RW (2倍速記録対応)	DVD-R (4倍速記録対応)
DVD→HDD(バックアップ)	約15分	約15分	約15分
HDD→DVD(書き込み)	約60分	約30分	約15分

1 ホームメニューから[ダビング]を選択して、決定ボタンを押す

2 [ディスクバックアップ]を選択して、決定ボタンを押す

3 [新規にディスクバックアップを開始]を選択して、決定ボタンを押す

下記の画面が表示されます。

4 バックアップ元のディスクをセットする

- **開/閉▲ボタン**でディスクテーブルを開閉します。
- ディスク情報の読み込みが終了すると下記の画面が表示されます。

データの書き込みから再開する/HDDに保存したバックアップデータを消去する

① ホームメニューから[ダビング]を選択して、決定ボタンを押す

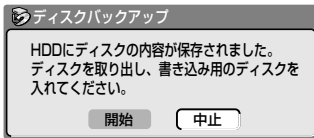
② [ディスクバックアップ]を選択して、決定ボタンを押す

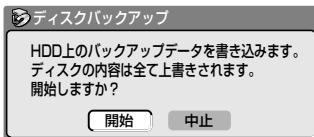
▼ **[データの書き込みから再開する]**
すでにHDDにバックアップデータが保存されている場合は、HDDからディスクへのデータ書き込みから再開します。

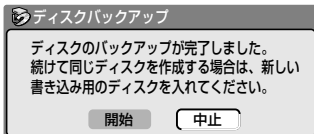
▼ **[HDDに保存したバックアップデータを消去する]**
HDDに保存したバックアップデータが消去されます。

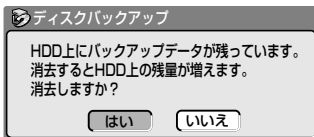
③ 項目を選択して、決定ボタンを押す

5 [開始]を選択して、決定ボタンを押す

- 表示が消えてディスク内容の保存を開始します。
- **ワンタッチダビングボタン**を1秒以上押すと中止することができます。
- 読み出しが終了すると下記の画面が表示されます。

6 書き込み用のディスクをセットする

- **開/閉⏏ボタン**でディスクテーブルを開閉します。
- ディスク情報の読み込みが終了すると下記の画面が表示されます。

7 [開始]を選択して、決定ボタンを押す

- 表示が消えてHDDからディスクへの書き込みが開始します。
- 書き込みが終了すると下記の画面が表示されます。

8 [中止]を選択して、決定ボタンを押す

- 続けて他のディスクに書き込みたいときは手順**6**～**7**を繰り返します。
- 下記の画面が表示されます。

9 HDD上のバックアップデータを消去するときは[はい]、消去しないときは[いいえ]を選択して、決定ボタンを押す

- 表示が消えてディスクバックアップが終了します。
- [いいえ]を選択したときは[**ダビング**]→[**ディスクバックアップ**]→[**データの書き込みから再開する**]と選択すると、ディスクへの書き込みから開始することができます。

HDDへ一時的に保存(バックアップ)できないとき

- HDDの残量が少ない
- DVD-RW(VRモード)のディスク内容をバックアップしようとしたとき
- ファイナライズ済のDVD-R/RW(ビデオモード)以外のディスク内容をバックアップしようとしたとき

書き込みが開始されないとき

- ファイナライズ済みのDVD-RW(ビデオモード)に書き込みしようとしたとき。
- 保護されているディスクに書き込みしようとしたとき。
- **DVD-Rから読み込んだディスク内容をDVD-RWに書き込みしようとしたとき。**
- ディスク内容より少ない容量のディスクに書き込みしようとしたとき。
- 使用済のDVD-Rに書き込みしようとしたとき

書き込むときに使用するディスク

DVD-RW Ver.1.1または未使用のDVD-Rを使用してください。

DVD-RWに書き込むときの注意

DVD-RWでは記録されている内容がすべて上書きされます。ご注意ください。

書き込みを中止する

ワンタッチダビングボタンを1秒以上押す

DVD-Rへの書き込みを途中で中止するとディスクが使用できなくなります。ご注意ください。

また、DVD-RWへの書き込みを途中で中止すると、録画および再生ができないディスクになります。このようなときは『*初期化*』(P.135)してください。

ダビングリストの編集モードを設定する(フレーム編集)

ダビングリストを作成する前に『フレーム編集』の設定を[オン]にするとフレーム単位で編集することができます。
ただし、フレーム単位で編集を行うとDVD-R/RW(ビデオモード)への高速ダビングができなくなります。お買い上げ時(オフ)は 0.5 秒単位で編集します。
[フレーム編集]の設定を変更すると、すでに作成されているダビングリストが消去されます。

HDD → DVD-R DVD-RW

1 ホームメニューから[本体設定]→[録画]→[フレーム編集]と選択して、決定ボタンを押す

オフ(お買い上げ時の設定)
DVD-R/RW(ビデオモード)にも高速でダビングすることができる編集モードです。ただし、ダビングリストの編集が一部制限されます。詳しくは **P.102** の**メモ**をご覧ください。
オン
フレーム単位の編集など、より高度な編集ができる編集モードです。「1 回のみ録画可能の映像」をダビングしたいときは[オン]に設定します。ただし、チャプター分割などの編集を行うとDVD-R/RW(ビデオモード)へのダビングは等速ダビングとなります。

2 [オン]または[オフ]を選択して、決定ボタンを押す

ダビングリストがあるときは、[ダビングリストが消去されます。よろしいですか？]と表示されます。

3 [はい]を選択して、決定ボタンを押す

MEMO **メモ**

- ▼『フレーム編集』を**[オフ]**に設定しているときにタイトルを追加する場合は下記の制限があります。
- → チャプターマークの位置や編集した映像のつなぎ目が0.5 秒以内でずれることがあります。
- → 0.5 秒以内の間隔のチャプターマークはコピーされないことがあります。
- ▼『フレーム編集』の設定に関係なく、HDDのオリジナルの映像はフレーム単位になります。

『フレーム編集』の設定によるダビングの制限 (HDD から DVD へダビングするとき)

	フレーム編集＝[オン]		フレーム編集＝[オフ]
	DVD-RW(VRモード)	DVD-R/RW(ビデオモード)	DVD-R/RW
1 回のみ録画可能の映像	◎ / ○※1	×	×
LP、EP、MN1～18で録画した16:9(ワイド)の映像	◎ / ○	○ 4:3 映像としてダビングされる	×
16:9(ワイド)と4:3が混在したタイトルの映像	◎ / ○	○ 4:3 映像としてダビングされる	◎ / ○ ダビングリストに追加したとき、タイトルが分割される。
ダビングリストを編集したときに、異なる録画モードのタイトルを結合した映像※2	◎ / ○	○	× ダビングリストを編集したとき、タイトルを結合できない。
HDD のオリジナルを編集した映像(オリジナルにチャプターマークが入っているときを含む)	◎ / ○	○	◎ / ○ ダビングリストに追加したとき、編集位置が 0.5 秒以内でずれる。
コピー可能な上記以外の映像	◎ / ○	◎ / ○	◎ / ○

◎: ダビングできます(高速)。
○: ダビングできます(等速)。
×: ダビングできません。

※1 CPRM 非対応ディスクの場合はダビングできません。
※2 ダビングリストでの録画モードは下記の 4 種類に分けられます。例えば SP で録画したタイトルと MN18 で録画したタイトルは異なる録画モードとなります。
① EPまたはMN1～6/② LPまたはMN7～18/③ SPまたはMN19～31/④ FINEまたはMN32

ダビングリストを作成／編集する

ここではダビングリストの編集の個々の機能について説明します。

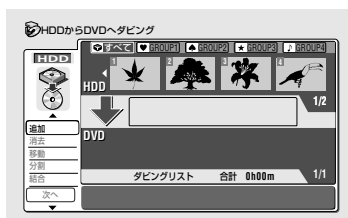
ダビング先(HDDまたはDVD)を選択して、ダビングリスト画面を表示する

例 *ダビング先としてDVDを選択する*

① ホームメニューから[ダビング]を選択して、決定ボタンを押す

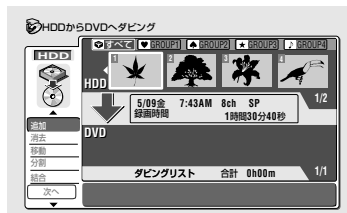
下記の画面が表示されます。

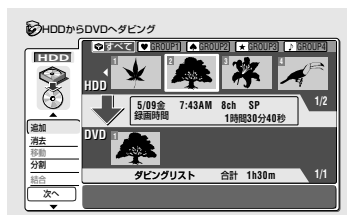
② [HDD→DVD]を選択して、決定ボタンを押す

ダビングリスト画面(下記)が表示されます。

ダビングリストにタイトルを追加する(追加)

例 *ダビングリストにHDDのタイトル2を追加する*

① [追加]が選択されていることを確認して、決定ボタンを押す

右上のHDDのタイトル欄にカーソルが移動します。

② 追加したいHDDのタイトル(タイトル2)を選択し、決定ボタンを押す

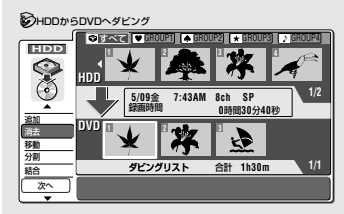
選択したタイトルがダビングリストの最後に追加されます。

メモ

▼ カーソルがHDDのタイトル欄にあるとき、ダビングリストのタイトル欄にカーソルを移動することができません。また、カーソルがダビングリストのタイトル欄にあるとき、HDDのタイトル欄にカーソルを移動することはできません。

ダビングリストのタイトルを１つ消去する(消去)

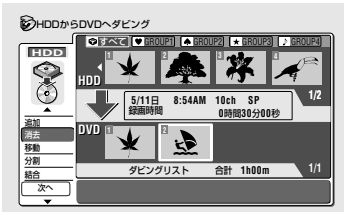
例 タイトル２を消去する

① [消去]を選択して、決定ボタンを押す

右下のダビングリストのタイトル欄にカーソルが移動します。

② 消去したいタイトル(タイトル２)を選択し、決定ボタンを押す

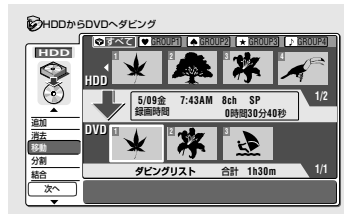
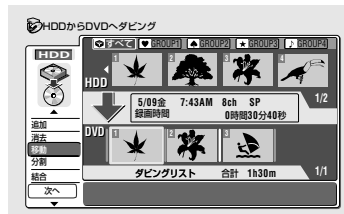
消去したいタイトルを選択して**クリアボタン**を押してもタイトルを消去することができます。

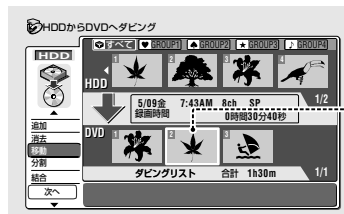
③ [はい]を選択して、決定ボタンを押す

選択したタイトル(タイトル２)が消去されます。

ダビングリストのタイトルを移動する(移動)

例 タイトル１をタイトル２と３の間に移動する

① [移動]を選択して、決定ボタンを押す

右下のダビングリストのタイトル欄にカーソルが移動します。

② 移動したいタイトル(タイトル１)を選択して、決定ボタンを押す

③ 移動する位置を選択し、決定ボタンを押す

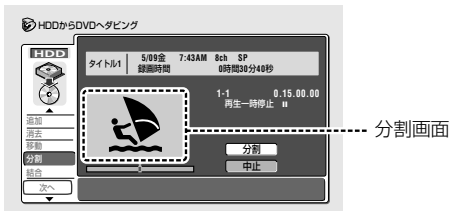
選択したタイトルが移動します。

ダビングリストのタイトルを分割する(分割)

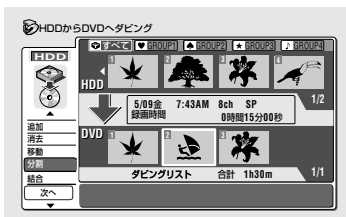
例 タイトル 1 を分割する

① [分割]を選択して、決定ボタンを押す

右下のダビングリストのタイトル欄にカーソルが移動します。

② 分割したいタイトルを選択して、決定ボタンを押す

- 分割画面(下記)が表示され、選択したタイトルの再生を開始します。
- 分割するときに『*シームレス再生*』(**P.131**)を**[オン]**に設定していても『*シームレス再生*』が**[オフ]**の状態で再生されます。

③ 分割したい位置で決定ボタンを押す

- 選択したタイトルが分割されます。
- 通常の再生とほぼ同じ操作を行うことができます(ただし、停止した場所は記憶されません)。
  詳しくは『*再生しましょう*』(**P.32**)をご覧ください。
- ダビングリスト画面に戻ります。

メモ

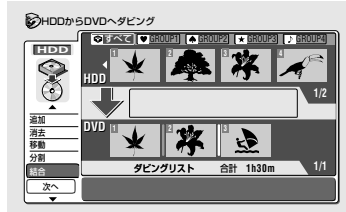
▼ 本体設定の『*フレーム編集*』(**P.101**)が**[オフ]**に設定されているときは、分割位置の指定は約0.5秒単位となります。フレーム単位で編集したいときは『*フレーム編集*』を**[オン]**に設定してから編集を行ってください。

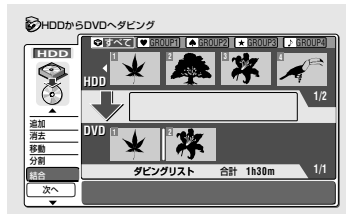
分割したダビングリストのタイトルを結合する(結合)

[分割]で分割したタイトルを再度結合したいときに行います。

例 タイトル 2 と 3 を結合する

① [結合]を選択して、決定ボタンを押す

右下のダビングリストのタイトル欄にカーソルが移動します。

② 結合したいタイトル(タイトル2)とタイトル(タイトル3)の間を選択して、決定ボタンを押す

前後のタイトルが一つに結合されます。

ダビングリストを再生する(プレビュー)

編集したタイトルを再生して編集結果を確認する(プレビュー)ことができます。

① ↑を押して[プレビュー]を選択して、決定ボタンを押す

② タイトルを選択する

- ダビングリストの終わりまでタイトルを順番に再生します。
- 通常の再生とほぼ同じ操作を行うことができます(ただし、停止した場所は記憶されません)。
  詳しくは『*再生しましょう*』(**P.32**)をご覧ください。
- **停止 ■ ボタン**を押して再生を停止するとダビングリスト画面に戻ります。
- HDD から DVD へのダビングでは、**ナビマークボタン**を押すとナビマークの位置を変更することができます。

ダビングリストのすべてのタイトルを消去する(全消去)

① [全消去]を選択して、決定ボタンを押す

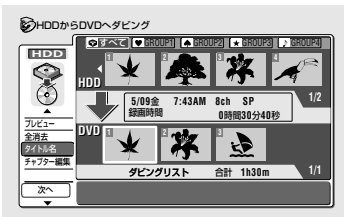
② [はい]を選択して、決定ボタンを押す

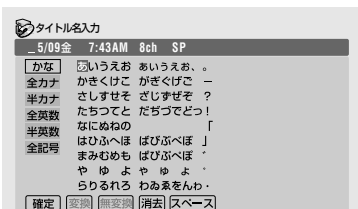
すべてのタイトルが消去されます。

タイトルに名前を付ける(タイトル名)

半角64文字(全角32文字)まで入力できますが、DVD-R/RW(ビデオモード)にダビングするときは半角32文字(全角16文字)しかコピーされません。また、ダビングリスト画面のタイトル名に表示される文字数は半角32文字(全角16文字)です。

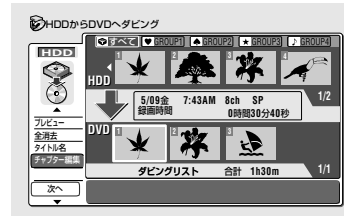
例 *タイトル1に名前を付ける*

① [タイトル名]を選択して、決定ボタンを押す

② 名前を付けたいタイトルを選択して、決定ボタンを押す

- タイトル名入力画面(下記)が表示されます。
- 文字入力のしかたについては『*録画した映像に名前を付ける(タイトル名入力)*』(**P.70**)をご覧ください。

ダビングリストで選択したタイトル内のチャプターを編集する(チャプター編集)

例 *タイトル1のチャプターを編集する*

① [チャプター編集]を選択して、決定ボタンを押す

右下のダビングリストのタイトル欄にカーソルが移動します。

② 編集したいチャプターの入っているタイトルを選択して、決定ボタンを押す

チャプター編集画面(下記)が表示されます。

チャプター欄(ナビ画面)

下記の編集操作を行うことができます。編集の詳しい操作方法については『*編集しましょう*』(**P.63**)をご覧ください。

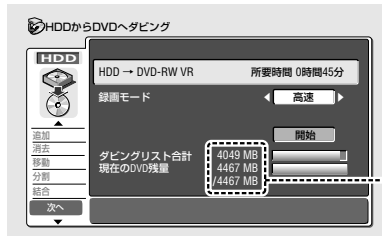
- チャプターを消去する(消去)→ **P.66**
- チャプターを分割する(分割)→ **P.65**
- チャプターを結合する(結合)→ **P.68**
- チャプターを移動する(移動)→ **P.82**

ダビングを実行する

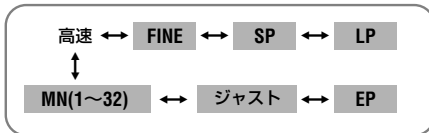
1 ダビング先のディスクをセットする

開 / 閉 ▲ ボタンでディスクテーブルを開閉します。

2 ダビングリスト画面で[次へ]を選択して、決定ボタンを押す

下記の画面が表示されます。

録画モードで[高速]を選択したときは、データ容量表示になります。

3 ← → で録画モードを選択する

押すたびに下記のように切り換わります。

の付いている録画モードではダビング速度が等速になります。

4 ↓で[開始]を選択して、決定ボタンを押す

- ダビングを開始します。
- 録画モードが[FINE/SP/LP/EP/ジャスト/MN](等速ダビング)のときは、テレビ画面にダビングしているタイトルが再生されます。ダビングが終了すると再生は停止します。

メモ

▼ ダビングリスト合計が赤色で表示されたときはダビングするタイトルの合計がDVD残量を越えています。下記のいずれかの操作を行ってください。
→ 録画モードを変更する。
→ 不要な映像を消去してDVD残量を増やすまたはディスクを交換する。
→ ダビングリストの不要な部分を消去する。
▼ タイトルの名前やチャプターマークも反映されます。
→ DVD-RW(VRモード)へ等速ダビングしたときは、多少チャプターマークの位置がずれます。
→ DVD-R/RW(ビデオモード)へダビングするときのタイトル名は、半角32文字(全角16文字)しかコピーされません。
→ DVD-R/RW(ビデオモード)へ等速ダビングしたときは、チャプターマークはコピーされず『オートチャプター(ビデオ)』(**P.129**)の設定に従ってチャプターマークが挿入されます。
▼ DVD-RW(VRモード)に高速ダビングすると[ディスクが一杯になりました。]と表示され、ダビングが完了しないことがあります。このときは、DVDの残量を増やす、またはダビングする映像の不要な部分を消去してからダビングしてください。

高速ダビングと等速ダビングについて

高速ダビングと等速ダビングの違いについては『*ダビングの速度について*』(**P.85**)をご覧ください。

録画モードの[高速]が選択できないとき

『*フレーム編集*』(**P.101**)が[**オン**]に設定されていて、チャプター分割などの編集が行われているときはDVD-R/RW(ビデオモード)に高速でダビングすることはできません。

録画モードで[ジャスト]を選択したとき

自動で録画レベルを変更して現在のDVD残量で入るようにダビングします。異なる録画モードで録画した複数のタイトルをダビングするときでも録画モードを一定にしてダビングします。

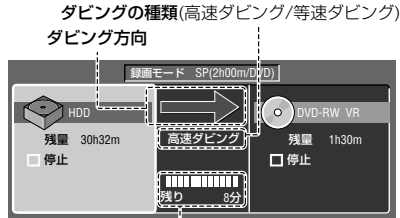
『マニュアル録画』(P.127)を[オン]に設定しているとき(録画モード[MN]を選択したき)

← →で[**録画レベル**]を設定することができます。

① 選択している録画モードでの12cm未使用ディスクのときの録画時間
② ダビングタイトルの合計よりDVD残量が少ないときは**赤色**で表示されます。

ダビング中の状態を確認する

1 画面表示ボタンを押す

例 高速ダビングのとき

ダビング実行残り時間の目安(高速ダビング中に録画、または再生を行うと、実際の実行は残り時間よりも長くなります。)

ダビングを中止する

1 ダビング中にワンタッチダビングボタンを1秒以上押す

ダビングを中止するとダビング先にタイトルはコピーされません(ダビング先のタイトルは消去されますが、ダビング元のタイトルは残ります)。DVD-R では残量が減り元には戻りません。

ダビングの制限について

HDDからDVD-R/RW(ビデオモード)にダビングするときの制限

▼『フレーム編集』(**P.101**)が[**オン**]に設定され、ダビングリスト内にチャプター分割などの編集を行ったタイトルが含まれているときは、DVD-R/RW(ビデオモード)に高速でダビングすることはできません。チャプター分割などの編集を行ったタイトルをDVD-R/RW(ビデオモード)に高速ダビングしたいときは『フレーム編集』を[**オフ**]にして、ダビングリストのタイトルの作成／編集を行ってください。

▼ DVD-R/RW(ビデオモード)に16:9(ワイド)の映像を等速でダビングすると映像が縦長に見えることがあります。そのときは、テレビ側の設定を変更してください。

「1回だけ録画可能」の映像を含むタイトルをダビングするときの制限

▼ DVDに録画した「1回だけ録画可能」の映像をHDDにダビングすることはできません。

▼ HDDに録画した「1回だけ録画可能」の映像を含むタイトルをDVDにダビングするときは、DVD-RW(VRモード) Ver.1.1 CPRM対応ディスクをお使いください。

▼「1回だけ録画可能」の映像を含むタイトルをHDDからDVDにダビングすると、そのタイトルはHDDから消去されます。このため、「1回だけ録画可能」の映像を含むタイトルが保護されているときはダビングが実行されません。

▼ HDDに録画した「1回だけ録画可能」の映像を含むタイトルをダビングリストに追加するときは、下記のような制限があります。

→『フレーム編集』(**P.101**)が[**オフ**]に設定されているときは、追加できません。

→ 1度追加した「1回だけ録画可能」の映像を含むHDDのタイトルを再度追加することはできません。

→ 再度「1回だけ録画可能」の映像を追加したいときは、HDDのタイトルから追加されたダビングリストのタイトルを削除すると再度追加することができます。

DVD-R/RWからHDDにダビングするときの制限

1つのタイトルで6時間を超えるダビングはできません。

『フレーム編集』(P.101)を[オフ]に設定したときの制限

『フレーム編集』を[**オフ**]に設定したときは、下記のダビングリストの編集操作が制限されます。

▼「1回だけ録画可能」の映像は追加できません。
「1回だけ録画可能」の映像を含むタイトルをダビングリストに追加しても、「1回だけ録画可能」の映像の部分は追加されません。

HDDに録画されているタイトル

ダビングリスト
映像1
映像2は追加されません。
映像3
2つのタイトルに分割されます。

「1回だけ録画可能」の映像をダビングするには、『フレーム編集』を[**オン**]に設定してダビングリストを作成した後に、DVD-RW(VRモード) Ver.1.1 CPRM対応ディスクにダビングしてください。

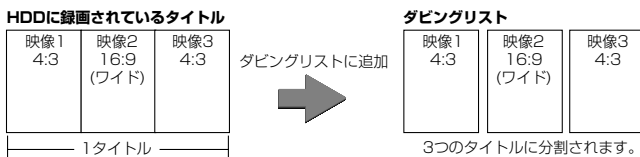
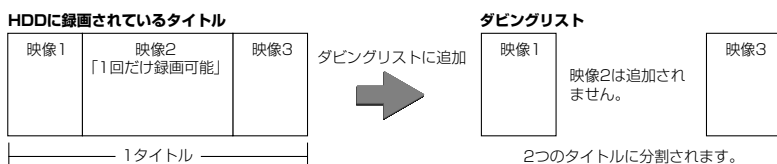
▼ チャプターマークの位置が約0.5秒単位に変更されて追加されます。また、チャプター分割が約0.5秒単位になります。

▼ 録画モードがLP、EP、またはMN1～18で録画した映像で縦横比が16：9(ワイド)の映像を含むタイトルをダビングリストに追加してもワイド映像の部分は追加されません。

▼ 1つのタイトル内に16：9(ワイド)と4：3の映像が混在しているタイトルをダビングリストに追加すると、映像の変化点でタイトルが分割されます。またこれらのタイトルをダビングリスト内で結合することはできません。

HDDに録画されているタイトル
映像1 4:3 | 映像2 16:9 (ワイド) | 映像3 4:3
1タイトル

ダビングリストに追加

ダビングリスト
映像1 4:3 | 映像2 16:9 (ワイド) | 映像3 4:3
3つのタイトルに分割されます。

メモ

▼「1回だけ録画可能」の番組を録画した部分の映像が再生されているときは、情報画面に[**！**]が表示されます。詳しくは『ディスクの情報を見る』(**P.145**)をご覧ください。

デジタルビデオカメラと接続して録画するときの注意

デジタルビデオカメラで撮影した映像をダビングして保存することができます。ダビングのしかたについては『本機からデジタルビデオカメラにダビングする』(**P.110**)および『デジタルビデオカメラから本機にダビングする(DV取り込み)』(**P.111**)をご覧ください。また、本機で編集した映像をデジタルビデオカメラなどへ出力することができます。オーディオ・ビデオケーブルで接続するときは『DVDレコーダー準備ガイド(接続/設定編)』(**P.21**)をご覧ください。

DV端子に接続するときのご注意

本機はi.LINK※を利用して、DV方式のデジタルビデオカメラと接続し、映像/音声の入出力を行うことができます。また本機のリモコンでデジタルビデオカメラを操作しながら、カメラからの映像を入力することもできます(DV取り込み)(**P.111**)。

デジタルビデオカメラとの映像の入出力、またはDV取り込みが正しく動作しないときは、『故障かな?と思ったら』(**P.157**)をご覧ください。画面表示については、『テレビ画面にこんな表示が出たときは』(**P.113**)をご覧ください。

※ i.LINKについて

- *i.LINKは、i.LINK端子を持つ機器間で、映像・音声・データ信号・コントロール信号を入出力し、他機のコントロールを行うことができる機能です。*
- *i.LINKはIEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様を示す呼称で、 はi.LINKに準拠した製品につけられるロゴです。*
- *i.LINK・ は商標です。*

接続機器について

▼ 本機のDV端子は、DVC-SD方式の信号のみを入出力できます。CSデジタルチューナー/BSデジタルチューナー、D-VHS方式ビデオカセットレコーダー、DVDプレーヤー、またはAVアンプなどとは信号の方式が異なるため、映像信号の入出力はできません。

▼ 本機と接続できるデジタルビデオカメラは1台のみです。また、他のi.LINK端子をもつ機器と同時に接続することはできません。

▼ デジタルビデオカメラによっては、信号の入出力や本機からの操作ができないことがあります。

▼ DV端子に接続している機器から本機を操作することはできません。

▼ 本機2台をDV端子で接続したとき、どちらか1台からもう1台を操作することはできません。

映像・音声・データの入出力について

▼ 日付/時刻の情報、またはカセットメモリの内容を本機で記録することはできません。

▼ HDDまたはDVDの再生時のみ、映像/音声を出力できます。テレビ番組、外部入力などの映像/音声を出力することはできません。

▼ 「1回だけ録画可能」、または「録画禁止」の映像/音声を出力することはできません。

▼ デジタルビデオカメラによっては、停止状態から再生を開始しても、映像・音声がしばらく本機から出力されないことがあります(最長10秒程度)。本機から映像が出力されるまでそのままお待ちください。

音声モードについて

▼ デジタルビデオカメラは一般に、下記の2つの音声モードがあります。

- 16bit (48kHz)
  高音質ですが、1つのステレオ音声しか扱えません。
- 12bit (32kHz)
  2つのステレオ音声(ステレオ1/ステレオ2)を扱えます。一般に、ステレオ1には録画したときの音声、ステレオ2にはアフレコ音声が記録されます。本機に12bitの音声を入力したときに記録できる音声は、以下のいずれか1つとなります。
- ステレオ1
- ステレオ2
- Mix(ステレオ1　75%)
- Mix(ステレオ1　50%)
- Mix(ステレオ1　25%)

▼ 本機から出力される音声モードは16bitのみです。

▼ 本機では、44.1kHzの入力音声は扱えません。

DV取り込みについて

▼ DV取り込み中に下記のような状態になると異常な映像が記録されることがあります。

- デジタルビデオカメラで無記録部分を再生したとき。
- 途中でDVケーブルを抜いたり、デジタルビデオカメラの電源をオフにしたとき。
- デジタルビデオカメラの再生を停止したとき。

デジタルビデオカメラと接続する

メモ

▼ DV 入出力端子に付いているカバーを取り外してから接続してください。
▼ 本機の DV 入出力端子は４ピンです。

本機からデジタルビデオカメラにダビングする

本機の再生映像をDV入出力端子に接続したデジタルビデオカメラに録画することができます。本機で再生を開始すると、接続したデジタルビデオカメラへ映像/音声が出力されます(DV入出力端子は外部出力端子として機能します)。

1 録画したい映像(ディスク)を本機で再生する

再生のしかたについては『*再生しましょう*』(**P.32-48**)をご覧ください。

2 デジタルビデオカメラの録画を開始する

デジタルビデオカメラの詳しい操作については、デジタルビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

メモ

▼ 本機が録画中または予約録画待機中は映像 / 音声が出力されません。

デジタルビデオカメラから本機にダビングする(DV取り込み)

本機のDV入出力端子に接続したデジタルビデオカメラの再生映像を録画することができます。デジタルビデオカメラにテープが入っていて、モードがビデオ(テープ)になっているときにDV取り込みを行うことができます。

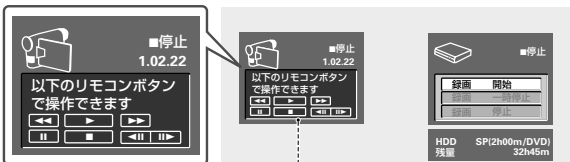
1 記録する音声を選択する

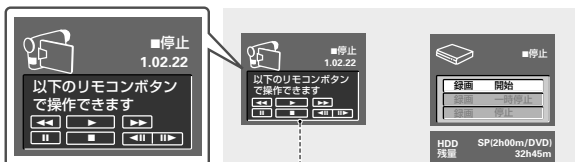
- 『*DV入力音声*』(**P.124**)の設定で[ステレオ1]、[ステレオ2]、[Mix(ステレオ1 75%)]、[Mix(ステレオ1 50%)]、[Mix(ステレオ1 25%)]のいずれかを選択します(12 bit [32 kHz]音声入力時のみ有効)。
- 二カ国語放送の番組を録画するときは『*外部音声*』(**P.124**)を**[二カ国語]**に設定します。また、『*二カ国語時記録音声*』(**P.124**)で録画する音声を選択します。ただし『*外部音声*』(**P.124**)の設定に関わらず、その設定が反映されないことがあります。

2 ホームメニューから[DV取り込み]を選択して、決定ボタンを押す

下記の画面が表示されます。

3 取り込み先(HDDまたはDVD)を選択して、決定ボタンを押す

DV取り込み画面(下記)が表示されます。

DV取り込み画面では、本機のリモコンのボタンをデジタルビデオカメラの操作に使用します。上記のボタンを使用することができます。

5 本機のリモコンでデジタルビデオカメラを操作して、録画を開始する場面を選択する

DV取り込み画面では、本機のリモコンのボタンをデジタルビデオカメラの操作に使用します。上記のボタンを使用することができます。

6 [録画　開始]を選択して、決定ボタンを押す

- DV取り込みを開始します。デジタルビデオカメラは再生を、本機は録画を自動的に開始します。
- DV入出力端子に接続したデジタルビデオカメラの映像を録画したときは、テープの日付/時刻情報が変わった場所に自動でチャプターが入ります(HDDおよびDVD-RW(VRモード)に記録したとき)。ただし1回の録画時間が2秒以下の部分にはチャプターが入らないことがあります。

DV取り込みを終了するには

[録画　停止]を選択して、決定ボタンを押す

本機の録画およびデジタルビデオカメラの再生が停止します。録画が終了すると、カーソルが**[録画　開始]**に移動します。

DV取り込みを一時停止するには

[録画　一時停止]を選択して、決定ボタンを押す

本機の録画およびデジタルビデオカメラの再生が一時停止します。カーソルが**[録画　開始]**に移動します。

DV取り込み画面を終了するには

ホームメニューボタンまたは戻るボタンを押す

DV取り込み中(録画中)に終了することはできません。録画を停止してから終了してください。

本機のリモコンでデジタルビデオカメラを操作できないとき

→ DV取り込み中(録画中)に操作することはできません。なお、録画を一時停止、または停止すると再度操作することができます。

メモ

▼ 撮影モードの映像を録画するときは、本機からデジタルビデオカメラを操作することはできません。『*ビデオから本機にダビングする(外部入力端子に接続した映像を録画する)*』(**P.29**)の手順で操作してください。

▼ DV取り込み中、デジタルビデオカメラ側で映像の無記録/録画禁止部分が再生されると、本機の録画は一時停止します。無記録/録画禁止部分をすぎると、録画を再開します。ただし、無記録部分の再生が10秒以上続いたときは録画を停止します。デジタルビデオカメラの種類によっては停止しないこともあります。

▼ DV取り込み画面でデジタルビデオカメラの映像を本機で録画するときに、デジタルビデオカメラが停止した状態から録画を開始すると、はじめの部分が録画されなかったり、録画が開始されないことがあります。映像・音声をはじめから録画するために、デジタルビデオカメラを再生一時停止にしてから録画を開始してください。

テレビ画面にこんな表示が出たときは

DV カメラが接続されていません。

→ デジタルビデオカメラが接続されていない、またはデジタルビデオカメラの電源がオフのとき表示されます。

複数の DV カメラは同時に接続できません。

→ 本機のDV端子に、デジタルビデオカメラが２台以上接続されているとき表示されます。本機のDV端子は、１台のデジタルビデオカメラの接続にのみ対応しています。

DV カメラにテープが入っていません。

→ デジタルビデオカメラにテープが入っていないとき表示されます。

DVカメラが撮影モードもしくは録画一時停止状態になっています。

→ デジタルビデオカメラが撮影モード、または録画一時停止中のとき表示されます。

DV カメラが録画状態です。

→ デジタルビデオカメラが録画中のときに表示されます。DV 取り込みするときは、デジタルビデオカメラの録画を一度停止してください。

DV カメラを操作できませんでした。

→ デジタルビデオカメラが動作しなかったときに表示されます。

DV カメラを操作できません。

→ デジタルビデオカメラが本機から操作できない状態のとき表示されます。デジタルビデオカメラの電源を入れ直すなどしてください。

DV カメラの再生が中断しました。
録画を一時停止します。

→ デジタルビデオカメラが早送り / 早戻しや一時停止などの特殊再生状態になったときに表示されます。このとき録画が一時停止します。

テープの記録部分が終了したので録画を停止しました。

→ デジタルビデオカメラから送られてくる映像が無信号になると録画が一時停止ます。さらに10秒間無信号状態が続いて録画が停止したときに表示されます。

DV カメラの再生が停止したので録画を停止しました。

→ デジタルビデオカメラの再生が停止したときまたは接続が切断されたときに表示されます。

設定項目一覧

※1 *HDD管理情報に不具合が生じたときのみ表示されます。*

本体設定画面を表示するには

ホームメニューから[**本体設定**]を選択して、**決定ボタン**を押します。

再生中などに設定できない項目

変更できない項目はテレビ画面に灰色で表示されます。また、本機の状態によって選択できる項目が異なります。

※ 無操作のまま、設定画面を約20分表示させたままにしておくと自動的に終了します。すでに**決定ボタン**を押して設定した項目は有効になります。

設定画面でよく使うボタン

何をする？	これを押す！
ホームメニューを表示する	ホームメニュー
項目を選択するまたはカーソルを移動する	
項目を決定する	決定
1つ前の画面に戻る	戻る

本体設定画面(下部)について

① 簡単な操作および選択している項目の内容説明
② HDDおよびDVDの動作状態
③ 本体設定画面で主に使うリモコンのボタン

本機では、画面表示にNECのフォント「FontAvenue※2」を使用しています。

※2 *FontAvenueはNECの登録商標です。*

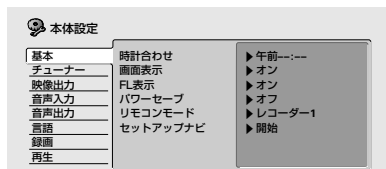
基本的な設定を変更したいとき(本体設定「基本」)

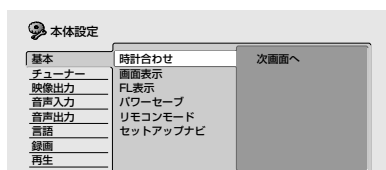
時計合わせ

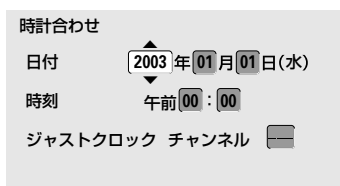
❶ ホームメニューから[本体設定]を選択して、決定ボタンを押す

本体設定の画面(下記)が表示されます。

本体設定

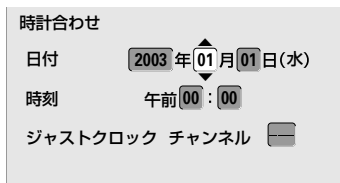
基本	時計合わせ	▶午前--:--
チューナー	画面表示	▶オン
映像出力	FL表示	▶オン
音声入力	パワーセーブ	▶オフ
音声出力	リモコンモード	▶レコーダー1
言語	セットアップナビ	▶開始
録画		
再生		

❷ [基本]を選択して、カーソルを右へ移動する

[時計合わせ]を選択します。

❸ [次画面へ]を選択して、決定ボタンを押す

[日付]および[時刻]の入力画面が表示されます。

❹ ↑ ↓で[年]を設定する

押すたびに数字が切り換わります。

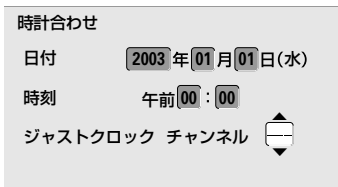
❺ →を押す

カーソルが次の項目([月])に移動します。

❻ 4~ 5を繰り返して[日付]および[時刻]を設定する

7 [分]を設定後、[ジャストクロックチャンネル]を選択する

時計合わせ

日付　2003 年 01 月 01 日(水)

時刻　午前 00 : 00

ジャストクロック チャンネル ---

8 ↑ ↓でNHK教育チャンネルを選択して、決定ボタンを押す

- NHK 教育チャンネルを選んだときに画面に表示されるチャンネル(表示チャンネル)を入力します。
- 時計が動作します。
- [－－－]を選択したときはジャストクロック機能が働きません。

ジャストクロックとは

NHK教育チャンネルの時報に合わせて時刻を自動的に修正する機能です。本機の電源がオフのとき放送局の正午の時報に合わせて時刻を修正します。ただし、下記のようなときは、ジャストクロック機能が働きません。

- 時報が放送されないとき。
- 時報が放送されるときに本機の電源がオンのとき。
- 時報と本機の現在時刻が3分以上ずれているとき。
- 時報のバックに別の音声が流れているとき。
- 時報の前後数分間に録画が予約されているとき。
- オートスタート録画機能がオンになっているとき。

画面表示

テレビ画面に操作表示(**[再生]** **[停止]**など)をする/しないを設定します。

オン(お買い上げ時の設定)

操作表示をします。

オフ

操作表示をしません。

FL 表示

電源がオフのときに本体表示窓を表示する/しないを設定します。

オン(お買い上げ時の設定)

表示します(時計を表示します)。

オフ

表示しません([AUTO]インジケーターと[⏻]インジケーターを除く。)

パワーセーブ

オン

省電力します。BS-IFアンテナ出力端子に他機器を接続しているときは**[オフ]**に設定してください。

オフ

お買い上げ時の設定です。

セットアップナビ

[開始]を選択するとセットアップナビを開始します。

詳しくは『*DVDレコーダー準備ガイド(接続/設定編)*』(別冊)(**P.23**)をご覧ください。

リモコンモード

複数のパイオニア製DVDレコーダーをお使いのときに本機とリモコンを対応させて他のDVDレコーダーが誤動作をしないようにします。

レコーダー 1(お買い上げ時の設定)

リモコンモードを1に設定したリモコンと対応します。この設定にした場合、本体表示窓に[1]は表示されません。

レコーダー 2

リモコンモードを2に設定したリモコンと対応します。本体表示窓に[2]と表示されます。

レコーダー 3

リモコンモードを3に設定したリモコンと対応します。本体表示窓に[3]と表示されます。

メモ

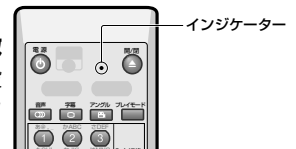
▼ リモコンモードを設定するときは必ず本体から設定してください。

▼ 本体でリモコンモードを設定したときは本体に合わせて必ずリモコンも設定してください。リモコンの設定については『*リモコンのリモコンモードを設定する*』をご覧ください。

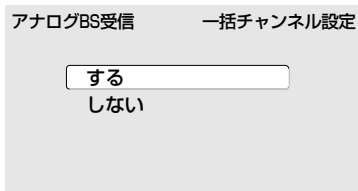
リモコンのリモコンモードを設定する

リモコンモードを[2]に設定する

戻るボタンを押しながら、数字ボタンの2を3秒以上押す

- 設定が完了するとインジケーターが点灯します(ボタンから指を離すとインジケーターは消えます)。
- [1]に設定したいときは**数字ボタン**の **1** を、[3]に設定したいときは**数字ボタン**の **3** を押します。

一括チャンネル設定

VHF/UHFの放送局の受信チャンネルおよびGコードシステムで使用するガイドチャンネルを設定します。一括チャンネル設定で合わせることができなかったチャンネルや追加/変更したいチャンネルの設定については『*個別チャンネル設定*』(**P.119**)をご覧ください。

❶ [チューナー]→[自動チャンネル設定]→[一括チャンネル設定]を選択して、決定ボタンを押す

❷ BS 放送を受信するときは[する]、しないときは[しない]を選択して、決定ボタンを押す

地域名、およびコードの入力画面が表示されます。

❸ ←→で地域名を選択して、決定ボタンを押す

一括チャンネル設定結果画面(下記)が表示されます(結果画面が表示されるまでに数秒かかります)。新聞の番組表などで確認してください。

本体設定

一括チャンネル設定結果

表示	受信	ガイド	表示	受信	ガイド
1	1	80	9	46	46
2	14	14	10	10	10
3	3	90	11	38	38
4	4	4	12	12	12
5	16	16			
6	6	6	BS 5	BS 5	73
7	42	42	BS 7	BS 7	74
8	8	8	BS11	BS11	76

❹ 決定ボタンを押す

一括チャンネル設定結果画面が終了します。

コードを入力して地域を選択するには

各地域のコードについては『*DVDレコーダー準備ガイド(接続/設定編)*』(**P.37**)をご覧ください。

例 *三島・沼津の地域コード"070"を入力する*

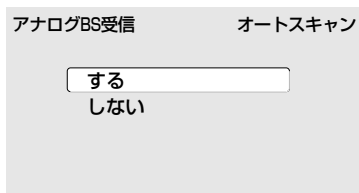
① ↓で[コード]を選択して、数字ボタンを0、7、0と押す

② 決定ボタンを押す

一括チャンネル設定結果画面が表示されます。

オートスキャンで設定する

各チャンネルが受信している放送局を自動的に選局します。『*一括チャンネル設定*』(**P.117**)で適切なVHF/UHFの放送局の受信チャンネルが設定されなかったとき、マンションなどの共同アンテナで放送局を受信しているとき、またはCATV(ケーブルテレビ)の放送局をアンテナで受信しているときに行います。

❶ [チューナー]→[自動チャンネル設定]→[オートスキャン]を選択して、決定ボタンを押す

❷ BS放送を受信するときは[する]、しないときは[しない]を選択して、決定ボタンを押す

- オートスキャンが開始されます。
- 途中で中止するときは**決定ボタン**を押します。
- オートスキャンが完了するとチャンネル設定結果画面が表示されます(完了するまでに数分かかります)。

❸ チャンネル設定結果画面で設定を確認する

前 ⏮/ 次 ⏭ ボタンでページを切り換えることができます。

本体設定

チャンネル設定結果 1/4

CH	スキップ	CH	スキップ	CH	スキップ	CH	スキップ
1	しない	9	する	17	する	25	する
2	しない	10	しない	18	する	26	する
3	しない	11	する	19	する	27	する
4	しない	12	しない	20	する	28	する
5	する	13	する	21	する	29	する
6	しない	14	する	22	する	30	する
7	する	15	する	23	する	31	する
8	しない	16	しない	24	する	32	する

❹ 決定ボタンを押す

チャンネル設定結果画面が終了します。

メモ

▼ オートスキャン実行後、さらにチャンネル追加/変更したいときは『*個別チャンネル設定*』(**P.119**)をご覧ください。

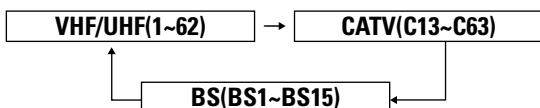
▼ **オートスキャン実行後は『*時計合わせ*』(P.115)の[ジャストクロックチャンネル]の設定も必ず行ってください。**

個別チャンネル設定

ケーブルテレビ(CATV)などのチャンネルを追加したり設定されたチャンネルを変更したいときに設定します。

1 [チューナー]→[個別チャンネル設定]→[次画面へ]を選択して、決定ボタンを押す

2 チャンネル(＋ / ー)ボタンを押す

- 押すたびに[表示チャンネル]が下記のように切り換わります。

- 表示チャンネルは**スマートジョグ**または**数字(0～9)ボタン**でも切り換えることができます。

例 表示チャンネル 5ch を選択したとき

3 ←　→で[スキップ]を[しない]に設定する

[する]を選択すると**チャンネル(＋/ー)ボタン**またはスマートジョグでチャンネルを切り換えたときにチャンネル(例では5ch)がとばされます。

4 ↓で[受信チャンネル]を選択する

5 ←　→で割り当てたい受信チャンネルを設定する

- 受信されているチャンネルの映像がテレビ画面に表示されます。
- **[表示チャンネル]**をC13～C63(CATV)とBS1～BS15(BS)に設定したときは、受信チャンネルを変更することができません。

6 ↓で[自動微調整]を選択する

表示チャンネルとは

本体表示窓またはテレビ画面に表示されるチャンネルです。チャンネル切り換えまたはタイマー予約をするときのチャンネル選択に使用します。

受信チャンネルとは

放送局からの電波を受信するためのチャンネルです。
ただし、すべてのチャンネルを受信することはできません。地域または電波の強弱によって受信できる放送局の数に制限があります。

WOWOW 放送を見たいときは

[表示チャンネル]で**[BS5]**を選択して、**[BS デコーダ設定]**(下記)を**[外部固定]**に設定してください。

- **[外部固定]**、または**[自動]**を選択すると、入力3/BSデコーダ端子はWOWOWデコーダ専用に設定されます。そのため、本体の**スマートジョグ**、リモコンの**チャンネル(＋ / ー)ボタン**、または**入力切換ボタン**で、**[外部入力３(L3)]**を選択することができなくなります。

7 ← →で[オフ]/[オン]を選択する

- 映像の映りが悪いとき[オフ]に設定してください。映りに問題がないときは10に進んでください。
- [オン]に設定したときは、本機が自動で最適な調整をします(チャンネルの切り換えに少し時間がかかることがあります)。
- [表示チャンネル]をBS1～BS15(BS)に設定したときは、[自動微調整]の項目が表示されません。

8 ↓で[レベル]を選択する

9 ← →で映像の映りが良くなるレベルに調整する

10 さらに他のチャンネルを設定するときは2～9を繰り返す

11 決定ボタンを押す

個別チャンネル設定が終了します。

メモ

- ▼ チャンネルを追加/変更したときは『*ガイドチャンネル設定*』(**P.122**)も行ってください。
- ▼ BSまたはCATVでは受信チャンネルがそのまま表示チャンネルとなります。
- ▼ 表示チャンネル1～62には受信チャンネル1～62を自由に割り当てることができます。
- ▼ NHK教育チャンネルの表示チャンネルを変更したときは『*時計合わせ*』(**P.115**)の[**ジャストクロックチャンネル**]の設定も行ってください。

WOWOWデコーダーと接続する

『*DVDレコーダー準備ガイド(接続/設定編)*』(**P.11**)をご覧ください。

BSアンテナ電源

本機とBSアンテナを接続したときに設定します。BSアンテナとの接続については『*DVDレコーダー準備ガイド(接続/設定編)*』(**P.10**)をご覧ください。

オン

本機とBSアンテナを直接接続したときに設定します。常に本機からBSアンテナに電源が供給されます。

オフ(お買い上げ時の設定)

本機とBSアンテナを接続していない、またはマンションなどの共同受信システムと接続したときに設定します。

連動

本機とBSアンテナを直接接続したときに設定します。下記のいずれかの条件を満たしているときのみBSアンテナに電源が供給されます。

- 本機の電源がオンで、さらに本機でBSチャンネルを選択しているとき。
- テレビから本機の**BS-IFアンテナ出力端子**にBSアンテナの電源が供給されているとき。

BSアンテナ合わせ

開始

BSアンテナ合わせ画面が表示されます。

[開始]を選択したとき

入力レベルが高くなるようにアンテナの角度を合わせます。MAXの値は、アンテナ合わせ中の入力レベルの最大値を保持します。角度微調整の際は、入力レベルがなるべく高くなるように調整してください。

表示チャンネルを変更するには

テレビ画面に表示される表示チャンネルは、個別チャンネル設定を使って変更することができます。

例　*表示チャンネルを 11ch → 38ch に変更するとき*

1 [チューナー]→[個別チャンネル設定]→[次画面へ]を選択して、決定ボタンを押す

個別チャンネル設定画面になります。

2 チャンネル(＋/－)ボタンを押して、変更したいチャンネル(*例: 11ch*)を選択する

[受信チャンネル]の番号を紙にメモするなどして覚えておいてください。

3 ← →で[スキップ]を[する]に設定する

変更したいチャンネル(*例: 11ch*)が表示されなくなります。

4 チャンネル(＋/－)ボタンを押して、チャンネル表示させたいチャンネル(*例: 38ch*)を選択する

5 ← →で[スキップ]を[しない]に設定する

6 2で覚えておいた受信チャンネルを[受信チャンネル]に設定する

チャンネル表示させたいチャンネルが表示(*例: 38ch*)できるようになります。

7 決定ボタンを押す

個別チャンネル設定が終了します。

不要なチャンネルを削除するには

チャンネル(＋/－)ボタンでチャンネルを切り換えるときに不要なチャンネルを飛ばすことができます。
左記の手順 **1 → 2 → 3 → 7** の操作で設定してください。

メモ

▼ チャンネルを変更したときは、『*ガイドチャンネル設定*』**(P.122)**も行ってください。

ガイドチャンネル設定

Gコード予約で録画するときはこのガイドチャンネルの設定が必要です。

『個別チャンネル設定』(**P.119**)でチャンネルを追加/変更したときや『オートスキャンで設定する』(**P.118**)でチャンネルを設定したときなどに『DVDレコーダー準備ガイド(接続/設定編)』の『地域別ガイドチャンネル一覧』(**P.36**)をご覧になり事前にガイドチャンネルを設定しておくことができます。

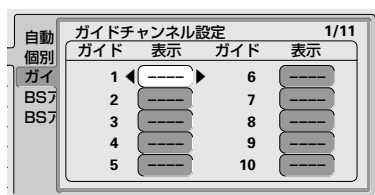
例 NHK総合を設定する(表示チャンネル=1の場合)

ガイドチャンネルとは

Gコードシステムでの予約録画に使用するチャンネルです。放送局ごとに指定されています。

1 [チューナー]→[ガイドチャンネル設定]→[次画面へ]を選択して、決定ボタンを押す

『DVDレコーダー準備ガイド(接続/設定編)』の『地域別ガイドチャンネル一覧』(**P.36**)で設定したい放送局(例: NHK総合)のガイドチャンネル(1～106)(例: 80)をあらかじめ確認してから手順**2**へ進んでください。

ガイド	表示	ガイド	表示
1	----	6	----
2	----	7	----
3	----	8	----
4	----	9	----
5	----	10	----

2 前 |◀◀/次 ▶▶| ボタンを押す(例: 次 ▶▶| ボタンを7回押す)

- [ガイド]欄に設定したいガイドチャンネル(例: 80)が表示されている画面を選択します。
- ガイドチャンネル68～70は使用できないため、表示されません。

3 ↑ ↓で設定したいガイドチャンネルの[表示]欄を選択する(↓を9回押して、[ガイド80]の[表示]欄を選択する)

4 ← →で[表示]チャンネルを設定する(例: →を1回押して、[1]に設定する)

5 さらに他のチャンネルを設定するときは、2～4を繰り返す

6 決定ボタンを押す

映像出力の設定を変更したいとき(本体設定「映像出力」)

コンポーネント出力

D1/D2映像端子に出力される映像の出力方式を設定します。

インターレース(お買い上げ時の設定)
プログレッシブ映像信号に対応していないテレビまたはプロジェクターのときに選択します。

プログレッシブ
プログレッシブ映像信号に対応しているテレビまたはプロジェクターのときに選択します。

MEMO
メモ

- ▼ プログレッシブ映像信号に対応していないテレビと接続しているとき[**プログレッシブ**]に設定すると映像が映らなくなります。このようなときは、本体の**一時停止 ıı ボタン**を押しながら**HDD/DVD ボタン**を押してください。[**インターレース**]に切り換えることができます。
- ▼ [**プログレッシブ**]に設定しているとき、映像が不自然に見えることがあります。このときは『*画質設定*』(**P.140**)の[**ピュアシネマ**]の設定を切り換えてください。
- ▼ **本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について**
  現在一部のプログレッシブ対応テレビは本機と完全な互換性が取れていないため、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は本機の出力をインターレースに切り換えてください。また、当社のプログレッシブ対応テレビと本機との互換性についてご質問のある場合は当社のカスタマーサポートセンターへお問い合わせください(裏表紙)。

本機と互換が取れている当社のプログレッシブテレビ
(2003年6月現在)

PDP-502HD
PDP-503PRO
PDP-503HD
PDP-433HD-U
PDP-433HD-S
PDP-A503HD
PDP-A433HD-U
PDP-A433HD-S
PDL-30HD

S映像出力

S映像端子から出力される映像信号を切り換えます。

S1
16:9の映像がテレビに送られたとき、テレビの画面が自動でフルモードに切り換わります。

S2(お買い上げ時の設定)
S1の機能に加えて、4:3レターボックスの映像がテレビに送られたとき、テレビの画面が自動でズームモードに切り換わります。

メモ

- ▼ 本機とテレビをS映像端子で接続しているとき、映像を横方向に引き伸ばしてしまうことがあります。このようなときは[S1]を選択してください。

音声入力の設定を変更したいとき(本体設定「音声入力」)

外部音声

本機に接続した外部入力機器から入力される音声を選択します。

ステレオ(お買い上げ時の設定)
左右のスピーカーから音声を出力します。
二カ国語
主音声 / 副音声を切り換えて出力することができます。

メモ

▼ 外部機器から二カ国語放送などの二重音声(主音声 / 副音声)の入った映像を録画するときは、必ず**[二カ国語]**を選択してください。**[ステレオ]**を選択していると再生したときに2つの音声(主音声/副音声)が重なって聞こえます。
▼ この設定を**[二カ国語]**に設定して外部機器(入力1～3)からの映像を録画するとき、『*二カ国語時記録音声*』の設定が必要な場合があります。詳しくは下記をご覧ください。
DV 入力時はこの設定が反映されないことがあります(DVR-610H のみ)。

二カ国語時記録音声

二カ国語放送を録画するときの音声を選択します。

▼ **下記のときは二カ国語の主音声と副音声を同時に記録することはできません。下記の設定で記録する音声をあらかじめ選択してください。選択した音声のみが記録されるため、再生中に音声を切り換えることはできません。**
→ HDD を選択しているとき
→ DVD-RW(VRモード)がセットされていて、録画モードを FINE または MN32 に設定しているとき
→ ファイナライズ前のDVD-R/RW(ビデオモード)がセットされているとき

主音声(お買い上げ時の設定)
主音声のみが記録されます。
副音声
副音声のみが記録されます。

DV 入力音声(DVR-610H のみ)

本機にデジタルビデオカメラの映像を取り込むときの音声を選択します。ステレオ 1 とステレオ 2 の比率を設定します。

ステレオ 1(お買い上げ時の設定)
ステレオ 2
Mix (ステレオ 1　75%)
Mix (ステレオ 1　50%)
Mix (ステレオ 1　25%)

メモ

▼ デジタルビデオカメラの音声がサンプリング周波数 32kHz、量子化 12bit のときに働く機能です。DV の音声モードについては『*音声モードについて*』(**P.109**)をご覧ください。
▼ 接続した機器によっては音声を切り換えるときにノイズが発生することがあります。

入力 1 音声レベル
入力 2 音声レベル
入力 3 音声レベル

外部入力端子に接続した機器から入力される音声レベルを調整します。
入力 1/ オートスタート録画端子、入力 2 端子(本体前面部)、および入力 3/BS デコーダ端子の入力音声レベルを**− 6dB ～+ 6dB(3dB ごと)**の範囲で調整することができます。ただし、受信しているテレビ番組から入力される音声のレベルを調整することはできません。
お買い上げ時は 0dB に設定されています。

音声出力の設定を変更したいとき(本体設定「音声出力」)

デジタル出力

本体背面部のデジタル音声出力から音声を出力する/しないを設定します。

オン(お買い上げ時の設定)

本体後面のデジタル出力端子から音声を出力します。

オフ

本体後面のデジタル出力端子から音声を出力しません。また、その他の音声出力の設定がすべて設定できなくなります。

Dolby Digital 出力

デジタル接続しているAVアンプがドルビーデジタル音声に対応していないときは[Dolby Digital → PCM]に選択します。ドルビーデジタル信号をリニアPCM信号に変換して出力します。

Dolby Digital(お買い上げ時の設定)

ドルビーデジタル対応アンプ、またはデコーダと接続したときに選択します。

Dolby Digital → PCM

ドルビーデジタル信号をリニアPCM信号に変換して出力します。ドルビーデジタルに対応していないアンプと接続したときに選択します。

DTS 出力

デジタル接続しているAVアンプがDTS音声に対応していないときは[オフ]を選択します。

オン(お買い上げ時の設定)

DTS対応アンプ、またはデコーダと接続したときに選択します。

オフ

DTSに対応していないアンプと接続したときに選択します。

メモ

- ▼ DTS に対応していないアンプに接続しているときに[オン]を選択すると異音が出ることがあります。スピーカーを破損したり耳に悪影響をおよぼす恐れがありますので、DTSに対応しないアンプに接続するときは必ず[オフ]に設定してください。
- ▼ DTS CDでは設定に関わらず常にDTS信号が出力されます。

96kHz PCM 出力

デジタル接続しているAVアンプまたはDACが96kHzリニアPCM音声に対応しているときは[96kHz]を選択します。

96kHz → 48kHz(お買い上げ時の設定)

96kHzの信号を48kHzに変換して出力します。96kHzに対応していないアンプと接続したときに選択します。

96kHz

96kHz対応アンプ、またはDACと接続したときに選択します。

メモ

- ▼ ディスクによっては[96kHz]を選択していても48kHzに強制的に変換されたり、デジタル出力されないことがあります。

MPEG 出力

デジタル接続しているAVアンプまたはデコーダーがMPEG音声に対応しているときは[MPEG]を選択します。

MPEG

MPEGの音声対応アンプまたはデコーダと接続したときに選択します。

MPEG → PCM(お買い上げ時の設定)

MPEG音声信号をリニアPCM信号に変換して出力します。MPEG音声に対応していないアンプと接続したときに選択します。

言語の設定を変更したいとき(本体設定「言語」)

音声言語

DVD ビデオの音声言語を変更します。

日本語(お買い上げ時の設定)

音声言語が日本語になります。

英語

音声言語が英語になります。

その他

136 言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは『*[その他]を選択したとき*』をご覧ください。

字幕言語

DVD ビデオの字幕言語を変更します。

日本語(お買い上げ時の設定)

字幕言語が日本語になります。

英語

字幕言語が英語になります。

その他

136 言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは『*[その他]を選択したとき*』をご覧ください。

自動言語設定

DVD ビデオの音声や字幕を自動で選択します。

オン(お買い上げ時の設定)

『*音声言語*』と『*字幕言語*』で選択されている言語が同じで、さらに『*字幕表示*』が[オン]のとき有効となります。両方とも日本語を選択したとき、一般の洋画DVDビデオでは、音声がオリジナル言語、字幕が日本語に選択されます。また、邦画 DVD ビデオでは、音声が日本語、字幕がオフになります(このように動作しないディスクもあります)。

オフ

音声が『*音声言語*』、字幕が『*字幕言語*』で選択されている言語になります。

DVD メニュー言語

DVD ビデオのディスクメニューに表示する言語を変更します。

字幕言語に連動(お買い上げ時の設定)

『*字幕言語*』で選択されている言語でメニュー画面が表示されます。

日本語

日本語でメニュー画面が表示されます。

英語

英語でメニュー画面が表示されます。

その他

136 言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは『*[その他]を選択したとき*』をご覧ください。

字幕表示

DVD ビデオの字幕を表示する / しないを設定します。

オン(お買い上げ時の設定)

字幕を表示します。

オフ

字幕を表示しません。ただし、DVD ビデオの中には強制的に字幕を表示するディスクもあります。

アシスト字幕

アシスト字幕を表示します。ただし、アシスト字幕がディスクに収録されていないときは表示されません(アシスト字幕とは、耳の不自由な方のために場面の状況などを説明する字幕です)。

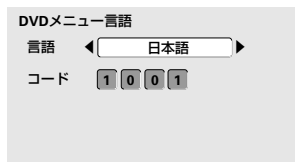
音声 / 字幕言語について

- 『*自動言語設定*』の設定によっては設定通りの音声 / 字幕言語になりません。
- ディスクによってはあらかじめ決められている言語になることがあります。
- 音声/字幕の言語をディスクメニューで選択するディスクもあります。このときは、リモコンの**プレイリスト/メニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから言語を選択してください(**P.34**)。

[その他]を選択したとき

『*言語コード表*』(**P.154**)を見ながら操作します。DVD ビデオに収録されていない言語を設定したときは収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

例 *DVD メニュー言語でフランス語を選択する*

① [その他]を選択して、決定ボタンを押す

② ← →で言語(フランス語)を選択して、決定ボタンを押す

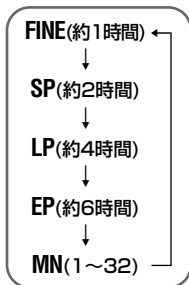
[番号]を入力するときは、**数字ボタン**の **0、6、1、8** を押して、**決定ボタン**を押す。入力を間違えたときは ← →でカーソルを移動して、再度数字を入力してください。

録画の設定を変更したいとき(本体設定「録画」)

マニュアル録画

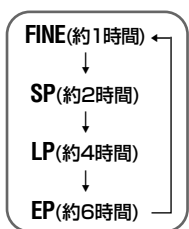
録画レベルをより細かく設定します。4つの録画モード(FINE/SP/LP/EP)よりも細かく録画レベルを選択することができます。

オン

- 32 段階の録画レベルからお好みの録画モード([MN])を選択することができるようになります。
- 録画レベルの設定については右記をご覧ください。
- **録画モードボタン**を押すと録画モードが下記のように切り換わります([MN]の録画レベルは『*マニュアル録画*』で設定されたレベルになります)。
- [MN]を選択していて↑ ↓が表示されているときに↑ ↓を操作すると録画レベルを変更することができます。

※ 録画時間は12cm片面(4.7GB)のディスクを使用したときの目安です。実際の録画時間は録画する映像によって異なります。

オフ(お買い上げ時の設定)

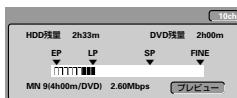
マニュアル録画が[オフ]に設定されているときの録画モード

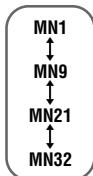
録画モードボタンを押すと下記のように切り換わります。

※ 録画時間は12cm片面(4.7GB)のディスクを使用したときの目安です。実際の録画時間は録画する映像によって異なります。

[MN]の録画レベルを設定するには

録画レベルと録画時間の関係および録画レベルに関する注意事項については『*録画レベルと録画時間について*』(**P.128**)と **P.128** の**メモ**をご覧ください。

① **[オン(設定画面へ)]を選択して、決定ボタンを押す**

レベル設定画面(下記)が表示されます。

② **← →でレベルを設定する**

前⏮/次⏭ボタンを押すたびに録画レベルを下記のように切り換えることができます。

③ **↓で[プレビュー]を選択して、決定ボタンを押す**

映像が表示され画質を確認することができます。画質を確認しないときは⑤に進んでください。

④ **決定ボタンを押す**

レベル設定画面に戻ります。

⑤ **決定ボタンを押す**

- [MN]の録画レベルが確定されます。
- 本体設定画面に戻ります。

MEMO
メモ

▼ 録画モード(FINE/SP/LP/EP)をMNに置き換えると録画レベルは下記のようになります。
FINE＝MN32
SP＝MN21
LP＝MN9
EP＝MN1

録画レベルと録画時間について

DVD-RW(VR)			HDD / DVD-R / DVD-RW(Video)	
録画レベル	録画時間		録画レベル	録画時間
MN1	360分	EP	MN1	360分
MN2	345分		MN2	345分
MN3	330分		MN3	330分
MN4	315分		MN4	315分
MN5	300分		MN5	300分
MN6	285分		MN6	285分
MN7	270分		MN7	270分
MN8	255分		MN8	255分
MN9	240分	LP	MN9	240分
MN10	230分		MN10	230分
MN11	220分		MN11	220分
MN12	210分		MN12	210分
MN13	200分		MN13	200分
MN14	190分		MN14	190分
MN15	180分		MN15	180分
MN16	170分		MN16	170分
MN17	160分		MN17	160分
MN18	150分		MN18	150分
MN19	140分		MN19	140分
MN20	130分		MN20	130分
MN21	120分	SP	MN21	120分
MN22	110分		MN22	110分
MN23	105分		MN23	105分
MN24	100分		MN24	100分
MN25	95分		MN25	95分
MN26	90分		MN26	90分
MN27	85分		MN27	85分
MN28	80分		MN28	80分
MN29	75分		MN29	75分
MN30	70分		MN30	70分
MN31	65分		MN31	65分
MN32	61分	FINE	MN32	61分

録画時間は 12cm 片面未使用ディスクの場合の目安です。

メモ

- ▼ 画質が大きく変わる録画レベルの境界を太線で示しています。
- ▼ DVD-R/RW(ビデオモード)とDVD-RW(VRモード)では、画質が大きく変わる録画レベルが異なります。
- ▼ 数値が大きいほど高画質で録画することができます。数値が小さいほど長時間録画することができます。
- ▼ FINE または MN32 に設定すると音声がリニア PCM で記録されます。FINE または MN32 以外に設定したときは音声がドルビーデジタルで記録されます。
- ▼ VBR(可変ビットレート)制御※で録画されるため、映像によって録画時間が変わります。録画時間は目安としてお考えください。
- ▼ 録画する映像の画質が悪いとき(受信状態の悪いテレビ放送など)は左表よりも録画時間が短くなることがあります。
- ▼ 録画されている時間と残量の合計が左表の値と一致しないことがあります。
- ▼ 正確な録画時間は録画が終了しないとわかりません。
- ▼ オリジナルでの編集を多く行ったDVDはディスク全体の録画可能時間が減ることがあります。
- ▼ 静止画のような映像または音声のみを録画し続けたときは、設定している録画レベルの録画時間よりも実際の録画時間が長くなることがあります。

※ *Variable Bit Rate 制御の略で、動きの早い部分や色の移り変わりの激しいところなどの複雑な映像には符号量を多く割り当て、逆の場合には少なく割り当てるというようにビットレート(一定時間に転送する符号量)を可変で制御することです。いつも同じ符号量を割り当てるCBR(Constant Bit Rate)制御に比べ、同じ時間の映像を同じ容量を使って録画した場合、飛躍的に画質が向上します。*

ジャスト録画

DVD残量が不足していると予約している番組をすべて録画できないことがあります。[オン]に設定すると録画を開始する前に自動で録画レベルを変更します。録画レベルを変更することによって予約している番組をできるだけ長く録画することができます。

オン

ジャスト録画機能が働きます。

オフ(お買い上げ時の設定)

ジャスト録画機能が働きません。

MEMO
メモ

- ジャスト録画はHDDに録画するときは働きません。
- ジャスト録画は予約しているすべての番組を録画する機能ではありません。予約録画を開始するとき、設定されている録画レベルで録画しきれない場合に働きます。
- タイマー予約録画のときのみ働きます。
- 録画レベルがEP/MN1でも残量が不足しているときはHDDに録画します(『*おたすけ録画について*』**P.26**)。
- 録画レベルは予測に基づいて余裕をもって設定されますので若干のDVD残量が発生します。そのため、ジャスト録画が働いたあとでも次に予約されている番組が録画されることがあります。

ナビマーク

ディスクナビに表示する映像の取り込み位置を変更します。

0秒(お買い上げ時の設定)

録画を開始したときの映像をディスクナビに表示します。

30秒

録画を開始してから30秒後の映像をディスクナビに表示します。

3分

録画を開始してから3分後の映像をディスクナビに表示します。

MEMO
メモ

- タイトルの長さがナビマークの設定時間より短いときは録画を開始したときの映像(**[0秒]**)がディスクナビに表示されます。
- ディスクナビの映像をお好みの位置に変更したいときは『*[ナビ画面]をお好みの場面に変更するには*』(**P.35**)をご覧ください。

オートチャプター(HDD/VR)

HDDまたはDVD-RW(VRモード)にチャプターを自動で挿入する/しないを設定します。

オン(お買い上げ時の設定)

HDDまたはDVD-RW(VRモード)に録画するときに音声方式(二カ国語/ステレオ/モノラル)の切り換わりに連動してチャプターマークが挿入されます。

オフ

HDDまたはDVD-RW(VRモード)に録画するときに音声方式に連動してチャプターマークが挿入されません。

オートチャプター(ビデオ)

DVD-R/RW(ビデオモード)に録画したときに自動的にチャプターマークを挿入する間隔を設定します。

区切りなし

チャプターマークを挿入しません。

10分(お買い上げ時の設定)

約10分ごとにチャプターマークを挿入します。

15分

約15分ごとにチャプターマークを挿入します。

MEMO
メモ

- チャプターマークが挿入される時間は目安です。設定した時間と多少ずれることがあります。
- **[区切りなし]**に設定したときは、再生中のチャプタースキップまたはチャプターサーチなどを行うことはできません。
- DVD-RW(VRモード)のように、後からチャプターマークを挿入または消去することはできません。

フレーム編集

DVDにダビングするためにHDDのタイトルを集めて作成するダビングリストの編集モードを設定します。HDDのオリジナルの編集には影響ありません。詳しくは『*ダビングリストの編集モードを設定する(フレーム編集)*』(**P.101**)をご覧ください。

DVD-RW自動初期化

未使用のDVD-RWをセットしたときに自動的に初期化するモードを設定します。ただし、Ver.1.0のDVD-RWをビデオモードで使用することはできません。

VRモード(お買い上げ時の設定)

VRモードで初期化します。

ビデオモード

ビデオモードで初期化します。

再生の設定を変更したいとき(本体設定「再生」)

テレビ画面サイズ

お使いのテレビに合わせてテレビ画面の縦横比を設定します。

4:3(レターボックス)(お買い上げ時の設定)

従来サイズのテレビと接続して、16:9の映像をレターボックス方式(下記)で見たいときに選択します。レターボックス方式での視聴が禁止されているディスクでは、この設定を選択していてもパンスキャン方式で出力されます。

4:3(パンスキャン)

従来サイズのテレビと接続して16:9の映像をパンスキャン方式(下記)で見たいときに選択します。パンスキャン方式での視聴が禁止されているディスクでは、この設定を選択していてもレターボックス方式で出力されます。

16:9

ワイド(16:9)テレビと接続したときに選択します。

メモ

▼『テレビ画面サイズ』が自動的に切り換わるディスクがあります。

▼ 外部入力から録画したDVD-RW(VRモード)の映像を再生したとき『テレビ画面サイズ』で設定した通りの見え方で視聴できないことがあります。このときは、テレビ側で見え方を変更してください。

▼ HDDでは、4:3(パンスキャン)に設定していても、録画モードがEP/LPまたは録画レベルがMN1～18で録画された映像は4:3(レターボックス)で出力されます。

▼ DVD-RW(VRモード)では、4:3(パンスキャン)に設定していても、録画モードがEP/LPまたは録画レベルがMN1～20で録画された映像は4:3(レターボックス)で出力されます。

お使いのテレビに合わせた[テレビ画面]の設定

お使いのテレビに合わせて、下記のように本機の『テレビ画面サイズ』の設定をしてください。

お使いのテレビが従来サイズのとき		お使いのテレビが16:9のテレビ		
本機の設定	映像の見えかた	本機の設定	テレビの設定	映像の見えかた
4:3 (レターボックス)	16:9の映像 4:3の映像	16:9	フル	16:9の映像
4:3 (パンスキャン)	16:9の映像 4:3の映像		ノーマル	4:3の映像

テレビ画面サイズの設定が切り換わらないとき

下記のようなときはテレビ画面サイズの設定が切り換わりません。

- 縦横比変換を禁止しているDVDビデオがあります。ディスクジャケットなどで確認してください(一般のDVDビデオでは、16:9(ワイド)または4:3(レターボックス)での視聴がほとんどです)。
- アスペクト信号(ID-1)が入っていない縦長の映像を外部入力(L1～L3)から録画したときは切り換わりません。外部入力端子に接続している機器側で4:3の正常な映像を出力させて録画してください。
- DVD-R/RW(ビデオモード)で16:9(ワイド)の映像を録画したときは切り換わりません。

ポーズモード

HDD/DVD を一時停止しているときの映像の状態を切り換えます。

フィールド

映像のブレをなくします。

フレーム

映像はブレることがありますが、鮮明な映像を見ることができます。

自動(お買い上げ時の設定)

再生しているディスクに合わせて**[フィールド]**と**[フレーム]**を自動的に切り換えます。

メモ

- ディスクによっては**[フィールド]**を選択しても**[フレーム]**を選択しているときと同様の映像になることがあります。

フレームサーチ

タイムサーチにおいてフレーム単位でサーチする/しないを設定します。

オン

フレーム単位でサーチすることができます(フレームサーチ)。また、再生一時停止中ディスク情報を表示したときにフレーム番号が表示されます(『*ディスクの情報を見る*』**P.145**)。

オフ(お買い上げ時の設定)

フレームサーチをしません。

メモ

- この機能はビデオ CD 再生中には働きません。

シームレス再生

オン

編集作業などでできた映像のつなぎ目を滑らかに再生します。ただし、映像のつなぎ目が多少ずれることがあります。

オフ(お買い上げ時の設定)

映像のつなぎ目で一瞬再生が一時停止したように見えますが、映像のつなぎ目がずれません。

メモ

- 編集内容によってはシームレス再生しないことがあります。

アングルマーク表示

アングルマーク( )を表示する / しないを設定します。

オン(お買い上げ時の設定)

テレビ画面に マークを表示します。

オフ

テレビ画面に マークを表示しません。

視聴制限

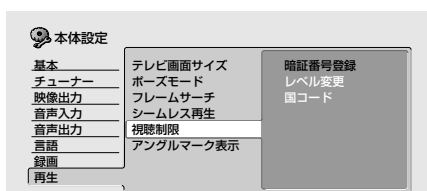
暴力シーンなどを含むDVDビデオには、視聴制限のレベルを設けたものがあります(ディスクのジャケットなどの表示で確認できます)。本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。例えば、本機のレベルを6に設定しておくと、レベル7のディスクを再生することはできません。レベル7のディスクを再生するにはあらかじめレベルを7以上に設定しておく必要があります。

暗証番号を登録する

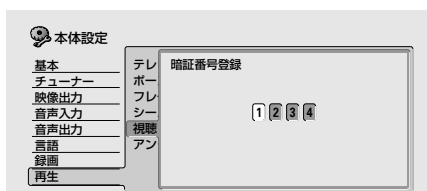
1 [再生]→[視聴制限]→[暗証番号登録]を選択して、決定ボタンを押す

2 数字(0～9)ボタンで4桁の暗証番号を入力して、決定ボタンを押す

メモ

- ▼ 暗証番号はメモしておくことをおすすめします。
- ▼ 暗証番号を忘れてしまったときはお買い上げ時の設定に戻して再度暗証番号を登録してください。お買い上げ時の設定に戻すときは『*すべての設定をお買い上げ時の状態に戻す*』(**P.143**)をご覧ください。
- ▼ 視聴制限されたシーンのみを飛ばして再生するディスクもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

視聴制限されたDVDビデオを再生するには

視聴制限されたディスクを再生すると暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。このとき暗証番号を入力すると、本機のレベルを変更しないで再生することができます。

数字(0～9)ボタンで4桁の暗証番号を入力して、決定ボタンを押す

暗証番号を変更するには

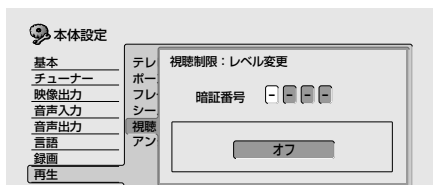
① [暗証番号変更]を選択して、決定ボタンを押す

② 数字(0～9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定ボタンを押す

③ 数字(0～9)ボタンで新しい暗証番号を入力して、決定ボタンを押す

レベルを変更する

❶ [再生]→[視聴制限]→[レベル変更]を選択して、決定ボタンを押す

- レベル変更画面が表示されます。
- お買い上げ時は**[オフ]**に設定されています。

❷ 数字(0～9)ボタンで4桁の暗証番号を入力して、決定ボタンを押す

レベルにカーソルが移動します。

❸ ← →でレベルを選択して、決定ボタンを押す

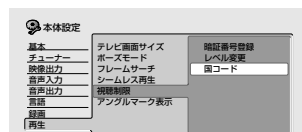
視聴制限のレベルが設定されます。

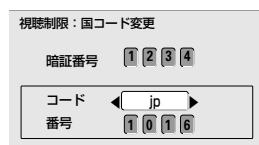
国コードを変更する

視聴制限は国ごとに異なる規制レベルにしたがって働く機能です。国コードを変更することで希望する国の規制レベルに変更することができます。

『*国コード表*』(**P.154**)のを見ながら操作します。なお、国コードを変更したときはディスクを一度取り出してください。再度ディスクをセットすると変更が有効になります。

例 *日本(jp/1016)を選ぶ*

① [国コード]を選択して、決定ボタンを押す

② 数字(0～9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定ボタンを押す

③ ← →で[jp]を選択して、決定ボタンを押す

[番号]を入力して変更するときは下記のいずれかの操作をします。

- **数字ボタン**の **1**、**0**、**1**、**6** を押す。
- ← →で桁を移動します

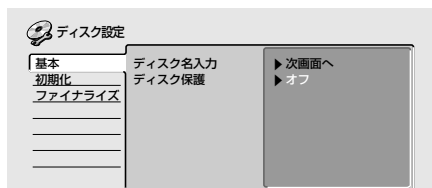
ディスクに名前を付ける(ディスク名入力)

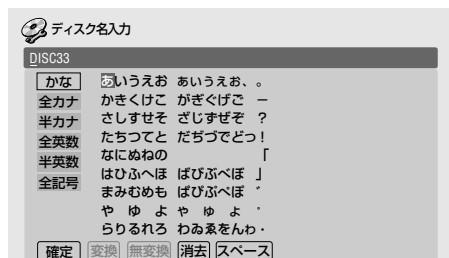
1 ホームメニューボタンを押す

ホームメニューが表示されます。

例 *DVR-610Hのホームメニュー*

2 [ディスク設定]を選択して、決定ボタンを押す

ディスク設定画面が表示されます。

3 [基本]→[ディスク名入力]→[次画面へ]を選択して、決定ボタンを押す

- ディスク名入力画面(下記)が表示されます。
- 文字入力のしかたについては『*録画した映像に名前を付ける(タイトル名入力)*』(**P.70**)をご覧ください。

ディスク名入力に関する注意

- ディスク名に全角文字(かな、漢字、全角記号)を使用したときは、全角文字表示に対応していない他のDVDプレーヤー、またはDVDレコーダーではディスク名が正しく表示されません。
- ディスク名に全角文字(かな、漢字、全角記号)を使用したDVD-R/RW(ビデオモード)を全角文字表示に対応してない他のDVDレコーダーでファイナライズすると、全角文字が正しく表示されないディスクが作成されます。このディスクは、本機でも正しく全角文字表示ができなくなります。十分ご注意ください。
- DVD-RW(VRモード)で入力できるディスク名の文字数は、半角64文字(全角32文字)、DVD-R/RW(ビデオモード)で入力できるディスク名の文字数は、半角32文字(全角16文字)です。
- DVD-RWを初期化したときまたは未使用のDVD-Rに録画したときは自動的にディスク名がつきます。ディスク名は[DISC＊＊]と付けられ、＊＊には1～99の数字が順番に入ります。

ディスク保護

DVD-RW(VR モード)のみ保護することができます。

オン

ディスクを保護します。録画/編集などができなくなります。

オフ

ディスク保護を解除します。再度、録画/編集ができるようになります。

メモ

▼『*ディスク保護*』が**[オン]**に設定されていても初期化することができます。初期化するときは十分にご注意ください。

ファイナライズ

他のDVDプレーヤー、DVDレコーダー、またはDVDビデオ対応パソコンなどで再生するときに行います。詳しくは『*本機で録画したディスクを他のDVDプレーヤーで再生できるようにする(ファイナライズ)*』(**P.30**)をご覧ください。

DVD-RW を初期化する(初期化)

DVD-RW を初期化します 。ただし、Ver.1.0 の DVD-RW をビデオモードで初期化することはできません。大切な内容を消去しないように中身を確認してから行ってください。初期化はディスク保護が設定されているディスクでも記録されているすべての内容を消去します。

VR モードで初期化するには

1 [初期化]→[VR モード]→[開始]と選択して、決定ボタンを押す

VR モードで初期化が開始されます。

ビデオモードで初期化するには

1 [初期化]→[ビデオモード]→[開始]と選択して、決定ボタンを押す

ビデオモードで初期化が開始されます。

DVD-RW をいつもビデオモードで使用するときは

DVD-RWをいつもビデオモードで使用する(未使用のDVD-RW Ver.1.1をいつもビデオモードで自動初期化したい)ときは『*DVD-RW 自動初期化*』(**P.129**)を**[ビデオモード]**に設定してください。

HDDを初期化する(HDD初期化)

HDDの管理情報に不具合が生じたときのみHDDの初期化を行うことができます。通常は[HDD初期化]は表示されません。テレビ画面に[HDDの情報が正しくありません。ディスク設定からHDD初期化を行ってください。]と表示されたときのみ選択することができます。

❶ [HDD初期化]→[初期化開始]→[開始]と選択して、決定ボタンを押す

メモ

▼ この操作を行うと、保護されているタイトルを含め、すべての録画内容が消去されます。

テレビ番組や他機器から入力される映像の画質を調整する(ピクチャークリエイション)

受信しているテレビ番組の映像や接続している他機器(レーザーディスクやビデオなど)から入力される映像をお好みの画質に調整することができます。**チャンネル(＋/－)ボタン**または**入力切換ボタン**で入力を切り換えることができます。画質はテレビ番組(本機内蔵チューナー)と外部入力(L1/L2/L3/DV※)でそれぞれ個別に記憶することができます。この設定は一部の項目を除き録画した映像にも反映されます。

※ DVR-610Hのみ

1 停止中にホームメニューから[画質/音質設定]を選択して、決定ボタンを押す

画質 / 音質設定画面(下記)が表示されます。

2 [画質設定]を選択して、決定ボタンを押す

画質設定画面が表示されます。

3 ← →で画質を選択する

[チューナー]、[ビデオ]、または[レーザーディスク]を表示中に**画面表示ボタン**を押すと設定値を確認することができます。再度押すと画質設定画面に戻ります。

チューナー(本機内蔵チューナーのお買い上げ時の設定)
テレビ番組を録画するときに選択します。

ビデオ
ビデオからの映像を録画するときに選択します。

レーザーディスク(L1/L2/L3/DV※のお買い上げ時の設定)
映像信号処理を抑えた設定です。レーザーディスクなどの映像を録画するときに選択します。(*※ DVR-610Hのみ*)

メモリー 1/2/3
項目ごとに調整した画質を記憶することができます。調整方法については、『*メモリー1/2/3を選択したとき*』(**P.138**)をご覧ください。

4 ホームメニューボタンを押す

画質設定画面が終了します。

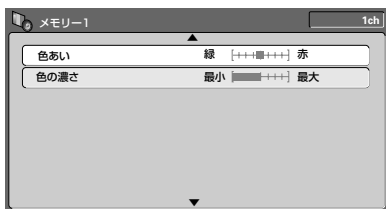
メモリー 1/2/3を選択したとき

1 画質設定画面を表示する

P.137 の 1 ～ 2 を行う

2 ↓で[詳細設定]を選択して、決定ボタンを押す

1 ページ目

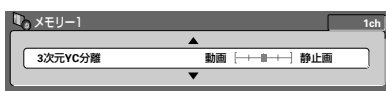
2 ページ目

3 ↑ ↓で項目を選択して、← → で項目を調整/選択する

決定ボタンを押すと、画質を確認しながら調整できます。再度押すと、詳細設定画面に戻ります。

4 ホームメニューボタンを押す

画質設定画面が終了します。

メモ

▼ DV 入出力端子から入力された映像は、VNR およびディテールのみ調整することができます(DVR-610H のみ)。

設定項目について

3 次元 YC 分離
入力信号の3次元YC分離の設定を動画向き、または静止画向きに調整します。

VNR
入力信号の輝度信号と色信号のノイズを軽減します。

ディテール
入力信号の画像の輪郭を強調します。

白 AGC
白AGCを[オン]にすると、入力信号の輝度レベルが高すぎるときに自動で最適なレベルに補正します。

白レベル
入力輝度信号の白色のレベルを調整します(白レベルの設定値は、白AGCが[オフ]のときのみ有効です)。

黒レベル
入力輝度信号の黒色のレベルを調整します。

黒セットアップ
入力輝度信号の黒浮きを補正します。通常は[0 IRE]を選択しますが、入力信号の黒色が浮いているようなときは[7.5 IRE]を選択します。

色あい
入力色信号の緑色と赤色のバランスを調整します。

色の濃さ
入力色信号の色の濃さを調整します。

再生する映像の画質を調整する

お使いのテレビに合わせて再生する映像の画質をお好みに調整することができます。

1 再生中にホームメニューから[画質/音質設定]を選択して、決定ボタンを押す

画質 / 音質設定画面(下記)が表示されます。

2 [画質設定]を選択して、決定ボタンを押す

画質設定画面(下記)が表示されます。

3 ← →で画質を選択する

[テレビ(CRT)]、[PDP]、または[プロフェッショナル]を表示中に**画面表示ボタン**を押すと設定値を確認することができます。再度押すと画質設定画面に戻ります。

テレビ(CRT)(お買い上げ時の設定)
普通のテレビと接続しているときに選択します。

PDP
プラズマディスプレイタイプのテレビと接続しているときに選択します。

プロフェッショナル
映像信号処理を抑えた設定です。プロ用モニターと接続しているときに選択します。

メモリー 1/2/3
項目ごとに調整した画質を記憶することができます。調整方法については『*メモリー 1/2/3 を選択したとき*』(**P.140**)をご覧ください。

4 ホームメニューボタンを押す

画質設定画面が終了します。

メモリー 1/2/3を選択したとき

❶ 画質設定画面を表示する

P.139 の **1** ～ **2** を行う

❷ ↓で[詳細設定]を選択して、決定ボタンを押す

1 ページ目

メモリー1

項目			
ピュアシネマ	自動1	自動2	オフ
YNR	オフ		最大
CNR	オフ		最大
QNR	オフ		最大
ディテール	オフ		最大
白レベル	最小		最大
黒レベル	最小		最大

2 ページ目

❸ ↑ ↓で項目を選択して、← →で項目を調整/選択する

決定ボタンを押すと画質を確認しながら調整できます。再度押すと詳細設定画面に戻ります。

❹ ホームメニューボタンを押す

画質設定画面が終了します。

ピュアシネマモードについて

DVD ビデオの映像信号には次の 2 種類があります。

- **「ビデオ素材」**といわれる映像情報を 30 コマ / 秒で記録した信号
- **「フィルム素材」**といわれる映像情報を 24 コマ / 秒で記録した信号

[ピュアシネマ]モードは、24 コマ / 秒で記録された**「フィルム素材」**の映像信号を、異なるコマが混じりあうことなく60コマ/秒のプログレッシブ映像信号に変換します。それにより原画に近い鮮明な映像を楽しむことができます。

この設定は通常**[自動]**でお楽しみください。ディスクによっては輪郭がギザギザになったり、ぶれて見えたりすることがありますが、そのようなときは設定を**[オン]**、または**[オフ]**に切り換えてください。

「フィルム素材」の映像が再生されているときは、ディスクの情報画面に**[#]**が表示されます(**P.146**⑥)。

ディスクの情報画面を表示するには**画面表示ボタン**を押します。詳しくは **P.145** をご覧ください。

また、**「ビデオ素材」**で**[オン]**を選択すると奇数フィールドと偶数フィールドを合成して、1 枚のフレーム情報としてプログレッシブ変換します。比較的動きの少ない**「ビデオ素材」**や 30p(プログレッシブ)記録された**「ビデオ素材」**に適しています。輪郭がギザギザになったり、ブレて見えたりする時は**[自動]**または**[オフ]**に切り換えてご覧ください。

各設定項目について

ピュアシネマ※1
プログレッシブスキャン回路の動作をフィルム素材の DVD 再生に最適な設定にします。通常は**[自動]**に設定しますが、映像が不自然なときは**[オン]**または**[オフ]**に設定します。『*ピュアシネマモードについて*』も合わせてご覧ください。

YNR※2
輝度(Y)信号のノイズを軽減します。

CNR※2
色(C)信号のノイズを軽減します。

QNR
ブロックノイズを軽減します。

ディテール
画像の輪郭を強調します。

白レベル
白色のレベルを調整します。

黒レベル
黒色のレベルを調整します。

黒セットアップ
出力輝度信号の黒浮き、黒沈みを補正します。通常は[0 IRE]を選択しますが、接続するテレビモニターとの組み合わせによって黒色が沈みすぎているときは[7.5 IRE]を選択します(『*ピクチャークリエイション*』(**P.137-138**)の黒セットアップとは逆の動作をします)。

色あい
緑色と赤色のバランスを調整します。

色の濃さ
色の濃さを調整します。

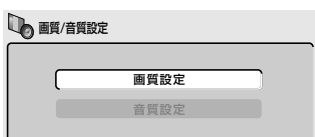
*※1 ピュアシネマは『コンポーネント出力』(**P.123**)を**[プログレッシブ]**に設定しているときのみ調整することができます。*

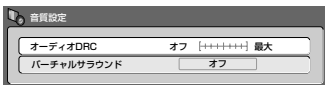
※2 YNR および CNR はプログレッシブ出力には効果がありません。

音声の強弱(ダイナミックレンジ)を調整する(オーディオ DRC)

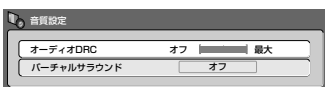
オーディオDRC(ダイナミックレンジコントロール)を切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。例えば、映画の台詞などが聞きづらいときや深夜に映画を見るようなときに変更します。オーディオ DRC は HDD と DVD のドルビーデジタル音声にのみ働きます。

1 再生中にホームメニューボタンから[画質 / 音質設定]を選択して、決定ボタンを押す

画質 / 音質設定画面(下記)が表示されます。

2 ↓で[音質設定]を選択して、決定ボタンを押す

音質設定画面が表示されます。

3 [オーディオDRC]を選択する

4 ← →で設定を変更する

例 *最大に設定したとき*

5 決定ボタンを押す

設定が確定されます。

メモ

- ディスクによっては効果の少ないものがあります。
- オーディオDRCはデジタル音声出力端子から出力される音声にも効果があります。ただし、『*デジタル出力*』(**P.125**)を**[オン]**に設定して、さらに『*Dolby Digital 出力*』(**P.125**)を[Dolby Digital → PCM]に設定してください。
- オーディオ DRC の効果は、お使いのスピーカーやテレビまたは AV アンプの音量設定などによっても変わります。実際に設定を切り換えながら、一番効果的な設定を選択してください。

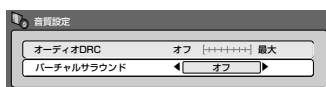
2つのスピーカーで臨場感のある立体音場(サラウンド)を再現する(バーチャルサラウンド)

1 再生中にホームメニューから[画質/音質設定]を選択して、決定ボタンを押す

画質 / 音質設定画面が(下記)表示されます。

2 ↓で[音質設定]を選択して、決定ボタンを押す

音質設定画面が表示されます。

3 ↑ ↓で[バーチャルサラウンド]を選択する

4 ← →で[オフ]または[TruSurround]を選択する

オフ(お買い上げ時の設定)
働きません。
TruSurround
立体音場(サラウンド) になります。

5 決定ボタンを押す

設定が確定されます。

SRS TruSurround *1 について

SRS TruSurroundは、SRS Labs,Inc.が開発した、2つのスピーカーでマルチチャンネルサラウンドを再生する、ドルビーラボラトリーズ社公認のバーチャルサラウンド技術です。Dolby Digitalのようなマルチチャンネル音場を、前方のステレオスピーカーだけで実現します。

*1 *TruSurround、SRSと(●)記号はSRS Labs,Inc.の商標です。TruSurround技術はSRS Labs,Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。*

メモ

- ▼ ディスクによってはサラウンド効果の少ないものがあります。
- ▼ 音楽CDの再生には効果がありません。
- ▼ DTS音声または96kHzリニアPCM音声には効果がありません。
- ▼ デジタル出力には効果がありません。

設定内容の変更を防止する(チャイルドロック)

チャイルドロックを設定するとボタン操作ができなくなります。ボタンを押すと本体表示窓に[LOCK]と表示されます。

1 電源がオフのときに本体の停止■ボタンを３秒以上押す

- チャイルドロックが設定されます。
- 本体表示窓に[LOCK]と表示されます。

チャイルドロックを解除するには

本体の停止■ボタンを３秒以上押す

- チャイルドロックが解除されます。
- 本体表示窓に[UNLOCK]と表示されます。

すべての設定をお買い上げ時の状態に戻す

1 本体の電源⏻ボタンを押す

- 電源をオンにします。
- ディスクがセットされているときは取り出してください。

2 本体の停止■ボタンを押しながら、電源⏻ボタンを押す

＋

- すべての設定(本体設定、ディスク設定、画質設定など)がお買い上げ時の状態に戻ります。
- 操作が完了すると本機は待機状態(スタンバイ状態)になります。
- 電源をオンにするとセットアップナビが表示されます。お使いの環境に合わせて再度設定してください。セットアップナビについては『*DVDレコーダー準備ガイド(接続／設定編)*』(**P.23-26**)をご覧ください。

メモ

- ▼ 記憶していたすべてのメモリー(『*ディスク一覧*』(P.144)など)も同時に消去されます。十分ご注意ください。
- ▼ 『*リモコンモード*』(P.116)も[1]に戻りますのでご注意ください。
- ▼ ダビングリストも消去されます。

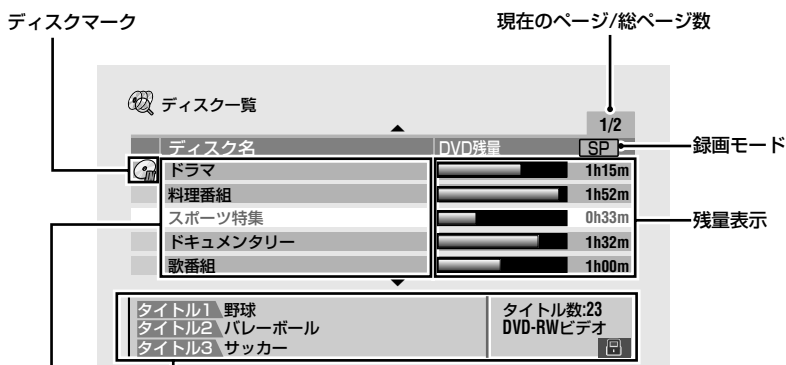
ディスク一覧

DVD-R DVD-RW

ディスク一覧機能は、ディスクをセットしなくても過去に読み込んだディスクの内容と残量を確認することができます。読み込んだディスクが一覧で表示されるので、空いているディスクを探すのに便利です。
ディスクの内容は、最大30枚まで記録することができます。30枚を超えると古いディスクの内容から削除されます。

ディスク一覧を表示する

1 ディスク一覧ボタンを押す

- ホームメニューから表示することもできます。『ホームメニューの使いかた』(**P.13**)をご覧ください。
- ディスク一覧が表示されます。一番最後にセットしたディスクから順に表示されます。

ディスク名

カーソルのあるディスクの情報
- タイトル1〜3のタイトル名
- タイトル数
- ディスクの種類(DVD-RWまたはDVD-R)
- 記録方式(VRまたはビデオ)
- ディスク保護(鍵マーク)
  (保護ディスクでないときは表示されません。)

ディスクを選択するには

↑ ↓で選択する

記憶されているディスク情報を消去するには

消去したいディスク名を選択して、クリアボタンを押す

現在セットされているディスクのディスク情報を消去することはできません。

ディスク一覧のページを切り換えるには

前 |◀◀/ 次 ▶▶| ボタンを押す

録画モードを切り換えるには

録画モードボタンを押す

記憶されているすべての残量を再計算して表示します。ただし、本体の録画モードは切り換わりません。

MEMO **メモ**

▼ 下記のような録画できないディスクはディスク名が灰色で表示されます。
- 残量のないディスク
- 保護されているディスク
- タイトルが99記録されているディスク
- チャプターが999記録されているディスク

▼ DVD-RWを初期化したときまたは未使用のDVD-Rに録画したときは自動的にディスク名が付きます。ディスク名は[DISC ＊＊]と付けられ、＊＊は1〜99の数字が順番に入ります。

▼ DVD-R/RW(ビデオモード)をファイナライズするとディスク一覧から削除されます。

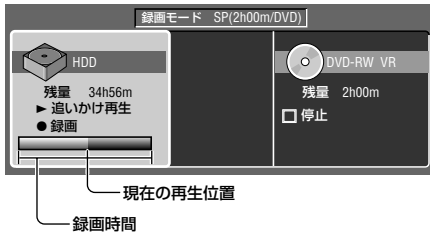
ディスクの情報を見る

HDD | DVD-R | DVD-RW | DVD-Video | Video CD | CD(R/RW) | WMA/MP3

- 表示される情報やディスク情報画面の数はディスクの種類や動作状態によって異なります。
- ディスク情報を表示させたままにしておくと約 150 分で自動的に表示は消えます。

1 画面表示ボタンを押す

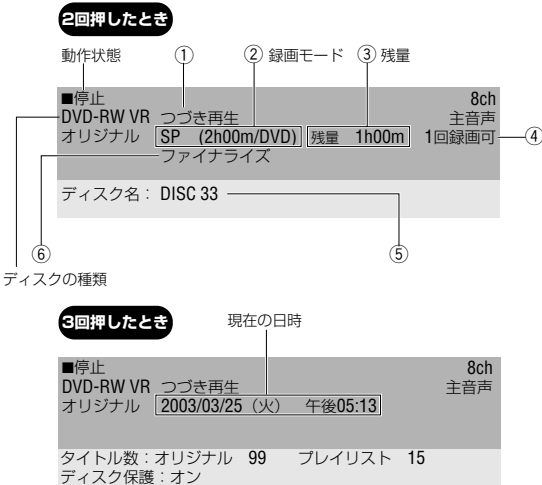
- 1 回押すとHDDとDVDの動作状態が同時に表示されます。

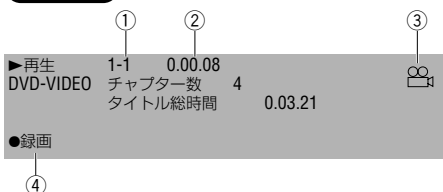
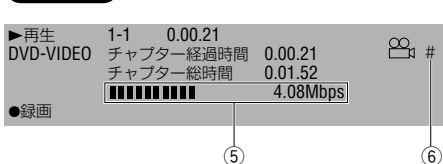
 追いかけ再生をしているとき

- 2 回押し以降は、現在操作しているディスクの詳しい情報が表示されます。等速ダビング中、同時録画再生中、および追いかけ再生中は再生中のディスク情報が表示されます。

録画や再生時の時間表示について

本機の録画 / 再生時間は、実際の録画/再生時間より0.1%程度短く表示されます。放送などの映像では、1秒当たり29.97フレームの映像が送られてきます。本機では、便宜上30フレームを1秒として計算しています。このため、約0.1%時間が短く表示されます。例えば、1時間録画を行うと実際に1時間分録画が行われます。しかし、本機の時間表示は

$$60(分) \times \frac{29.97}{30} = 59.94(分) = 59(分)56(秒)$$

となります。

① つづき再生機能が働いているときに表示されます。
② 目安として 12cm 未使用の DVD の場合の残量を表示します。
③ 停止中は本体設定で設定されている録画モードでの残量を表示します(録画中は現在録画している録画モードでの残量を表示します)。
④ コピーコントロール情報
「1 回だけ録画可能」または「録画禁止」の番組を受信中に表示されます。詳しくは『*コピーコントロール情報について*』(**P.152**)をご覧ください。
⑤ 音楽トラック以外の再生できるファイルが混在しているCDの停止中は**[混在ファイル：WMA/MP3 JPEG]**のようにファイルの種類が表示されます。
⑥ ファイナライズされているディスクのとき表示されます。

例 再生中

① **タイトル番号－チャプター番号**
ビデオCD /CDではトラック番号、WMA/MP3では フォルダー番号－トラック番号、JPEGではフォルダー番号－ファイル番号を表示します。

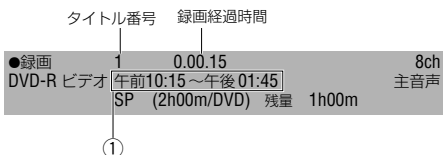
② **タイトル経過時間**
CD/WMA/MP3ではトラック経過時間、ビデオCDではディスク経過時間を表示します。

③ アングルを切り換えられる部分を再生中に表示されます。表示しないようにすることもできます。詳しくは『*アングルマーク表示*』(**P.131**)をご覧ください。『*DVDビデオの映像のアングルを切り換える(マルチアングル)*』(**P.48**)も合わせてご覧ください。

④ 高速ダビング中やディスクバックアップ中、HDDやDVD-RW(VRモード)の同時録画再生中または追いかけ再生中に録画の動作状態が表示されます。

⑤ 転送レート
HDDやDVDに記録されている映像 / 音声などの情報量(合計)を表示します。

⑥ 24コマ/秒で記録されたフィルム素材の映像を再生中に表示されます。
HDDまたはDVD-RW(VRモード)の「1回だけ録画可能」の番組を録画した部分の映像を再生中は[！]が表示されます。

例 録画中

① 録画開始時刻と録画終了時刻が表示されます(録画予約されているときのみ表示されます)。

使用できるディスクについて

DVD-R/DVD-RW について

▼ 本機で録画したDVD-RW(VRモード)は、RW COMPATIBLEの表記※1のあるDVD-RW対応プレーヤーで再生が可能です。DVD-RW対応プレーヤーには、ファイナライズ(**P.30**)しないと再生しないものもありますので、そのような場合はファイナライズを行ってください。DVD-RW(VRモード)では、本機でファイナライズしたあとも、通常通り、録画・編集操作を行うことができます。

▼ 本機で録画したDVD-R/RW(ビデオモード)は、ファイナライズ(**P.30**)することで、DVDプレーヤーやカーDVD、またはDVDビデオ対応のパソコンなどでの再生※2が可能になります。ただし一部のプレーヤーで再生しようとしたときに、以下のような動作を起こすことがあります。

→ ディスクを受け付けない。

→ 再生画面にマクロブロック(モザイク状の画像)が多く発生する。

→ 音声・映像が途切れる。

→ 再生が途中で停止する。

また、DVD-R/RW(ビデオモード)は、一度ファイナライズを行うと、新たな録画・編集の操作を行うことはできません(DVD-RWでは、ファイナライズ解除(**P.31**)すると、再度録画・編集できます)。

▼ 本機で録画したDVD-RW(VRモード・ビデオモードとも)は、初期化(**P.135**)することで繰り返し使用できます。ファイナライズ済のディスクも初期化することができます。

VRモードで録画したDVD-RWディスクが再生できる※3パイオニア製DVDプレーヤー、DVDレコーダー (2003年7月現在)

▼ **DVDプレーヤー**

DV-464S、DV-545、DV-555、DV-S646A*、DV-S737*、DV-S747A*、DV-S757A、DV-S838A*、DV-S858Ai、PDV-20*、PDV-LC20TV**

▼ **DVDシステム**

HTZ-500DV、HTZ-300DV、HTZ-1000DV、HTZ-1500DV、X-PR7DV、X-PR9DV

▼ **DVDレコーダー**

DVR-1000、DVR-2000*、DVR-7000、DVR-3000、DVR-55、DVR-77H、DVR-99H*

RW COMPATIBLE

※ *＊印のある機種は本機で録画した「1回だけ録画可能」番組は再生できません。*

ビデオモードで録画したDVD-R/RWディスクが再生できる※3パイオニア製品 (2003年7月現在)

▼ **DVDプレーヤー**

DV-343、DV-353-S、DV-353-N、DV-450、DV-464-S、DV-505*、DV-515*、DV-525*、DV-535*、DV-545、DV-555、DV-636D、DV-7*、DV-AX10、DV-F21*、DV-K102*、DV-K301C*、DV-K800*、DV-S10A、DV-S5*、DV-S646A、DV-S6D、DV-S737、DV-S747A、DV-757A、DV-S838A、DV-858Ai、DV-S9*、DV-U7、DVK-1000*、DVK-900*、DVL-9*、DVL-909*、DVL-919*、DVL-H9*、DVL-K88*、PDV-10*、PDV-10-SW*、PDV-20*、PDV-LC10*、PDV-LC20TV**

▼ **DVDシステム**

HTZ-500DV、HTZ-300DV、HTZ-1000DV、HTZ-1500DV、HTZ-303DV、HTZ-33DV、HTZ-55DV、HTZ-7*、HTZ-77DV、X-PR7DV、X-PR9DV、X-SV5DV-S、X-SV5DV-K、X-SV7DV*

▼ **DVDレコーダー**

DVR-1000、DVR-2000*、DVR-7000、DVR-3000、DVR-55、DVR-77H、DVR-99H*

▼ **カー用DVDプレーヤー**

AVH-P9DVA、AVX-P7DV、DVH-P007、DVH-P717、SDV-P7

▼ **カーナビゲーション**

AVIC-DR120、AVIC-DRV120K、AVIC-DRV150、AVIC-DRV150K、AVIC-H09、AVIC-H9、AVIC-H99、AVIC-XH9、AVIC-XH99、AVIC-XH09V、AVIC-ZH9MD

※ *＊印のある機種には、2時間を超える長時間モードで録画されたディスクを再生するためにはプレーヤーのソフトウェア書き換えが必要となるものがございます。該当機種をお持ちのお客様で、2時間を超える長時間モードで録画されたディスクを再生される場合は専用フリーダイアル0120-59-1069までお問い合わせ下さい。なお、2時間以内の録画モードで録画されたディスクの再生にはソフトウェア書き換えの必要はございません。*

MEMO メモ

▼ DVL-9、DV-7、DV-K800、DV-K1000、DV-F21にて再生することを前提に、本機でDVD-R/RWディスクに録画する場合は、FINE、SP、LPモード(MN32～7)をご使用ください。

▼ 正常に再生できないDVDプレーヤーの改修などについてはご容赦ください。

▼ 再生互換の詳細は、下記弊社ホームページをご覧いただくか、弊社カスタマーサポートセンター(裏表紙)にお問い合わせください。

http://www.pioneer.co.jp/dvdld/oshirase.html

使用できるディスクについて

※1 RW COMPATIBLE
これは、DVD レコーダーで VR モード(ビデオレコーディングフォーマット)記録された DVD-RW が再生できる機能を示します。本機で録画した DVD-RW は、この表記のある DVD プレーヤーで再生可能です。

※2 *DVD-R/RWへのビデオモード(ビデオフォーマット)による録画は、2000年にDVDフォーラムで承認された新しい規格であり、この規格への対応は DVD 再生機メーカー各社の任意です。そのため、DVD プレーヤーや DVD-ROM ドライブによっては DVD-R/RW を再生しないモデルがあります。*

※3 *ディスクの記録状態、傷、汚れや DVD 再生機のピックアップの状態、ご使用のディスクとプレーヤーの相性の問題により再生できない場合があります。*

録画 / 再生ができるディスクの種類

ディスクの種類	大きさ	再生 / 録画面	最大再生 / 録画時間
DVD-RW DVD RW DVD RW	12cm	片面 1 層 両面 1 層	最大約 360 分 (4.7GB) 最大約 720 分 (9.4GB)
DVD-R DVD R R4.7	8cm	片面 1 層	最大約 100 分 (1.46GB)

▼ **DVD-R/RW はホコリや指紋、特に傷などに敏感です。傷などが付くと録画できなくなったり、録画した大事なデータを再生できなくなったりする恐れがありますので、取り扱いには十分に注意し、大切に保管してください。**

▼ CD-R/CD-RW を本機で録音することはできません。

タイトルとチャプターについて

DVDではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています(DVDビデオにはどのタイトルにも属さないメニュー映像が記録されていることがあります)。

▼ **HDD(ハードディスク)/DVD-RW(VRモード)**

1回の録画が1タイトルとなります。録画の途中で一時停止をしたり、音声信号が切り換わったとき(オートチャプター(HDD/VR)が**[オン]**のときのみ)にチャプターマーク(区切り)が自動で入ります。また録画/再生中に、好みの場面にチャプターマークを入れることもできます(『*タイトルに区切りを入れる(チャプターマーク)*』**P.63**)。

▼ **DVDビデオ**

一般の映画ソフトなどでは、1つの映画が1タイトルとなり、複数のチャプターで構成されています。また、カラオケソフトのように1曲が1タイトルとなっているディスクもあります(ディスクによっては、このような区切りになっていないこともあります)。

▼ **DVD-R/RW(ビデオモード)**

1回の録画が1タイトルとなります。チャプターを区切る間隔は**[10分]**、**[15分]**、**[区切りなし]**から選択することができます(『*オートチャプター(ビデオ)*』**P.129**)。ただし、お好みの場面で区切ることはできません。

トラックについて

ビデオCD/CDでは、ディスクをトラックという単位で分けています(一般的には、1曲が1トラックに対応しています)。

WMA/MP3/JPEGについて

WMA/MP3ではディスクをフォルダーという単位で分け、さらにフォルダーをトラックという単位で分けています。JPEGではディスクをフォルダーという単位で分け、さらにフォルダーをファイルという単位で分けています。

WMA/MP3のフォルダー/トラックの名前やJPEGのフォルダー/ファイルの名前を表示することができます。表示できない文字(アラビア文字、ハングル文字など)で入力されているフォルダー/トラック/ファイルの名前は[F_01]、[T_001]、[f_001]のように表示されることがあります。

CD-R/CD-RWの再生について

▼ 本機は、音楽用のCDフォーマット、ビデオCDフォーマット、MP3/WMAの音楽データまたはJPEGの静止画像が記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。録音したレコーダーの記録特性やディスクの特性、ディスクの傷・汚れ、本機のピックアップのレンズ汚れ/結露などにより、再生できないことがあります。

▼ 音楽用のCDフォーマットはマルチセッションに対応していません。マルチセッションディスクのときは最初のセッションのみ再生します。

▼ ISO9660レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステムおよび拡張フォーマット(Joliet、Romeo)に準拠して記録したディスクを使用してください。パケットライト方式(UDF Ver1.5ファイルシステム)で記録したディスクは再生できません。

WMA の再生について

- ▼ 本機は、WMA(Windows Media Audio)8 形式に対応しております。
- ▼ WMA9 でエンコードされたファイルも再生可能ですが、WMA8 からの機能拡張部分(Pro · Lossless · Voice · 可変ビットレート(VBR))には対応していません。
- ▼ WMAデータはWindows Media Player Ver. 9、またはWindows Media Player for Windows XPを使用してエンコードすることができます。
- ▼ DRM コピープロテクト※4 のかかったファイルには対応していません。
- ▼ サンプリング周波数44.1kHzまたは48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは[このフォーマットは再生できません]と表示され、再生することができません。
- ▼ 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)またはロスレスエンコーディング(loss-less encoding)には対応していません。
- ▼「.wma」、または「.WMA」という拡張子がついた WMA ファイルのみ再生することができます。
- ▼ フォルダー名/トラック名のアルファベット順に99フォルダー/999トラックまで認識/再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー / トラックが認識 / 再生できないことがあります。
- ▼ WMAファイルは、米国Microsoft Corporationの認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると正常に動作しないことがあります。

※ **4** *DRM コピープロテクト*
DRM(Digital Rights Management)コピープロテクトは著作権保護のための技術で、無許可の複製を防止するため録音時に使用したPCなどの機器以外での再生を制限する等の機能です。詳しくは、録音に使用した機器・アプリケーションの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。

MP3 の再生について

- ▼ MPEG1 オーディオレイヤー３のサンプリング周波数 44.1kHz または 48kHz で記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは[このフォーマットは再生できません]と表示され、再生することができません。
- ▼ 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)には対応していません(再生できるときは、本体表示窓の時間表示が速くなったり遅くなったりします)。
- ▼「.mp3」または「.MP3」という拡張子がついた MP3 ファイルのみ再生することができます。
- ▼ フォルダー名/トラック名のアルファベット順に99フォルダー/999トラックまで認識/再生することができます。ただし、フォルダーの構成によってはすべてのフォルダー / トラックが認識 / 再生できないことがあります。
- ▼ 音質的には記録ビットレート 128kbps を推奨します。

JPEG の再生について

- ▼ JPEG とは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。
- ▼ 本機では、フジカラー CD、コダックピクチャー CD、または CD-R/CD-RW/CD-ROM に記録されている JPEG ファイルを再生することができます(記録方法などによって再生できないこともあります)。
- ▼ 縦の解像度が 120 〜 3840 ピクセル、横の解像度が 160 〜 5120 ピクセルのベースライン JPEG ファイル、および Exif 2.2※5(『用語解説』**P.155**)に準拠した JPEG ファイルの静止画再生に対応しています。
- ▼「.jpg」、「.JPG」、「.jif」、「.JIF」、「.jfif」、「.JFIF」、「.JPEG」または「.jpeg」という拡張子がついた JPEG ファイルの静止画像を表示することができます。
- ▼ 一度に読み込むデータはフォルダー名 / ファイル名のアルファベット順に 99 フォルダー /999 ファイルまで認識 / 再生することができます(再読込機能によって、ディスク内のすべてのフォルダーおよびファイルを再生することができます)。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー / ファイルが認識 / 再生できないことがあります。
- ▼ ファイルサイズが大きいファイルは画像の再生に時間がかかることがあります。

※ **5** *デジタルスチルカメラ用画像ファイルフォーマット規格(Exif)Ver2.2、JEIDA-49-1998*
(社)電子情報技術産業協会 JEITA

録画するときに知っておきたいこと

DVDの記録方式

DVD-RWでは、下記の2種類の記録方式を選択することができます。DVD-Rの記録方式はビデオモードのみとなります。

ビデオモード

- ビデオモードは、市販のDVDビデオと同じ記録方式です。**本機で録画した映像を他のDVDプレーヤー、DVDレコーダー、またはDVDビデオ対応のパソコンなどで再生することができます。**他のDVDプレーヤーで再生するには、ファイナライズという処理が必要です(**P.30**)。
- DVD-Rへの録画は、ビデオモードのみです。
- ビデオモード録画の場合、ファイナライズするまでは本機でのみにて再生、追加録画及び編集が可能です。
- DVD-R/RWへのビデオモード(ビデオフォーマット)による録画は、2000年にDVDフォーラムで承認された新しい規格であり、この規格への対応はDVD再生機メーカー各社の任意です。そのため、DVDプレーヤーやDVD-ROMドライブによってはDVD-R/RWを再生しないモデルがあります。詳しくは、『*DVD-R/DVD-RWについて*』(**P.147**)をご覧ください。

VRモード

- VRモードは、DVD-RWの基本記録方式です。録画/消去を繰り返し行うことができます。また、録画したタイトルの部分消去などの編集を行うこともできます。VRは、Video Recording(ビデオレコーディング)の略です。
- VRモード(ビデオレコーディングフォーマット)で録画されたDVD-RWは、RW COMPATIBLEの表記のあるDVDプレーヤーで再生することが可能です。
- 以下のディスクでは、記録モードをビデオモードに切り換えることができます。ただし、ディスクの初期化を必要とするため、録画されている映像がすべて消去されます。ご注意ください。
  DVD-RW Ver.1.1
  DVD-RW Ver.1.1 CPRM対応
  DVD-RW Ver.1.1/2 × CPRM対応

ビデオモードで録画するときの注意

- **他機でビデオモード録画したファイナライズされていないディスクを、本機で再生、追加録画及び編集(ファイナライズを含む)することはできません。**
- DVD-RWをビデオモードで録画するときは、Ver.1.1以降のディスクを使用してください。
- DVD-RWをビデオモードで使用するには、最初にディスクをビデオモードで初期化してください。詳しくは『*DVD-RWを初期化する*』(**P.135**)をご覧ください。
- 残量は録画するたびに減少します。『*ファイナライズ*』(**P.30**)を行うまでは残量の許す限り追加録画することができます。しかし、残量を録画前の状態に戻す、または上書きして録画することはできません。
- 編集の『*タイトルを消去する(消去)*』(**P.59**)は、不要なタイトルを表示しないようにする機能です。残量は増えませんのでご注意ください(ただし、DVD-RWで最後に録画したタイトルを消去したときに限り残量が増えます)。
- 二カ国語放送の番組を録画するときは、主音声、または副音声のどちらで記録するかあらかじめ選択してください。詳しくは『*二カ国語時記録音声*』(**P.124**)をご覧ください。同時に主音声/副音声を記録することはできません。

HDDに録画するときの注意

- 二カ国語放送の番組を録画するときは、主音声、または副音声のどちらで記録するかあらかじめ選択してください『*二カ国語時記録音声*』(**P.124**)。同時に主音声/副音声を記録することはできません。

DVDディスクと記録方式について

ディスクの種類	記録方式	機能
DVD-RW(Ver.1.0)	VRモード	再生、録画、オリジナル/プレイリストの編集
DVD-RW(Ver.1.1)	VRモード	再生、録画、オリジナル/プレイリストの編集
	ビデオモード	再生、録画、ビデオモードの編集
DVD-R	ビデオモード	再生、録画、ビデオモードの編集

各部のなまえ
録画
再生
消去
編集
ダビング
設定
便利機能
その他

コピーコントロール情報について

BS デジタル放送などの映像信号には、著作権保護を目的として 3 種類(「録画自由」「1 回だけ録画可能」「録画禁止」)のうちいずれかのコピーコントロール情報が含まれています。コピーコントロール情報に対する本機でのディスク毎の録画の可否については、下記をご覧ください。なお、録画する番組のコピーコントロール情報が不明なときは、HDD に録画する、DVD-RW Ver.1.1 CPRM 対応または DVD-RW Ver.1.1/2 × CPRM 対応のディスクを使用して、VR モードで録画することをおすすめします。

	録画自由	1回だけ録画可能	録画禁止
HDD	◎	◎	×
VRモード DVD-RW Ver.1.0 Ver.1.1 Ver.1.1 CPRM対応 Ver.1.1/2× CPRM対応	◎	○	×
ビデオモード DVD-RW Ver.1.1 Ver.1.1 CPRM対応 Ver.1.1/2× CPRM対応	◎	×	×
ビデオモード DVD-R Ver.2.0 Ver.2.0/4×	◎	×	×

◎ 録画することができます。

○ **DVD-RW Ver.1.1 CPRM 対応**または **DVD-RW Ver.1.1/2× CPRM対応**のディスクでのみ録画することができます。
- 「1 回だけ録画可能」の映像をHDDからDVD-RW Ver1.1以上にダビングすると、HDDからその映像は消去されます。
- 「1 回だけ録画可能」の映像を再生できる DVD プレーヤー、または DVD レコーダーでのみ再生することができます(**P.147**)。

× 録画することができません。

録画できない映像について

▼ 録画禁止信号が入っている映像を録画することはできません(DVDビデオ、またはCS放送のペイ・パー・ビューなど)。

▼ 録画中の番組の途中から録画禁止信号が入っていた場合、その時点で録画が一時停止状態になります。録画禁止信号がなくなると再び録画を開始しますが、録画禁止信号が入っている部分の映像は録画されません。このような場合は画面に、[録画禁止の映像がありました。[画面表示]を押すと、この表示は消えます。]と表示されます。その場合、画面表示ボタンを押して表示を消してください(それ以外の操作では表示は消えません)。

著作権について

▼ あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

▼ 本機には、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

▼ 本機は、複製防止機能(コピーガード)を搭載しており、著作権者などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。

▼ 本機は、無許諾のディスク(海賊版等)の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクは再生することができません。

【お知らせ】

この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。

補償金は、著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。

私的録画補償金の問い合わせ先
〒 107-0052 東京都港区赤坂 5 丁目 3 番 6 号
赤坂メディアビル
社団法人 私的録画補償金管理協会
TEL 03-3560-3107(代)
FAX 03-5570-2560

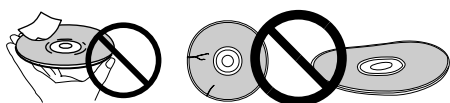
なお、あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

ディスクの取り扱いかた

保管

- ▼ かならずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ▼ ディスクに付いている注意書はかならずお読みください。

ディスクのお手入れ

- ▼ ディスクに指紋やホコリが付いたときは、録画や再生ができなくなることがあります。このようなときは、市販のクリーニングクロスで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。
- ▼ ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤なども使用できません。
- ▼ 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ▼ 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。
- ▼ ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
- ▼ ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、録画や再生ができなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ▼ ディスクを２枚重ねて再生しないでください。

特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク(ハート型や六角形等)は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

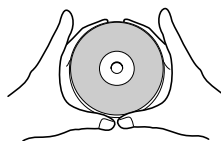
レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやホコリがたまると、音とびしたり画像が乱れたりすることがあります。このような場合は、『*保証とアフターサービス*』(**P.162**)をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

ディスクの結露について

冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります(結露)。ディスクが結露していると録画や再生が正常にできないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

ディスクの持ちかた

両手で持つ場合

片手で持つ場合

言語コード表

言語名(言語コード), 入力コード

Japanese (ja), **1001**
English (en), **0514**
French (fr), **0618**
German (de), **0405**
Italian (it), **0920**
Spanish (es), **0519**
Chinese (zh), **2608**
Dutch (nl), **1412**
Portuguese (pt), **1620**
Swedish (sv), **1922**
Russian (ru), **1821**
Korean (ko), **1115**
Greek (el), **0512**
Afar (aa), **0101**
Abkhazian (ab), **0102**
Afrikaans (af), **0106**
Amharic (am), **0113**
Arabic (ar), **0118**
Assamese (as), **0119**
Aymara (ay), **0125**
Azerbaijani (az), **0126**
Bashkir (ba), **0201**
Byelorussian (be), **0205**
Bulgarian (bg), **0207**
Bihari (bh), **0208**
Bislama (bi), **0209**
Bengali (bn), **0214**
Tibetan (bo), **0215**
Breton (br), **0218**
Catalan (ca), **0301**
Corsican (co), **0315**
Czech (cs), **0319**
Welsh (cy), **0325**
Danish (da), **0401**
Bhutani (dz), **0426**
Esperanto (eo), **0515**
Estonian (et), **0520**
Basque (eu), **0521**
Persian (fa), **0601**
Finnish (fi), **0609**
Fiji (fj), **0610**
Faroese (fo), **0615**
Frisian (fy), **0625**
Irish (ga), **0701**
Scots-Gaelic (gd), **0704**
Galician (gl), **0712**
Guarani (gn), **0714**
Gujarati (gu), **0721**
Hausa (ha), **0801**
Hindi (hi), **0809**
Croatian (hr), **0818**
Hungarian (hu), **0821**
Armenian (hy), **0825**
Interlingua (ia), **0901**
Interlingue (ie), **0905**
Inupiak (ik), **0911**
Indonesian (in), **0914**
Icelandic (is), **0919**
Hebrew (iw), **0923**
Yiddish (ji), **1009**
Javanese (jw), **1023**
Georgian (ka), **1101**
Kazakh (kk), **1111**
Greenlandic (kl), **1112**
Cambodian (km), **1113**
Kannada (kn), **1114**
Kashmiri (ks), **1119**
Kurdish (ku), **1121**
Kirghiz (ky), **1125**
Latin (la), **1201**
Lingala (ln), **1214**
Laothian (lo), **1215**
Lithuanian (lt), **1220**
Latvian (lv), **1222**
Malagasy (mg), **1307**
Maori (mi), **1309**
Macedonian (mk), **1311**
Malayalam (ml), **1312**
Mongolian (mn), **1314**
Moldavian (mo), **1315**
Marathi (mr), **1318**
Malay (ms), **1319**
Maltese (mt), **1320**
Burmese (my), **1325**
Nauru (na), **1401**
Nepali (ne), **1405**
Norwegian (no), **1415**
Occitan (oc), **1503**
Oromo (om), **1513**
Oriya (or), **1518**
Panjabi (pa), **1601**
Polish (pl), **1612**
Pashto, Pushto (ps), **1619**
Quechua (qu), **1721**
Rhaeto-Romance (rm), **1813**
Kirundi (rn), **1814**
Romanian (ro), **1815**
Kinyarwanda (rw), **1823**
Sanskrit (sa), **1901**
Sindhi (sd), **1904**
Sangho (sg), **1907**
Serbo-Croatian (sh), **1908**
Sinhalese (si), **1909**
Slovak (sk), **1911**
Slovenian (sl), **1912**
Samoan (sm), **1913**
Shona (sn), **1914**
Somali (so), **1915**
Albanian (sq), **1917**
Serbian (sr), **1918**
Siswati (ss), **1919**
Sesotho (st), **1920**
Sundanese (su), **1921**
Swahili (sw), **1923**
Tamil (ta), **2001**
Telugu (te), **2005**
Tajik (tg), **2007**
Thai (th), **2008**
Tigrinya (ti), **2009**
Turkmen (tk), **2011**
Tagalog (tl), **2012**
Setswana (tn), **2014**
Tonga (to), **2015**
Turkish (tr), **2018**
Tsonga (ts), **2019**
Tatar (tt), **2020**
Twi (tw), **2023**
Ukrainian (uk), **2111**
Urdu (ur), **2118**
Uzbek (uz), **2126**
Vietnamese (vi), **2209**
Volapük (vo), **2215**
Wolof (wo), **2315**
Xhosa (xh), **2408**
Yoruba (yo), **2515**
Zulu (zu), **2621**

国コード表

国名, 入力コード, 国コード

アメリカ, **2119, us**
アルゼンチン, **0118, ar**
イギリス, **0702, gb**
イタリア, **0920, it**
インド, **0914, in**
インドネシア, **0904, id**
オーストラリア, **0121, au**
オーストリア, **0120, at**
オランダ, **1412, nl**
カナダ, **0301, ca**
韓国, **1118, kr**
シンガポール, **1907, sg**
スイス, **0308, ch**
スウェーデン, **1905, se**
スペイン, **0519, es**
タイ, **2008, th**
台湾, **2023, tw**
中国, **0314, cn**
チリ, **0312, cl**
デンマーク, **0411, dk**
ドイツ, **0405, de**
日本, **1016, jp**
ニュージーランド, **1426, nz**
ノルウェー, **1415, no**
パキスタン, **1611, pk**
フィリピン, **1608, ph**
フィンランド, **0609, fi**
ブラジル, **0218, br**
フランス, **0618, fr**
ベルギー, **0205, be**
ポルトガル, **1620, pt**
香港, **0811, hk**
マレーシア, **1325, my**
メキシコ, **1324, mx**
ロシア, **1821, ru**

用語解説

ア **アスペクト比**
テレビ画面の横と縦の比率です。従来サイズのテレビは画面の比率が４：３です。ハイビジョンテレビやワイドテレビは画面の比率が16：9となっているので臨場感あふれる映像を楽しむことができます。

インターレース(飛び越し走査)
映像の１画面を半分ずつ２回に分けて描きます。最初に奇数番目の走査線を描き、目の残像を利用して、次に偶数番目の走査線を描いて1画面(フレーム)を表示します。従来のテレビの走査方式として採用されています。通常、解像度の数字の後ろに「i」を付けて(525iなど)表記します。

映像出力(コンポジット)
輝度信号(Y)と色信号(C)を混合して１本のコードで伝送できるようにした信号です。ただし、入力機器側で混合された輝度信号(Y)と色信号(C)を分離しなければなりません。この輝度信号(Y)と色信号(C)を分離するときの精度で画質の良さが決まります。

オリジナル
例えば、ある１つのテレビ番組を録画するとディスクにその番組の映像が記録されます。この実際に録画された映像のことをオリジナルと呼びます。また、１回の録画をタイトルと呼びます。

音声言語
DVD ビデオには１枚の中に複数の音声が記録されているディスクがあります(最大８言語(8ストリーム)の音声を記録することができます)。記録されている音声を切り換えて再生することができます。

カ **拡張子**
OS やアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号です。ファイル名のピリオドより後ろの部分です。

サ **視聴制限**
暴力シーンなどを含むDVDビデオには、視聴制限のレベル(大小)が設けられたディスクがあります。本機の視聴制限のレベルをディスクのレベルよりも小さく設定すると再生するときに暗証番号の入力が必要になります。

字幕言語
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDビデオには１枚の中に複数の字幕が記録されているディスクがあります(最大32カ国語まで記録することができます)。記録されている字幕を切り換えて再生することができます。

タ **ダイナミックレンジ**
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。ダイナミックレンジはデシベル(dB)単位で測定されます。
ダイナミックレンジを圧縮する(オーディオDRC)と最小の信号レベルが上がり最大の信号レベルが下がります。これにより、高いレベル音声信号(破裂音など)が低減され、低いレベルの音声信号(人の声など)がはっきりと聞こえるようになります。

ドルビー※1デジタル DOLBY DIGITAL
DVDの標準音声タイプのことです。モノラルやステレオで記録されているソフトや現在最も主流となっている5.1ch サラウンドで記録されているソフトがあります。ドルビーデジタル(5.1ch サラウンド)で記録されているソフトには、５つのチャンネルにそれぞれのシーンに合った音声が個別で記録されています。また、サブウーファーから出力される低音も記録されています。本機をドルビーデジタル対応 AV アンプなどと接続してこのソフトを再生すると臨場感あふれるマルチチャンネル再生を楽しむことができます。

ハ **ビデオモード**
市販のDVDビデオと同じ記録方式です。**本機で録画した映像を他のDVD プレーヤー、DVD レコーダー、またはDVDビデオ対応パソコンで再生することができます。**他のDVD プレーヤーなどで再生するには**ファイナライズ**という処理が必要です。

プレイリスト
オリジナルの映像をもとに作成した編集用の映像のことをプレイリストと呼びます。オリジナルの映像をお好みの順番に並び換えて再生することができます。
プレイリストのタイトルを編集してもオリジナルの映像には影響がありません。また、プレイリストの中にいくつタイトルやチャプターを作成してもディスク残量は減りません。DVD-R/RW(ビデオモード)ではプレイリストを作成することができません。

プログレッシブ(順次走査)
映像の１画面を２回に分けずに１画面ずつ描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、または横線などの多い画像でチラツキを抑えた美しい画像がご覧になれます。通常、解像度の数字の後ろに「p」を付けて(525p など)表記します。

マ **マルチアングル**
舞台中継やスポーツ中継などでは、複数台のカメラで撮影している場合がほとんどです。DVDビデオでは、最大９つのカメラアングルで撮影された映像を同時に収録することができます。アングルマークが付いたDVDビデオでは、同一場面を複数のアングルで楽しむことができます。

ラ **リージョン No.** 2 ALL
ディスクの地域番号です。DVD レコーダーまたはDVDプレーヤーとDVDビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号が設定されています。再生するディスクに記載された地域番号がお使いのDVDレコーダーまたはDVDプレーヤーに設定されている番号に含まれていないときは、そのディスクを再生することができません。本機(日本向け)で再生できるディスクの地域番号は２番ですので、地域番号が「2」を含むか「ALL」となっているディスクのみ再生することができます。

リニア PCM
音声の圧縮を行わない方式です。ミュージカルや音楽コンサートなどを収録した DVD ビデオによく使用されます。48kHz/16bit、96kHz などの表示があることもあります。

A **DTS** ※2

DTSとはデジタルシアターシステムズ(Digital Theater Systems)の略です。5.1chのデジタル・サラウンド録音再生方式で、DVDビデオのオプション音声タイプとして認められています。本機をDTS対応AVアンプなどと接続してDTS デジタル・サラウンドで記録されたDVDビデオを再生すると、ドルビーデジタル(5.1ch サラウンド)で記録されているソフトと同様に 5.1ch 音声を楽しむことができます。

D 映像端子
デジタル放送に対応したテレビなどに装備されている映像信号(Y、CB/PB、CR/PR)と映像信号のフォーマットを識別する制御信号を 1 つのコネクタで接続する端子です。

Exif(エグジフ)
Exchangeable Image File Format の略です。富士写真フイルムが開発したデジタルスチルカメラ用のファイルフォーマットです(JEIDA 規格)。撮影日などの撮影や画像に関する情報とサムネイル画像が収録できるように拡張されているファイルフォーマットです。

JPEG
ITU-TS(国際電気通信連合: 旧CCITT)とISO(国際標準化機構)で定められた写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。JPEG 形式の画像ファイルには「.jpg」、「.JPG」、「.jif」、「.JIF」、「.jfif」、「.JFIF」「.JPEG」または「.jpeg」という拡張子がつきます。デジタルカメラで撮った写真などもほとんど JPEG 形式で保存されています。

MP3
MPEG1 オーディオレイヤー3 というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」「.MP3」という拡張子の付いたファイルを MP3 ファイルと呼びます。

MPEG(エムペグ)
Moving Picture Experts Group の略です。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。DVDビデオの映像やビデオ CD の映像 / 音声はこの方式で記録されています。DVDビデオには、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているディスクもあります。

PBC(プレイバックコントロール)
再生をコントロールするための信号です(ビデオCD(バージョン 2.0)に記録されています)。PBC 付きビデオ CD に記録されているメニュー画面を使って簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクを再生することができます。また、高 / 標準解像度の静止画を楽しむこともできます。

S 映像出力
S1 とは映像のアスペクト比(4:3、16:9)の識別信号の入った S 映像信号です。
S2 とは S1 に加え画像信号形態(レターボックス、パンスキャン)の識別信号の入った S 映像信号です。S2 対応のワイドテレビでは、適切な映像モードに自動的に切り換わります。

VR モード
VR は Video Recording(ビデオレコーディング)の略です。DVD-RWの基本記録方式で、録画または消去を繰り返し行うことができます。また、部分消去などの編集も行うことができます。

WMA
Windows Media™ Audio の略です。これは米国 Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver.9 または Windows Media Player for Windows XP を使用してエンコードすることができます。

Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
WMA ファイルは、米国Microsoft Corporationより認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると正常に動作しないことがあります。

※1 *ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。*
Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

※2 *DTS は米国 Digital Theater Systems, Inc. の登録商標です。米国 Digital Theater Systems, Inc. からの実施権に基づき製造されています。*

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビ、AV アンプまたはスピーカーなども合わせてお調べください。それでも正常に動作しない場合は『***保証とアフターサービス***』(**P.162**)をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。

症状	原因 / 対策
映像が映らない	• 正しく接続されているか確認してください 。 • TV、または AV アンプなどの入力を、本機と接続した入力に切り換えてください。 • D1/D2映像出力端子でプログレッシブに対応していないテレビと接続しているとき、『*コンポーネント出力*』(**P.123**)を**[プログレッシブ]**に設定していると映像が映りません。本体前面部の**一時停止IIボタン**を押しながら**HDD/DVDボタン**を押して、**[インターレース]**に切り換えてください。
一括チャンネル設定を行ったがテレビ放送が映らないまたは映りが悪い	• 隣接した地域を選んで『*一括チャンネル設定*』(**P.117**)を行ってください。 • オートスキャンを行ってください。詳しくは『*オートスキャンを設定する*』(**P.118**)をご覧ください。 • 一部のテレビ放送やCATVが映らないときは『*個別チャンネル設定*』(**P.119**)を行ってください。
BS 放送の映像が映らない、または乱れる	• 『*BS アンテナ電源*』(**P.120**)の設定を確認してください。 • BS アンテナの向きがずれていないか確認してください。
WOWOW 放送が見られない	• **[BS デコーダ設定]**(**P.119**)が**[内部固定]**に設定されていると、スクランブルが解除できないためWOWOW放送が見れないことがあります。このようなときは、**[BSデコーダ設定]**を**[外部固定]**に設定してください。
二カ国語の音声が切り換えられない	• 下記のときは二カ国語の主音声と副音声を同時に記録することはできません。『*二カ国語時記録音声*』(**P.124**)の設定で記録する音声をあらかじめ選択してください。選択した音声のみが記録されるため、再生中に音声を切り換えることはできません。 → HDD が選択されているとき → DVD-RW(VRモード)がセットされていて、録画モードをFINEまたはMN32に設定しているとき → ファイナライズ前のDVD-R/RW(ビデオモード)がセットされているとき • 外部入力(L1/L2/L3/DV※)を選択しているときは、『*外部音声*』(**P.124**)を**[二カ国語]**に設定して録画してください。*※ DVR-610Hのみ* • デジタル接続された AV アンプなどを通して音声を出力するときに、音声の種類がドルビーデジタルでPCM音声に変換していないときは、アンプ側で音声を切り換えるまたは付属のオーディオケーブルなどでアナログ音声接続を行ってください。接続については『*DVD レコーダー準備ガイド(接続/設定編)*』(別冊)をご覧ください。また、AV アンプなどの取扱説明書もあわせてご覧ください。
ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう、または再生できない	• ディスクをディスクテーブルに正しくセットしてください。 • ディスクの表裏を正しくセットしてください。 • ディスクをクリーニングしてください(**P.153**)。 • リージョンナンバーが一致していることを確認してください(DVDビデオのみ)(**表紙**、**P.32**)。 • 本機で使用できるディスクであることを確認してください(**P.32, 147-150**)。
録画ができない、またはできなかった	• 残量が足りているか確認してください。残量がないときは不要なタイトルを消去してください(HDD および DVD-RW(VR モード)のみ)(**P.59**)。 • 予約録画待ちまたは予約録画中に停電がなかったか確認してください。 • 録画する時間(予約録画のとき)が重なっていなかったか確認してください。

症状	原因 / 対策
DVD-RW をビデオモードで初期化できない	DVD-RW(Ver.1.0)にビデオモードで録画することはできません。Ver 1.1 以降のディスクを使用してください(バージョンはジャケットなどに表示されています)。
画面が縦、または横に伸びている	• 本機の外部入力(L1/L2/L3/DV※)は、アスペクト信号(ID-1)に対応してワイド切り換えを行います。接続している機器がID-1 に対応していないときは、接続している機器で、横4：縦3の正常な映像を出力するように設定してください。※ *DVR-610H のみ* • ディスクの再生映像が縦または横に伸びているときは、お使いのテレビに合わせて、『*テレビ画面サイズ*』(**P.130**)の設定を行ってください。設定できないときは、テレビで設定してください。
再生中に画像が乱れる、または暗い	本機はアナログコピープロテクションシステムに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをビデオカセットレコーダーなどを経由して再生したりビデオカセットレコーダーに録画して再生したりすると、コピープロテクションシステムにより正常に再生できません。このため、本機をテレビにも直接接続してください。
DVD プレーヤー / 他のDVD レコーダーで再生できない	• ビデオモードで録画したディスクを他機で再生するときは、『*ファイナライズ*』(**P.30, 31**)を行ってください(ファイナライズしても再生できないDVD プレーヤーもあります)。 • VRモードで録画したDVD-RWをRW対応していないDVDプレーヤーで再生することはできません(**P.147**)。 • 「1 回だけ録画可能」な番組を録画したディスクを、本機またはCPRM対応のDVDプレーヤー / レコーダー以外で再生することはできません(**P.147**)。
画面が止まり、操作を受け付けない	再生中にこの症状が出たときは本体またはリモコンの**停止■ボタン**を押してからもう一度再生してください。**停止■ボタン**を受け付けないときは、本体の**電源⏻ボタン**を押して電源を切ってから再度電源を入れ直してください。本体の**電源⏻ボタン**を受け付けないときは、10秒以上押し続けると電源が切れます。
DVD と CD で音量差を感じる	ディスクの記録方式の違いによるものです。
リモコンで操作できない	• 本体とリモコンのリモコンモードを合わせ、直してみてください。リモコンの『*リモコンモード*』(**P.116**)は乾電池の交換時や消耗時に**[レコーダー 1]**に戻ることがあります。 • リモコンの乾電池を新しいものと交換してください。
ディスクナビや、編集部分の映像がずれる	• 本機以外の DVD レコーダーで録画 / 編集したディスクを再生すると編集部分の映像が多少ずれることがあります。 • 『*シームレス再生*』(**P.131**)を**[オン]**に設定すると編集部分の映像が多少ずれることがあります。
設定内容が消える	本機の電源が入っているとき、強制的に電源コードを抜く、または停電などが起きると、設定した内容が消えてしまうことがあります。電源コードは、必ず本体(またはリモコン)の**電源⏻ボタン**を押して、表示窓の[POWER OFF]表示が消えてから抜いてください。
ボタン操作ができない	『*チャイルドロック*』(**P.143**)が設定されていないか確認してください(ボタンを押すと本体表示窓に[LOCK]と表示されます)。
外部入力[L3]に切り換えることができない。	**[BS デコーダ設定]**(**P.119**)で**[外部固定]**、または**[自動]**を選択すると、入力3/BSデコーダ端子はWOWOWデコーダ専用に設定されます。そのため、本体の**スマートジョグ**、リモコンの**チャンネル(＋ / −)ボタン**または**入力切換ボタン**で外部入力**[L3]**を選択することができなくなります。

症状	原因 / 対策
スピーカーから音が出ない、音が歪む	• テレビ、またはAVアンプなどの音量が最小になっているときは、ボリュームを上げてください。 • 外部入力端子から入力されている音声のときは『*入力音声レベル*』(**P.124**)の設定をしてください。 • 音声ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。 • 接続プラグの差し込みが外れたり、不十分になっていないか確認してください。 • デジタル接続しているときは『*デジタル出力*』(**P.125**)を**[オン]**に設定してください。 • DTS音声は、光デジタル音声出力端子からのみ出力されます。DVD、CDのDTS音声を楽しむときは、本機の光デジタル音声出力端子とDTS対応アンプの光デジタル音声入力端子を接続して、『*DTS出力*』(**P.125**)を**[オン]**に設定してください。接続しているAVアンプがDTS音声に対応していないときは、リモコンの**音声ボタン**(**P.46**)、またはディスクメニュー(**P.34**)でDTS以外の音声を選択してください。
本機のDV入出力端子に接続したデジタルビデオカメラの映像がテレビに映らない。また、音声が出ない(DVR-610Hのみ)	• 接続を確認してください。本機のDV入出力端子には、1台のデジタルビデオカメラのみを接続することができます。本機とデジタルビデオカメラは直接接続してください。 • DVケーブルが正しく接続されているか確認してください。 • デジタルビデオカメラの電源を入れ直してください。 • 本機の電源を入れ直してください。 • 音声が出力されないときは『*DV入力音声*』(**P.124**)の設定を確認してください。 • 本機では、サンプリング周波数が44.1kHzの入力音声を出力することはできません。
DVDの再生映像がDV入出力端子に接続したデジタルビデオカメラの画面に映らない。また、音が出ない(DVR-610Hのみ)	• 接続を確認してください。本機のDV入出力端子には、1台のデジタルビデオカメラのみを接続することができます。本機とデジタルビデオカメラは直接接続してください。 • DVケーブルが正しく接続されているか確認してください。 • 一度停止して、再度再生を開始してみてください。 • デジタルビデオカメラの電源を入れ直してください。 • 本機の電源を入れ直してください。 • 「録画禁止」、または「一回だけ録画可能」の映像 / 音声を出力することはできません。 • テレビ番組、また外部入力の映像 / 音声を出力することはできません。 • 録画中、または録画待機中は映像 / 音声が出力されません。 • 追いかけ再生、または同時録画再生中に録画だけを停止したときでも、映像 / 音声の出力は開始されません。一度再生を停止してから再度再生すると出力を開始します。
DV端子に接続したデジタルビデオカメラを本機のリモコンで操作できない(DVR-610Hのみ)	デジタルビデオカメラの機種によって操作できないことがあります。
電源コードを抜いたあと、または停電の復帰後に時計が表示されない(時計が[−−:−−]と表示される。)	工場出荷後約5年間は内蔵電池によって、停電時にも時計を保持(バックアップ)します。電池消耗後は停電時に時計の保持ができませんので、停電後には『*時計合わせ*』(**P.115**)を行ってください。バックアップ用の電池の交換はお買い求めの販売店または修理受付センター(**裏表紙**)にご相談ください。

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。それでも正常に動作しない場合は『*保証とアフターサービス*』(**P.162**)をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。

テレビ画面にこんな表示が出たら

■ **ディスクを初期化しています。**
約 1 分ほどお待ちください。

→ 未使用のDVD-RWをセットすると、自動で初期化を開始します。

■ **リージョン No. が合っていません。**

→ DVD プレーヤーと DVD ビデオディスクには地域番号(リージョンナンバー)が設けられています。上記内容が表示されるディスクは、本機(日本向け)で設定された番号(2 番)を含んでいないため、再生できません。

■ **これ以上タイトルを録画できません。**

■ **管理情報が一杯です。**

■ **これ以上チャプターマークを追加できません。**

→ タイトル数やチャプター数･その他の管理情報が一杯です。不要なタイトルの消去『*タイトルを消去する(消去)*』(**P.59**)や前後のチャプターの結合『*前後のチャプターを 1 つに結合する(結合)*』(**P.68**)などを行ってください。

■ **このディスクは録画できません。**
ファイナライズ解除してください。

→ 他社DVDレコーダーでファイナライズされたディスクに録画しようとしたときに表示されます。ディスク設定の[**ファイナライズ解除**](**P.31**)を実行してください。

■ **不適当なディスクなので、再生できません。**

■ **このディスクは録画できません。**

■ **CPRM 情報が正しく読めません。**

■ **ディスクに情報を記録できませんでした。**

■ **編集できませんでした。**

■ **初期化できませんでした。**

■ **正しくファイナライズできませんでした。**

■ **正しくファイナライズ解除できませんでした。**

■ **正しくディスク保護解除できませんでした。**

→ ディスクにキズ / 汚れなどが付いている可能性があります。ディスクを取り出して汚れを拭き、再度ディスクをセットしてください。それでも上記内容が表示されるときは、新しいディスクと交換してください。ディスクを交換しても表示されるときは、『*保証とアフターサービス*』(**P.162**)をご覧になり、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

■ **CPRM 非対応ディスクには録画できません。**

■ **この映像はビデオモードでは録画できません。**

→「1 回だけ録画可能」な映像を録画しようとしています。「1 回だけ録画可能」の映像は、DVD-RW Ver.1.1CPRM 対応のディスクをVRモードで使用したときまたはHDDにのみ録画することができます。詳しくは『*コピーコントロール情報について*』(**P.152**)をご覧ください。

■ **録画禁止の映像がありました。**
[画面表示]を押すと、この表示は消えます。

→ 録画禁止映像を録画しようとしたときに表示されます(このとき、録画禁止の部分は録画されません)。詳しくは、『*録画できない映像について*』(**P.152**)をご覧ください。

■ **温度の上昇により、動作を停止しました。**
[画面表示]を押すと、この表示は消えます。

→ 本体内部の温度が制限値を越えた場合に表示されます。繰り返し表示される場合は『*保証とアフターサービス*』(**P.162**)をご覧になり、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

■ **CPRM 情報が正しくありません。**

→ CPRM 情報を正しく取り扱うことができません。故障の可能性もありますので『*保証とアフターサービス*』(**P.162**)をご覧になり、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

■ **音声は「二カ国語時記録音声」の設定にしたがいます。**

→ 録画モードをFINE/MN32に設定しているときは、音声がリニアPCMで記録されます。このとき二カ国語の音声は、[**二カ国語時記録音声**](**P.124**)で設定したどちらか一方の音声しか記録されません。

■ **ディスクを修復しています。**

→ 録画中に停電などで電源が切れ、次回電源が入ったときに表示されます。

■ **ディスクを修復できませんでした。**

→ 録画中に電源が切れたあとで行われるディスク修復に失敗したときに表示されます。この場合、そのときに録画していたタイトルは失われる場合があります。

■ **DV 入力がありません。(DVR-610H のみ)**

■ **DV 入力がないため、プレビューできません。**
(DVR-610H のみ)

→ DV端子から信号が入力されていないときに表示されます。また、デジタルビデオカメラ側の再生を停止したり、無記録部分を再生したりしたときも表示されます。表示される原因がわからないときは『*故障かな？と思ったら*』(**P.157**)をご覧ください。

■ **HDD 情報が正しくありません。**

→ HDD情報を正常に読み取れないときに表示されます。HDDが破損している可能性もあるので、『*保証とアフターサービス*』(**P.162**)をご覧になり、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

■ **1つのタイトルとして録画できる時間を超えたので、録画を停止しました。**

→ HDDでは、1 タイトルとして記録できる時間が約 6 時間に制限されています。約6時間を超えると自動的に録画が停止します。

■ **HDD 情報が正しくありません。ディスク設定から HDD 初期化を行ってください。**

→ HDDの情報が正常に読み取れないため、録画などができない状態になっています。初期化を行えば再び録画などができるようになる可能性があります。ディスク設定から[**HDD 初期化**]を行ってください。ただし、[**HDD初期化**]を行うと、保護されているタイトルを含めすべての録画内容が消去されます(**P.136**)。

■ **DVD の管理情報が一杯になりました。**

■ **HDD の管理情報が一杯になりました。**

→ 録画中に管理情報が一杯になり、自動で録画が停止した場合に表示されます。

本体表示窓にこんな表示が出たら

■ **LOCK**

→ チャイルドロックが設定されています(**P.143**)。本体の**停止■ボタン**を 3 秒以上押すとチャイルドロックが解除されます。

正しく、末永くお使いいただくために

電源オン中に衝撃や振動を与えない

電源オン中はHDDが作動していますので、本機を持ち上げたり、動かしたり、たたいたりしないでください。HDDが故障する恐れがあります。ディスク再生中および録画中はディスクが高速回転しているためディスクを傷付ける恐れがありますので特にご注意ください。

電源オン中に電源コードを絶対に抜かない

電源オン中に電源コードを抜いてしまうと、本機が故障したりHDDやディスクを破損したりする恐れがあります。本機の動作中には電源コードを抜かないでください。電源コードを抜く前は必ず電源を切って[POWER OFF]表示が消えたことを確認してください。

本機を移動する場合のご注意

本機を移動したり引っ越しなどで梱包したりする場合は、かならずディスクを取り出し、ディスクテーブルを閉じてください。ディスクを内部に入れたまま移動しますと故障の原因となります。また、電源コードを抜く前には、必ず電源を切って[POWER OFF]表示が消えたことを確認し、その後2分以上経過してから移動してください。

設置する場所についてのご注意

▼ 組み合わせて使用するテレビや他の機器のそばの安定した場所を選んでください。
▼ テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。
▼ 次のような場所は避けてください
- **直射日光のあたる所**
- **湿気の多い所や風通しの悪い所**
- **極端に暑い所や寒い所**
- **振動のある所**
- **ほこりの多い所**
- **油煙、蒸気、熱などがあたる所(台所など)**

上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

通気孔をふさがない

毛足の長い敷物やベッド、ソファーの上などで使用したり、本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

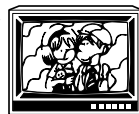
熱を受けないようにする

アンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合は、アンプや他の機器から出る熱をさけるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ガラスドアを閉めたまま、リモコンの**開 / 閉 ⏏ ボタン**を押して、ディスクテーブルを開けないでください。ディスクテーブルの動きが妨げられると、故障の原因になります。

使わないときは電源を切っておく

テレビ放送やラジオ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビやラジオをつけると、画面にしま模様が出たり、雑音が出たりする場合があります。このような場合は本機の電源を切ってください。

製品のお手入れについて

▼ 通常は柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったもので汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。
▼ アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると、印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。
▼ ゴムやビニール製品を長時間触れさせることは、キャビネットを傷めますので避けてください。
▼ 化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
▼ お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

結露について

冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部やレンズ)に水滴が付きます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作しません。結露の状態にもよりますが、本機の電源コードを抜いた状態でしばらく放置し、完全に本機が乾燥するまで待ってから電源を入れてください。また夏でも、エアコンなどの風が本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は、本機の設置場所を変えてください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）
保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から1年間です。

保証期間中および保証期間後を問わず何らかの原因によりHDDやディスクの録画内容が損なわれた場合、その録画内容の保証およびそれに附随する損害に対して、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承願います。

補修用性能部品の最低保有期間
当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低８年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談
お買い求めの販売店へご依頼ください。ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理の依頼ができない場合は、修理受付センター(裏表紙)にご相談ください。

修理を依頼されるとき
『*故障かな？と思ったら*』(**P.157**)にしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いてから、販売店に修理をご依頼ください。

連絡していただきたい内容
- ご住所：「付近の目印も合わせてお知らせください」
- お名前
- お電話番号
- 製品名：DVDレコーダー
- 型番：DVR-510H/DVR-515H/DVR-610H
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容：「できるだけ具体的に」「ディスクのタイトル」
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標(建物・公園など)

保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

仕 様

一般

電源定格	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力 DVR-610H DVR-515H DVR-510H	(BSアンテナ電源使用時) 44 W 40 W 39 W
待機時消費電力	0.38 W (FL消灯時)
外形寸法	420(W)× 69(H)× 341(D) mm(突起含む)
本体質量	5.1 kg
使用温度範囲	＋5℃～＋35℃
使用湿度範囲	5%～85%(結露のないこと)
テレビジョン方式	NTSC方式準拠： 525本60フィールド

記録

記録フォーマット	DVD Video Recording (VRモード) DVD Video(ビデオモード)
記録可能ディスク	DVD-RW(DVD Re-recordable disc) DVD-R(DVD Recordable disc)
映像記録方式	サンプリング周波数：13.5 MHz 圧縮方式：MPEG
音声記録方式	サンプリング周波数：48 kHz 圧縮方式：Dolby Digital およびリニアPCM(非圧縮)
記録時間 (HDDの記録時間は目安です。)	HDD(80 GB)/DVR-510H FINE：約17時間 SP：約34時間 LP：約68時間 EP：約102時間
	HDD(120 GB)/DVR-515H FINE：約26時間 SP：約51時間 LP：約102時間 EP：約153時間
	HDD(160 GB)/DVR-610H FINE：約34時間 SP：約68時間 LP：約136時間 EP：約204時間
(12cm片面(4.7GB)のディスクを使用したときの目安です。)	DVD-RW(VRモード) FINE：約1時間 SP：約2時間 LP：約4時間 EP：約6時間
	DVD-R/DVD-RW(ビデオモード) FINE：約1時間 SP：約2時間 LP：約4時間 EP：約6時間

再生

再生可能ディスク	DVD ビデオ DVD-RW(DVD Re-recordable disc) • DVD Video Recording フォーマット • DVD Video フォーマット DVD-R(DVD Recordable disc) • DVD Video フォーマット 音楽用 CD ビデオ CD 以下が記録されている CD-R/RW • 音楽トラック • ビデオ CD フォーマット • WMA/MP3/JPEG ファイル

チューナー

受信チャンネル	ＶＨＦ：1 ～ 12 ch ＵＨＦ：13 ～ 62 ch CATV：C13 ～ C63 ch BS：1、3、5、7、9※、11、13、15ch (※本機では BS9 のハイビジョン放送は受信できません。)

タイマー

プログラム数	1ヶ月 32 プログラム
時計	クオーツロック、12 時間デジタル表示
停電補償期間	工場出荷後約５年間

入出力端子

VHF/UHF アンテナ入出力	VHF/UHF １軸 75 Ω F 型コネクター
BS アンテナ入出力	75 Ω F 型コネクター
アンテナ電源出力	DC15 Ｖ最大４Ｗ
映像入力	入力 1、3(リア)、2(フロント)の３系統 ピンジャック: １Ｖ p-p(75 Ω不平衡)
映像出力	出力 1、2 の２系統 ピンジャック: １Ｖ p-p(75 Ω不平衡)
S 映像入力	入力 1、3(リア)、2(フロント)の３系統 ４ピンミニＤＩＮ: Ｙ＝１ Ｖ p-p(75 Ω不平衡) Ｃ＝0.286 Ｖ p-p(75 Ω不平衡)
S1/S2 映像出力	出力1、2の２系統 ４ピンミニＤＩＮ: Ｙ＝１ Ｖ p-p(75 Ω 不平衡) Ｃ＝0.286 Ｖ p-p(75 Ω不平衡)
音声入力	入力 1、3(リア)、2(フロント)の３系統(L/R) ピンジャック　２Ｖ rms (入力インピーダンス 22 k Ω以上)
音声出力	出力1、2 の２系統(L/R) ピンジャック　２Ｖ rms (１kHz 0dB、出力インピーダンス 1.5 k Ω以下)
コントロール入力	ミニジャック１系統
デジタル音声出力	光コネクタ: 角型光ジャック１系統
検波入力 / 出力	ピンジャック： 0.67 Ｖ p-p(75 Ω不平衡)
ビットストリーム入力 / 出力	ピンジャック： 0.5 Ｖ p-p(75 Ω不平衡)
D1/D2 出力	Ｙ＝ 1.0Vp-p(75 Ω不平衡) CB/PB、CR/PR ＝ 0.7Vp-p(75 Ω 不平衡)
DV 入出力 (DVR-610H のみ)	４ピン (i.LINK/IEEE1394 準拠)１系統

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品

リモコン 1
RF アンテナケーブル 1
電源コード 1
単３形乾電池 2
オーディオ・ビデオケーブル 1
取扱説明書
　本書 1
　DVD レコーダー準備ガイド(接続 / 設定編) 1
保証書 1
安全上のご注意 1

さくいん

修理のご相談 / 修理についてのお問い合わせ窓口

パイオニア製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理については『*保証とアフターサービス*』(**P.162**)をお読みのうえ、お買い求めの販売店へご依頼ください。万一お困りの場合は、窓口(裏表紙)へご相談くださるようお願いいたします。

サービスステーションリスト

サービスステーションへの電話は、修理受付センター(裏表紙)でお受けします。
(沖縄県の方は沖縄サービスステーション(裏表紙)でお受けします)

●北海道地区			受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休日は除く）	
札幌サービスセンター	FAX	011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北２条西 20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX	0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町１条１丁目 438-89
帯広サービス認定店	FAX	0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西５条南 28 丁目 1-1
函館サービス認定店	FAX	0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町 2-18-7

●東北地区			受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休日は除く）	
仙台サービスステーション	FAX	022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈石田 20
山形サービス認定店	FAX	023-615-1627	〒990-0023	山形市松波 1-8-17
盛岡サービスステーション	FAX	019-659-3165	〒020-0051	盛岡市下太田下川原 153-1
青森サービス認定店	FAX	017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田 2-16-10
八戸サービス認定店	FAX	0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野 4-3-34
秋田サービス認定店	FAX	018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目 346-1
郡山サービスステーション	FAX	024-939-1372	〒963-8861	郡山市鶴見坦 1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第２ビル

●関東・甲信越地区			受付　月～土　９：３０～１８：００（日・祝・弊社休日は除く）	
世田谷サービスステーション	FAX	03-3419-4234	〒155-0032	世田谷区代沢 4-25-9
墨田サービスステーション	FAX	03-3621-7610	〒130-0011	墨田区石原 4-27-9　中島 IC ハイツ 1F
城北サービスステーション	FAX	03-3550-3625	〒175-0083	板橋区徳丸 4-11-14
多摩サービスステーション	FAX	042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町 4-18-1　エクセル立川１F
新潟サービスステーション	FAX	025-241-1879	〒950-0913	新潟市鐙 1-5-23
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX	0259-63-3400	〒952-1209	佐渡郡金井町千種 1158-1
千葉サービスセンター	FAX	043-207-2555	〒263-0015	千葉市稲毛区作草部 1369-1　椎の実ハイツ 1F
つくばサービス認定店	FAX	0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園 2-2-6
水戸サービス認定店	FAX	029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町 307-4
埼玉サービスセンター	FAX	048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町 1-310-1
川越サービス認定店	FAX	049-233-6581	〒350-0804	川越市下広谷 1128-11
宇都宮サービス認定店	FAX	028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町 3373-1
群馬サービス認定店	FAX	0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町 1191-17　パサージュ 808 伊勢崎 101 号
神奈川サービスセンター	FAX	045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜北サービス認定店	FAX	045-943-3155	〒224-0036	横浜市都筑区勝田南 1-19-17
厚木サービス認定店	FAX	046-224-7724	〒243-0807	厚木市金田 339-1　金田コーポフロンテア 201
三宅島サービス指定店　勝見電機	TEL	04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービスステーション	FAX	0263-48-2768	〒390-0852	松本市大字島立 180-5
長野サービス認定店	FAX	026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所 1-24
甲府サービス認定店	FAX	055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田 4-9-14

●中部地区			受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休日は除く）	
名古屋サービスセンター	FAX	052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切 2-8-18
津サービス認定店	FAX	059-213-6712	〒514-0821	津市垂水 522-5
岡崎サービス認定店	FAX	0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジ　B-1
岐阜サービス認定店	FAX	058-274-5256	〒500-8356	岐阜市六条江東 1-1-3
静岡サービスステーション	FAX	054-237-5691	〒422-8034	静岡市高松 1-6-5
沼津サービス認定店	FAX	0559-21-9050	〒410-0058	沼津市沼北町 1-14-26
浜松サービス認定店	FAX	053-422-1401	〒435-0042	浜松市篠ヶ瀬町 415　ビラモデルナ５号
金沢サービスステーション	FAX	076-291-6425	〒921-8005	金沢市間明町 1-130
富山サービス認定店	FAX	076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町 1-7-1
福井サービス認定店	FAX	0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺 3-5-9

●関西地区		受付　月～金　9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）
大阪サービスセンター	FAX　06-6353-1145	〒564-0052　大阪市北区同心2-1-26
大阪南サービス認定店	FAX　0722-75-2625	〒593-8322　堺市津久野町1-8-15　ローズマンション1F
大阪北サービス認定店	FAX　06-6453-5666	〒531-0076　大阪市北区大淀中3-9-4
奈良サービス認定店	FAX　0742-36-8713	〒630-8132　奈良市大森西町21-26
和歌山サービス認定店	FAX　0734-46-3026	〒641-0021　和歌山市和歌浦東3-1-25
京滋サービスステーション	FAX　075-682-7176	〒601-8448　京都市南区西九条豊田町24-1
福知山サービス認定店	FAX　0773-24-5375	〒620-0055　福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション
神戸サービスステーション	FAX　078-251-7173	〒651-0086　神戸市中央区磯上通り5-1-13
姫路サービス認定店	FAX　0792-51-2656	〒671-0224　姫路市別所町佐土4-2

●中国地区		受付　月～金　9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）
広島サービスステーション	FAX　082-227-4866	〒730-0013　広島市中区八丁堀2-31　鴻池ビル
徳山サービス認定店	FAX　0834-33-5759	〒745-0006　徳山市花畠町3-11　森広事務所1F
福山サービス認定店	FAX　0849-31-2791	〒720-0815　福山市野上町3-12-9
岡山サービスステーション	FAX　086-244-8748	〒700-0975　岡山市今8-15-21
松江サービス認定店	FAX　0852-22-7779	〒690-0017　松江市西津田4-5-40　（有）テクピット内
鳥取サービス認定店	FAX　0857-29-1290	〒680-0061　鳥取市立川町5-240-1

●四国地区		受付　月～金　9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）
高松サービスステーション	FAX　087-861-4841	〒760-0078　高松市今里町1-16-1
徳島サービス認定店	FAX　088-669-6076	〒770-8023　徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下1階103号
高知サービス認定店	FAX　088-802-3321	〒780-0051　高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル１Ｆ
松山サービス認定店	FAX　089-951-6270	〒791-8067　松山市古三津5-10-35　商船ビル１Ｆ

●九州地区		受付　月～金　9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）
福岡サービスステーション	FAX　092-412-7460	〒812-0016　福岡市博多区博多駅南2-12-3
博多サービス認定店	FAX　092-461-1643	〒812-0006　福岡市博多区上牟田2-6-7
長崎サービス認定店	FAX　095-849-4606	〒852-8145　長崎市昭和1丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX　096-331-3323	〒862-0918　熊本市花立５丁目14-17
大分サービス認定店	FAX　097-549-2420	〒870-0889　大分市大石町５丁目1-1
北九州サービスステーション	FAX　093-951-1748	〒802-0011　北九州市小倉北区重住3-1-20
鹿児島サービスステーション	FAX　099-224-7692	〒892-0841　鹿児島市照国町3-21　第二大見ビル２Ｆ
宮崎サービス認定店	FAX　0985-27-3136	〒880-0821　宮崎市浮城町98-1

●沖縄地区		受付　月～金　9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）
沖縄サービスステーション	TEL　098-879-1910 FAX　098-879-1352	〒901-2122　浦添市勢理客4-18-1　トヨタマイカーセンター3Ｆ

修理窓口・ご相談窓口の名称・所在地・電話番号は変更することがございますのでご了承ください。

愛情点検

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか?

- **電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。**
- **電源コードにさけめやひび割れがある。**
- **電気が入ったり切れたりする。**
- **本体から異常な音、熱、臭いがする。**

故障や事故防止のため、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、『*保証とアフターサービス*』(P.162)をお読みのうえ、修理受付センター(裏表紙)に点検をご依頼ください。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

● パイオニア・カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付　月曜～金曜　9：30～17：00、 土曜　9：30～12：00、13：00～17：00 （日曜・祝日・弊社休日は除く）

家庭用オーディオ／ビジュアル製品のご相談窓口 ： フリーフォン **0070-800-8181-22**

カタログのご請求窓口 ： フリーフォン **0070-800-8181-33**

ファックス ： **03-3490-5718**

<ご注意>
フリーフォンは、ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

パイオニアホームページでのご案内

お問い合わせ先のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/*

カタログ請求とメールサービス登録のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html*

部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入や、補修用性能部品（修理使用部品）に関するご相談についてはパイオニア部品受注センターにご相談ください。部品の交換方法などの技術相談につきましては下記のパイオニア修理受付センターにご相談ください。

● パイオニア部品受注センター

受付　月曜～金曜　9：30～18：00、 土曜　9：30～12：00、13：00～17：00 （日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話（フリーダイアル） ： **0120-5-81095**
一般電話 ： **0538-43-1161**
ファックス（フリーダイアル）： **0120-5-81096**

<ご注意>
フリーダイアルは、携帯電話、ＰＨＳではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

修理のご依頼／修理についてのご相談窓口

修理を依頼される前に取扱説明書の「故障？ちょっと調べてください」または「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。それでも異常のある時は、必ず電源プラグを抜いてから、ご購入店へご連絡ください。
ご購入店がわからないときやお近くにないときは、パイオニア修理受付センターへご相談ください。（沖縄県を除く）

● パイオニア修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付　月曜～金曜　9：30～20：00、 土曜　9：30～12：00、13：00～18：00 （弊社休日は除く）
日曜・祝日　9：30～12：00、 13：00～18：00（プラズマディスプレイのみ受付）

電話（フリーダイアル） ： **0120-5-81028**（ゴーパイオニア）
一般電話 ： **03-5496-2023**
ファックス（フリーダイアル）： **0120-5-81029**

<ご注意>
フリーダイアルは、携帯電話、ＰＨＳではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

● 沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付　月曜～金曜　9：30～18：00 （土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）

一般電話 ： **098-879-1910**
ファックス ： **098-879-1352**

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<TWKZC/03H00001>

<VRA1225-A>